



出席政府委員左ノ如シ	内務大臣 伯爵兒玉厚生大臣 吉田茂君	内務省地方法案(政府提出)	遊興飲食稅法案(政府提出)
商工大臣 藤原銀次郎君	内務書記官 三好重夫君	内務稅法中改正法律案(政府提出)	取引所稅法中改正法律案(政府提出)
大藏政務次官 木村正義君	大藏省主稅局長 大矢半次郎君	骨牌稅法中改正法律案(政府提出)	通行稅法案(政府提出)
大藏書記官 松田正一君	大藏參與官 松田正一君	狩獵法中改正法律案(政府提出)	入場稅法案(政府提出)
大藏書記官 山田義見君	大藏書記官 池田勇人君	明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)	印紙稅法中改正法律案(政府提出)
文部省普通學務局長 中野秀雄君	營繕管財局理事 松隈善敦君	(内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)	骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
商工省振興部長 妹川武人君	物價局次長 利廣君	支那事變特別稅法及臨時租稅增徵法廢止法律案(政府提出)	狩獵法中改正法律案(政府提出)
厚生省衛生局長 林信夫君	厚生省衛生局長 林信夫君	營業収益稅法廢止法律案(政府提出)	大正九年法律第五十一號中改正法律案(政府提出)
法人稅法案(政府提出)	本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ	資本利子稅法廢止法律案(政府提出)	明治四十五年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)
特別法人稅法案(政府提出)	外貨債特別稅法案(政府提出)	法人資本稅法廢止法律案(政府提出)	印紙稅法中改正法律案(政府提出)
配當利子特別稅法案(政府提出)	相續稅法中改正法律案(政府提出)	臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)	骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
建築稅法案(政府提出)	地租稅法案(政府提出)	地方稅法案(政府提出)	狩獵法中改正法律案(政府提出)
鑛區稅法案(政府提出)	臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)	地方政府分稅法案(政府提出)	遊興飲食稅法案(政府提出)
營業稅法案(政府提出)	酒稅法案(政府提出)	市制中改正法律案(政府提出)	内務省地方法案(政府提出)
地租法中改正法律案(政府提出)	清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)	町村制中改正法律案(政府提出)	内務稅法中改正法律案(政府提出)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)	石井共委員長	北海道會法中改正法律案(政府提出)	内務大臣 伯爵兒玉厚生大臣 吉田茂君
物品稅法案(政府提出)	是ヨリ開會致シマス、今日ハ石井君ガ地方稅ニ對シテ内務大臣ニ對スル質問ヲ留保シテアリマスカラ、石井君カララ願ヒマズ	北海道地方費法中改正法律案(政府提出)	内務政務次官 木村正義君
○堀切委員長	大體地方が要求ヲ致シテ居ル財源——地方ノ自治政治ノ財源トシテハドウ云フモノヲサレルデアラウ、同時ニ其ノ與ヘラレタル稅源ニ依ツテ見マスルト、其ノ財政ト云デアリマス、此ノ稅ノ構成ヨリ見マシテ、	地方分稅法案(政府提出)	大藏政務次官 木村正義君
○石井共委員長	ノマスガ、併シナガラモウ一つノ目的デアリマスル所ノ自治ノ伸張、此ノ點ニナリマスト私共ハ非常ナニ感ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ稅ノ構成ヨリ見マシテ、	外貨債特別稅法案(政府提出)	大藏書記官 松田正一君
	ノマスガ、併シナガラモウ一つノ目的デアリマスル所ノ自治ノ伸張、此ノ點ニナリマスト私共ハ非常ナニ感ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ稅ノ構成ヨリ見マシテ、	相續稅法中改正法律案(政府提出)	大藏書記官 松田正一君
	ノマスガ、併シナガラモウ一つノ目的デアリマスル所ノ自治ノ伸張、此ノ點ニナリマスト私共ハ非常ナニ感ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ稅ノ構成ヨリ見マシテ、	建築稅法案(政府提出)	大藏書記官 松田正一君
	ノマスガ、併シナガラモウ一つノ目的デアリマスル所ノ自治ノ伸張、此ノ點ニナリマスト私共ハ非常ナニ感ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ稅ノ構成ヨリ見マシテ、	地租稅法案(政府提出)	大藏書記官 松田正一君
	ノマスガ、併シナガラモウ一つノ目的デアリマスル所ノ自治ノ伸張、此ノ點ニナリマスト私共ハ非常ナニ感ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ稅ノ構成ヨリ見マシテ、	臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)	大藏書記官 松田正一君
	ノマスガ、併シナガラモウ一つノ目的デアリマスル所ノ自治ノ伸張、此ノ點ニナリマスト私共ハ非常ナニ感ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ稅ノ構成ヨリ見マシテ、	酒稅法案(政府提出)	大藏書記官 松田正一君
	ノマスガ、併シナガラモウ一つノ目的デアリマスル所ノ自治ノ伸張、此ノ點ニナリマスト私共ハ非常ナニ感ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ稅ノ構成ヨリ見マシテ、	清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)	大藏書記官 松田正一君
	ノマスガ、併シナガラモウ一つノ目的デアリマスル所ノ自治ノ伸張、此ノ點ニナリマスト私共ハ非常ナニ感ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ稅ノ構成ヨリ見マシテ、	石井共委員長	大藏書記官 松田正一君
	ノマスガ、併シナガラモウ一つノ目的デアリマスル所ノ自治ノ伸張、此ノ點ニナリマスト私共ハ非常ナニ感ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ稅ノ構成ヨリ見マシテ、	地租稅法中改正法律案(政府提出)	大藏書記官 松田正一君
	ノマスガ、併シナガラモウ一つノ目的デアリマスル所ノ自治ノ伸張、此ノ點ニナリマスト私共ハ非常ナニ感ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ稅ノ構成ヨリ見マシテ、	砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)	大藏書記官 松田正一君
	ノマスガ、併シナガラモウ一つノ目的デアリマスル所ノ自治ノ伸張、此ノ點ニナリマスト私共ハ非常ナニ感ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ稅ノ構成ヨリ見マシテ、	物品稅法案(政府提出)	大藏書記官 松田正一君

稅ノミニ依ツテ地方ニ金ヲ配付シテヤルト云フ  
意味合ヨリハ、寧ロ茲ニ所謂附加稅ヲ認メ、  
又之ニ對シテ獨立稅ヲ認メテ居リマス、サウシ  
テ此ノ分與稅ト附加稅並ニ獨立稅トノ割合ヲ  
見マスト、分與稅ノ方ガ一デアリ、附加稅及ビ  
獨立稅ノ方ガ二ト云フヤウナ割合ニナツテ  
居リマスノデ、之ヲ金額ノ上カラ見ルト、  
謂ハバ分與稅ノ方ハ、此ノ附加稅並ニ獨立  
稅ヲ賦課致シマス下積ミニナツテ居ルト云  
フヤウナ建前ニ大體ナツテ居リマス、而シ  
テ此ノ附加稅ニ付テ見マスト、其ノ賦課率  
ニ於テ自由ナル伸張力ヲ認メテ居リ、獨立  
稅ニ於テハ殊ニ何等ノ制限ヲモ設ケテナイ  
ノデアリマスカラ、市町村ノ自由意思ニ依  
ツテ是ガ稅種ヲ求メ、之ニ課稅スルコト、  
又稅率ヲ自由ニスルコトガ出來マスノデ、  
實際ニ於キマシテハ十分ナル伸張力ト自主  
性ヲ認メテアルノデアリマス、隨テ地方ニ  
依ツテ財政收入ノ高ヲ決メル上ニ於キマシ  
テハ、一面ニ於テ配付稅ト獨立稅並ニ附加  
稅ヲ睨ミ合セマシテ、此ノ附加稅ノ率ナ  
リ、獨立稅ノ率竝ニ稅種ヲ決メルノデアリ  
マシテ、是ハ市町村ノ自由意思ニ依ツテ自  
主的ニ決メテ行クト云フコトニナツテ居ル  
ノデアリマス、而シテ一面ニ於キマシテ三  
益稅ノ附加稅ヲ認メアリマスガ故ニ、  
殊ニ營業稅等ニ於テハ其ノ伸張力ハ可ナリ  
大キイモノデアリマスカラ、其ノ點ニ於テ  
モ可ナル彈力性ガアルト認メテ居ルノデア  
リマス、斯ノ如キ有様デアリマスカラ、此  
ノ稅制ノ大體ヲ見テ、飽クマデモ財政上ノ  
餘裕竝ニ確實ト云フ事柄ヲ認メルト同時ニ、  
地方團體ノ稅カラ見タ彈力性、自主性ト云  
フモノヲ十分尊重致シマシテ、此ノ稅法ヲ  
定メタノデアリマスルノデ、只今御話ノヤ

○石井委員 只今御話ニナリマシタ地方ノ  
稅制ノ自主性トカ或ハ伸張力トカ云フコト  
ニ付キマシテハ、私ハ内務大臣ノ仰セニナ  
リマシタ點トハ少シ見解ヲ異ニ致シテ居ル  
ノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ後程  
詳細ニ申上ゲテ見タイト考ヘマスガ、尙ホ  
此ノ機會ニ承ツテ置キタイト思ヒマスノハ、  
政府ハ大體地方政治ノ財源ト云フモノハド  
ウ云フヤウニ計畫サレ、ドウ云フ風ニ構成  
サレルコトヲ理想トサレテ居ルカ、同時ニ  
今回ノ稅制改革案ハ其ノ理想ニ依ツテ編成  
サレテ居ルカ、或ハドウ云フヤウナ形ニナ  
ツテ居ルカ、此ノ構成及ビ計畫ニ對スル所  
ノ御所見ヲ拜聽致シテ置キタイト思ヒマス  
○兒玉國務大臣 大體ニ於キマシテ國稅ト地  
方稅ヲ明確ニ區分スルト云フコトヲ第一  
ニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ、  
國稅ノ方ニ於キマシテハ人稅ヲ主トシ、地  
方稅ノ方ニ於キマシテハ專ラ物稅ヲ目的ト  
スル、斯ウ云フヤウナ形ニ整ヘテ居ルノデ  
アリマス、併シナガラ、地方稅ノ方ハ物稅  
ヲ主トスルト云フコトニナツテ居リマスガ、  
茲ニ幾ラカノ人的ノ課稅ヲ認メテ居ルノヘ、  
是ハ市町村民稅ニ於テ其ノ現ハレガ見エテ  
居ルノデアリマス、斯ノ如クシテ、地方ニ  
於キマシテハ、所謂收益三稅ノ附加稅並ニ  
獨立稅ヲ中心ト致シマシテ、而シテ地方ノ  
財源ノ不均衡ヲ正シマスル爲ニ所謂配付稅  
ノ制度ヲ採ルノデアリマス、配付稅ノ制度  
ト致シマシテハ、三收益稅、是ハ一旦國ノ稅  
ノ獨立稅ト云フモノハ大體ドノ位ガ宜ノノデ  
コトガ理想デアルカ、是ハ一般論デアリマ  
ス、モウ少シ具體的ニ申上ゲマスナラバ、地方  
私ノ御尋申上ゲタ事ヲモウ少シ具體的ニ申  
上ゲマスト、地方ノ稅源ヲ如何ニ構成スル  
コトガ理想デアルカ、是ハ一般論デアリマ  
ス、モウ少シ具體的ニ申上ゲマスナラバ、地方  
アリマスルノデ、是亦考ヘテケレバナラヌ  
點ガ澤山アルト思フノデアリマス、ソレ故  
ニ、稅ノ徵收ノ上カラ見、又稅其ノモノノ  
性質カラ見テ、國稅トシテ之ヲ徵收シテサ  
ガ、總テノ點カラ見マシテ適正ナル所ノ方  
法ナリ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、要  
ハ結局只今申上ゲマシタヤウニ、地方ノ  
治ハ飽クマデ尊重シナケレバナリマセヌカ  
ラ、地方ノ自治體デ自分カラ財源ヲ求メテ自分ノ

フヤウナ形ニ於テ、地方ノ財源トシテ之ヲ  
認メテ行ク、茲ニ一ツノ伸張力ヲモ含メテ  
付稅ト致シマシテ、之ヲ地方ニ分配シテ、  
貧弱町村ノ窮乏ヲ救ウテ行ク、斯ウ云フヤ  
ウナ建前ニ大體ナツテ居リマス、而シテ從  
レニ依ツテ正サレマスシ、又從來アリマシ  
タ制度ニ比シマスト、ドツチカト云フト稅  
ニ重キヲ置キマシテ、國カラ補助金ノ性質  
ヲ以テヤルモノヲ成ベク少クシテ行ク、即  
チ國民ガ皆納稅ニ依マリシテ自分ガ自分で  
精神ヲモ取込ミマシテ、大體ノ稅ノ建前ト  
致シタノデアリマス、是ハ幸ニ一面ニ於テ  
國稅トシテノ制度ヲ根本的ニ改正スルト云  
フ場合デアリマスカラ、國稅ノ改正ト伴ツ  
テ、只今申上ゲマスルヤウナ大體ノ主義ヲ  
取込ンデ、同時ニ地方稅ト中央ノ稅制トヲ  
一貫シテ茲ニ整備致シタイ、是ガ大體ノ建  
前トナツテ居ルノデアリマス

○石井委員 私ノ申上ゲタコトガ少シハツ  
キリシナカツタカト思フノデアリマスガ、  
私ノ御尋申上ゲタ事ヲモウ少シ具體的ニ申  
上ゲマスト、地方ノ稅源ヲ如何ニ構成スル  
コトガ理想デアルカ、是ハ一般論デアリマ  
ス、モウ少シ具體的ニ申上ゲマスナラバ、地方  
アリマスルノデ、是亦考ヘテケレバナラヌ  
點ガ澤山アルト思フノデアリマス、ソレ故  
ニ、稅ノ徵收ノ上カラ見、又稅其ノモノノ  
性質カラ見テ、國稅トシテ之ヲ徵收シテサ  
ガ、總テノ點カラ見マシテ適正ナル所ノ方  
法ナリ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、要  
ハ結局只今申上ゲマシタヤウニ、地方ノ  
治ハ飽クマデ尊重シナケレバナリマセヌカ  
ラ、或ハ國カラ交付スル所ノ財源ト云フ  
モノハドノ位ガ宜イカ、斯ウ云フヤウナ割合  
ノ御理想ヲ承ツテ見タイト考ヘルノデアリマス  
即チ國家ガ全部賄フガ宜ノカ、或ハ自治  
體ハ自治體デ自分カラ財源ヲ求メテ自分ノ

越シタコトハナインデアリマスルケレドモ、  
併シソコニ今日ノ事情カラ見マスレバ、窮  
乏シタル所ノ町村ヲ如何ニシタナラベ振興  
シ得ルカト云フコトニ思ヒヲ致シマスルナ  
ラバ、只今改正法案ニ於テ編ミマシタヤウ  
ナ方法ガ一番適正ナル結果ヲ得フレルデア  
ラウ、斯カ考ヘテ居ルノデアリマス  
**○石井委員** 大體稍明瞭ニナツタヤウニ思  
ヒマス、御説ノ通りアリマス、私共モサ

ウ考ヘルノデアリマシテ、出來ルナラバ地  
方ノ自治ト云フモノハ、自ラノ稅源ニ依ツ  
テ、自ラノ自治體ヲ運用シテ行クト云フコ  
トガ極メテ必要デアルト考ヘルノデアリマ  
スケレドモ、只今大臣ノ御話ニナリマシタ  
如ク、又既ニ世間ノ定評ニナツテ居リマス  
ル如ク、稅源ト云フモノガ甚シク偏在ヲ致  
シテ居ルノデアリマス、隨テソニ非常ナ  
ル負擔ノ不均衡ガ生ジテ參ツタノデアリマ  
ス、隨テ地方稅制ヲ改革シテ、此ノ不均衡  
ヲ是正シナケレバナラスト云フヤウナ問題  
ニナツテ參ツタノデアリマス、ソコデ問題  
ハ、其ノ自主性ヲ非常ニ尊重スルト云フコ  
トト同時ニ、負擔ノ均衡ヲ期スル、此ノ二  
ツノ問題ヲ巧ニ調節シ調整スルト云フ所ニ  
政治ガアルト考ヘルノデアリマス、ソレデ  
私ガ一番初メニ申上ダマシタ所ノ、私共カ  
ラ見マスルト、今回ノ稅制ハ、或ハ負擔ノ  
均衡ヲ圖ルト云フコトニ非常ニ重キヲ置イ  
テ、一面ニ於キマシテ自治ノ伸張ト云フコ  
トガ表看板ニナツテ居ルケレドモ、或ハソ  
レノ方ガ疎カニナツテ居ルノデハナイカ、  
斯様ニ考ヘタノデアリマス、詰リ個々ノ自  
治政治ノ運用ト、ソレト同時ニ負擔ノ均衡  
ト云フコトガ極メテ必要デアルト同時ニ、  
又一番問題ニナル點ダト私考ヘルノデアリ

ノ伸張力モ考ヘテ居ル、又同時ニ決シテ國ニ支配力ガ町村ニ及ブモノデハナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ仰シヤツタノデアリマスガ、私ハ初メニモ申上ゲマシタ如クニ左様ニハ考ヘヌノデアリマス、ソコデ私ハドウ御所見ヲ拜聽シタイト考ヘルノデアリマス、第一番ニ今回構成セラレテ居リマスル所ノ税源ノ關係デアリマス、ソレヲ分析致シテ見マスルト私ハ明瞭デアルト考ヘルノデアリマス、是ハ大臣ハ先程來仰シヤラレマシタガ、私ハ其ノ數字ガ一尙明瞭ナナイロアリマスガ、一應此處デ數字ニ付テ申上ゲテ見タイト考ヘマス、御説明ニ依ツテ見マスト、大體十五年度ノ收入見積トシテ十億三千二百万圓ト云フコトヲ一應押ヘテアルヤウデアリマス、其ノ中ニ地方ノ獨立稅竝ニ國ノ附加稅トシテ五億三千七百万圓、分與稅ガ四億五千二百萬圓、其ノ外負擔ノ區分ノ變更ニ依ツテ四千三百万圓、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、地方ノ獨立稅及ビ國ノ附加稅ト云フ五億三千七百万圓ト云フモノヲ又分析シテ、見マスト、其ノ中ノ地方ノ獨立稅ト云フモノハ一億六千二百万圓ニシカニラヌノデアリマス、國ノ三稅ニ對シマスル所ノ附加稅ガ三億七千八百万圓デアリマス、ソレカラ又分與稅ノ中ニ地方ニ還付セラマスル所謂三稅ノ高ガ一億二千五百万圓、配付稅ノ高ガ三億二千七百万圓、斯ウ云フヤウナ工合ニ構成ラセラレテ居ルノデアリマス、之ヲ「パーセンテージ」デ見マスルナラバ、分與稅ガ約四五%デアリマス、國ノ還付稅ニ

對シマスル所ノ附加稅ガ、是ハ百分ノ三百  
マデ宜イ譯ニナツテ居リマスカラ、是ガ三  
七%デアリマス、地方ノ獨立稅ト云フモノ  
ガ一六%ニナツテ居ル、斯ウ云フ風ニ見マ  
スルナラバ、獨立稅ト云フモノハ、十億三  
千二百万圓ニ對シマシテ僅ニ一六%ニシカ  
過ギヌノデアリマス、一割六分ニシカ過ギ  
スノデアリマス、アトノモノハ分與稅が四  
五%、國ノ附加稅ガ三七%、斯ウ云フヤウ  
ナコトニナツテ居ルヤウデアリマス、現行  
ノ地方稅ガ下ウ云フ風ニナツテ居ルカト云  
フコトヲ試ニ検討シテ見マスルト、配付ニ  
ナリマシタ此ノ表ニ依ツテ計算ヲ致シマス  
ルト、現行ノ獨立稅ト云フモノハ五五%ニ  
ナツテ居ル、殘リノ四五%ガ色々ナ國カラ  
貰ヒマス所ノ詰リ附加稅デアリマス、過去  
ノ五五%或ハ四五%ガ必ズシモ宜カ惡イカ  
カト云フコトハ別アリマス、勿論此ノ五  
五%ガナリマシタガ爲ニ、或ハ非常ニ不均  
衡ニナツテ來タト云フ原因ニナツテ居ルカ  
モ知レマセヌガ、今回ノ稅ノ構成ト云フモ  
ノハ、今申上ゲマシタ如ク極メテ地方ノ獨  
立稅ト云フモノガ少イノデアリマス、僅ニ  
一六%デアリマス、此ノ一例ヲ以テ致シマ  
シテモ地方ノ政治、地方ノ財源ト云フモノ  
ハ自治性ニ乏シイト云フコトハ明ニナルト  
考ヘルノデアリマス、更ニ此ノ獨立稅ト云  
フモノヲ一々ニ付テ檢討ヲ致シテ見マスナ  
ラバ、此ノ獨立稅ト云フモノハ極メテ彈力  
性ノ薄弱ナルモノデアリマス、極メテ彈力  
性ノ薄弱ナルモノノミデアリマスガ故ニ、  
ニ先程來御話ニナリマシタ附加稅デアリマ  
ストカ、還付稅デアリマストカ、斯ウ云フ

問題ノ中ニ營業稅ハ可ナリ伸張力ガアルト  
云フ御話デアリマシタ、ソレハ成程私モ左  
様ニ考ヘルノデアリマス、私共ハ若シ本當  
ナル負擔ノ不均衡ヲ將來ニ於テ生ジハシナ  
イカト云フ程度ニマデ考ヘルノデアリマス  
ガ、併シナガラ其ノ還付稅デアル所ノ營業  
稅、或ハソレニ對スル附加稅ハ成程伸張力  
ハアリマセウケレドモ、此ノ伸張力ト云フ  
モノハ營業稅デアルトカ、其ノ附加稅デア  
ルトカ、或ハ家屋稅デアルトカ、及ビ之ニ  
對スル附加稅ト云フモノハ配付稅ノ標準ト  
ナリマシテ、是ノ多イ所ニハ少ク配付稅ガ  
來ル、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマス、  
必ズシモ之ヲ以テ私ハ伸張力ガアルトハ申  
シ切レナイト考ヘルノデアリマス、斯ノ如  
ク考ヘテ參リマシタナラバ、只今内務大臣  
ノ御話ガアリマシタガ、私ハ地方ノ財政ト行  
云フモノハ自主性ニ乏シイモノデアル、或  
ハ伸張力ニ乏シイモノデアル、強靭性ニ乏  
シイモノデアル、彈力性アル所ノ政治ヲ行  
フコトハ出來ナイモノデアル、斯ウ云フコ  
トガ言ヒ得ルト考ヘルノデアリマス、此ノ  
點ハ内務大臣ト見解ヲ異ニ致スノデアリマ  
スガ、今私方申上ゲマシタ數字ニハ誤ガ  
アルカモ知レマセヌケレドモ、此ノ點ニ對  
シマスル所ノ御見解ヲ拜聽致シタイト思ヒ  
マス

次ソレニ付テ申上ガタイト思ヒマス、先ヅ  
ノ財政計畫ハ其ノ通リニ出來テ居ル譯デゴ  
ザイマスガ、色々ノ點ガゴザイマスノデ逐  
第一ノ問題ハ財源ノ分配ノ關係デゴザイマ  
ス、御述ベニナリマシタ獨立財源ノ問題デ  
ゴザイマスガ、今回ノ地租、家屋稅、營業  
稅ハ一應ハ國稅トシテ居リマスケレドモ、  
是ハ度々御答ヲ致シテ居リマス通り、負擔  
ノ公正ヲ期スルト云フコト、課徵形態ノ便  
宜ノ問題トシテ一應國稅ノ形態ヲ採ツテ居  
ル譯デアリマス、是ハ其ノ儘地方ニ還元交  
付サレルモノデアツテ、地方ニ於ケル財源  
トシテ考ヘマスレバ全ク獨立財源デアリ  
マス、之ヲ實質的ニ見マスルナラバ、附加  
稅トハ申セ、又國稅トハ申セ、何レモ地方  
ノ獨立財源ト御考戴キタイト思フノデアリ  
マス、斯様ニ致シマシテ今回ノ稅制ヲ考ヘ  
マスナラバ、寧ロ配付稅タル財源ガ實質的  
ニハ附加稅ノ形態ヲ採ルモノト見テ宜シイ  
ノデハナイカ、隨テ十億三千二百万圓ト云  
フモノハ之ヲ獨立財源ト調整財源トニ分ケ  
マスナラバ、六億六千一百萬圓ト云フモノ  
ガ、平年度ニ於キマシテハ獨立財源乃至獨立  
稅ノ範疇ニ入ルモノダト思ヒマス、サウ  
シテ調整財源ト致シマシテ三億二千七百万  
圓ト云フモノガゴザイマスカラ、地方財源  
ノ獨立性ト云フコトカラ考ヘマスナラバ、  
大體十億三千二百万圓ノ中ノ六割七分程度  
ガ地方獨立財源ト御考ヘ戴クコトガ出來ル  
ノデハナイカト思ヒマス、尙ホ所謂獨立稅、  
即チ府縣ガ其ノ必要ニ應ジテ稅目ヲ起シテ  
課徵致シマスモノハ、御話ノ通リ總額トシ  
テハ僅少ナモノデゴザイマス、是ハ從來ト  
モサウナノデゴザイマシテ、從來ノ稅制ニ

於キマシテハ、戸數割ガ獨立稅ノ大部分ヲ成シテ居ルノデアリマス、是ハ度々申上ゲマシタ通り、是アルガ爲ニ非常ニ地方ノ地域的乃至人的ニ負擔ノ均衡ヲ失シテ居リマス爲ニ、今回之ヲ全廢スルコトニナリマシタノデ、地方ノ純粹ナル獨立稅ト致シマシテハ、左種大キナ目星シイ課稅ノ課目ト云フモノハ見出シ難イノデアリマス、此ノ點ハ地方稅制ノ必然性トシテ已ムヲ得ナイノデハナイカト考ヘテ居リマス

尙ホ今回ノ稅制ニ依リマシテノ地方ノ財政ノ彈力性ノ問題ニ付テ、先程御尋ガゴザイマシテ大臣カラ御答ガゴザイマシタガ、多少ソレニ附加ヘテ申上ゲテ置キタイト思ヒマスルノハ、現行稅制ノ下ニ於キマシテノ地方ノ彈力性ト云フモノハ、實ハ法制乃至形ノ上ニ於キマシテハ或ル程度アルヤウニ見ラレテ居リマスガ、實質ニ於テハ相當行詰ツテ居リマス、御存ジノヤウニ戸數割ヲ是レ以上増徴スルト云フコトハ困難デアリマスシ、其ノ外ノ三收益稅等ニ付キマシテモモウ非常ニ行詰ツテ居ルノデアリマス、今回ノ稅制ニ於キマシテハサウ云フモノニ對スル所謂制限外課稅モ全部包含セシメマシテ居リマスカラ、相當ノ伸縮力ヲ持ツコトニナルヤウニ構成シテ居ル譯デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石井委員 數字ノ解釋ト云フモノハ、今ノヤウナ工合ニ解釋ヲスレバ或ハ左様ニ解釋出來ルカトモ考ヘマスケレドモ、私ノ申上ゲマスノハ、地方ニ觀點ヲ置イテ申上ゲタ積リデアリマシテ、例ヘバ町村長デアリマストカ、其ノ人達が自分デ裁量シ得ルモ

ノヲ本當ノ獨立稅トス様ニ考ヘマスルト、  
今言フヤウニ一六%シカナイノデアリマス、  
成程國カラ還付スルモノモ獨立稅グ、ソレ  
モ獨立稅ニ相違ガアリマセヌケレドモ、是  
ハ一旦國ガ徵收ヲシテ還付スルノデアリマ  
ス、是ハ何トシテモ、町村ガソレニ對シテ  
餘計ニ取ラウトカ、或ハ如何シヨウトカ云  
フコトハ附加稅以外ニハ出來ナイ、斯ウ云  
フ形ニナツテ所謂私ノ申ス箱詰デアル、斯  
ウ云フコトニ見ラレルノデアリマス、サウ  
云フヤウナ觀點ニ立ツテ考ヘマスルト、極  
メテ獨立性或ヘ自主性ト云フモノガ乏シイ、  
斯様ニ考ヘルノデアリマスルガ、併シ斯ウ  
云フコトハ段々申上ガテ參リマスト一種ノ  
議論ニナツテシマヒマスカラ、此ノ程度ニ  
致シテ置キタイト考ヘマス

リマスカラ、ドウシテモ國稅トシテ名目ヲ存シテ置カナケレバナラヌト仰シヤレバノヲ強ヒテドウト言フノデハナイケレドモ、國デ取ツテ是非トモ之ヲ獨立稅ニシテ其ノ儘府縣ニ還シテシマフト云フ理由ハドウモ私ニハ分ラナイ、長イ理窟ハ要リマセヌ、之ニ付テ簡單ニ御説明ヲモウ一度願ツテ置キタイト思ヒマス

序ナガラ只今獨立稅ノ御話モアリマシタカラ、此ノ間市町村ニ於テ賦課スベキ舟稅ノコトヲ御尋致シタ所、ソレハ五頓未満ノモノハ課稅シナイコトニナツテ居リマスト云フ御答デアリマシタ、ソレカラ色々御提出ニナツテ居ル稅法、關係法規等ヲ見テミマスルト、何處ニモ五頓未満ノ免稅ト云フコトハ書カレテ居リマセヌ、二十頓未満ハ總テ市町村ニ獨立稅トシテ取ツテ宜イト云フコトニナツテ居ル、ソコハ一ツドウ云フ理由デ五頓未満ハ免稅ニナルノカ、ハツキリ致シテ置キタイ

○挾間政府委員 土地ニ對スル課稅ヲ全然地方稅ノ形ニ依ルカ、乃至ハ國稅トシテ今回ノ如ク一部分ハ殘スカト云フコトノ理由ニ付キマシテハ、先般大藏大臣ヨリ詳細ニ御話ガゴザイマシタノデ重複ヲ避ケタイト思ヒマスルガ、御話ノヤウナ形ヲ取ルコトモ一つノ案ト考ヘマスケレドモ、今回此ノ土地、家屋、營業三稅ニ付キマシテノ課徵ノ形態ヲ一應國稅ニ一部分ヲ殘スト云フクトニ致シマシタノハ、無論一番大キナ問題ハ負擔ノ公平ヲ期スルト云フ點カラ申シマシテ、其ノ課稅標準ノ決定ヲ國デ統一スルト云フコトガ最モ適當デアルト考ヘルノデアリマス、御話ノヤウニ一率ニ基準ヲ設ケテ、地方ヲシテ調査セシムルト云フコトモ

出來ナクハナイト思ヒマスガ、強ヒテ左様  
ナ方法ヲ執ル必要モナイデハナイカ、國ニ  
於テ直接之ヲ調査決定スルト云フコトガ最  
モ妥當デアルト思フノデアリマス、是ハ今  
回ノ分與稅ノ分與ノ課稅力算定ノ基準トナリ  
マスノデ、極メテ地方稅制ノ上カラ致シマス  
ルト重大ナル意味ヲ持ツテ居リマスカラ、是  
非トモ是ハ國ニ於テ直接調査決定スルコト  
ガ適當デアリ、サウ致シマスルカラニハ國  
稅ノ形ヲ取ルコトガ適當デアルト思フ、併  
シナガラ此ノ財源ト致シマシテハ、是ハ地  
方ノ財源ニスル必要ガゴザイマスノデ、其  
ノ形式ヲ還付稅ノ形式ニ依ツタ譯デアリマ  
ス、尙ホ一つハ、國稅トシテ殘シマスコト  
ニ付キマシテハ、是等ノ稅ニ付キマシテ、  
國ニ於テ一部ヲ持ツト云フコトガ、サウ云  
テ、免稅乃至稅ノ輕減ヲ致スト云フヤウナ  
場合ニハ、各團體ノ自由ニ任セマスヨリモ、  
國ニ於テ一部ヲ持ツト云フコトガ、サウ云  
テ考ヘマス、例ヘバ今度ノ事變ノ關係ニ於  
キマシテ、稅ノ輕減ヲ致シマスト云フヤウ  
ナ場合ニ於キマシテモ、其ノ一部ハ國稅ニ  
アルコトガ適當デハナイカト思フノデアリ  
マス、自作農地ニ對スル免稅等ニ付キマシ  
テモ同様デアリマス、尙ホ更ニ稅ノ沿革ト  
云フコトハ、是ハ一ツノ稅ニ對スル國民ノ  
感情ト云フコトヲ十分考慮スル必要ガアル  
ト思ヒマスノデ、是ハ課稅技術ト云フ問題  
ヨリモ大キク考ヘマシテ、國民ノ國體ニ對  
スル納稅ノ感情、稅ノ沿革ト云フヤウナコ  
トモ考慮ノ中ニ入レマシテ、還付稅ノ形態ヲ  
取ルコトニ致シタ譯デゴザイマス、ソレカ  
ラ舟稅ノコトニ付テ……〔森委員「徵收事務ノ  
地方委任ハ……」〕一寸私聽漏シテ居リマシタ

ガ、徵收事務ハ從前通リニ地方ニヤラセル  
譯デゴザイマス、ソレカラ地籍ノコトニ付  
カラ大藏省ノ方カラ——最モ大切ナ地籍事  
務デゴザイマスノデ、是ハ國ニ於テ持ツテ  
居ラケレバナラヌト思ヒマス、尙ホ詳細  
ハ大藏省ノ方カラ御答ガアラウト思ヒマス  
ソレカラ舟稅ニ付キマシテハ、是ハ御話  
ノ通り法律ノ上ニ於テハ規定ハ致シテ居リ  
マセス、是ハ各市町村ガ條件ヲ以テ課稅ス  
ルコトニナリマスルノデ、御話ノ通り五頓  
未滿ノ舟ニ付テハ課稅ヲ致サセナイ積リデ  
ゴザイマス、是ハ大體只今ノ考デハ此ノ稅  
法施行ノ際ニ通牒等ヲ以テ、地方ニサウ云  
フ方針デ課稅ヲサセルヤウニ指示スルコト  
ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○森委員 只今從來通リ徵稅事務ハ地方ニ  
委任スルノダト云フ御答デアリマスカラ、  
ソレデ私ハ宜シノデス、事務ヲ委任シテ  
地方ニ徵收セシメタル其ノ金ハ、直チニ之  
ヲ地方ノ財源ニ入レルコトニ何ノ差支ガア  
ルノデアリマスカ、是非共之ヲ國家ノ收入  
トシテ還付セナケレバナラヌト云フ理由ハ  
ドウ云フコトデアリマスカ

○撫問政府委員 是ハ國稅トシテ地租、家  
屋稅、營業稅ト云フモノヲ一體見マシテ、  
還付稅ノ形ヲ執ツテ居ル譯デゴザイマスノ  
デ、其ノ扱ヒヲ別ニスルト云フコトハ〔森委  
員「地租バカリデハアリマセヌ、皆デス〕  
何レニ致シマシテモ一應國稅トシテ課徵  
致シタモノヲ、還付稅ノ形ヲ執ルト云フコ  
トハ、先程申上げマシタヤウナ理由ニ依リ  
マシテ適當デアルト考ヘテ居リマス

○石井委員 地方稅ノ自主性ヲ缺キ、或ハ

マシタヤウニ、決シテ只今ノ大臣並ニ政府  
委員ノ御説明ヲ以テ私ハ満足致シテ居る者  
デハナノニアリマシテ、私ハヤハリ左様  
ニシカ考ヘラレヌノデアリマス、大體ニ於  
キマシテヤハリサウンタ觀點ニ立ツテ、此  
ノ質問ヲ繼續致シテ行キタイト思ヒマス、  
ソコデ承ツテ見タイト考ヘマスノハ、此ノ  
配付稅ノ三億二千七百万圓ト云フ數字ハ一  
體何處カラ出テ來タカ、斯ウ云フ問題デア  
リマス、之ヲ一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒ  
マス

○撫問政府委員 今回ノ配付稅額ヲ決定致  
シマスニ付キマシテハ、凡ソ此ノ稅制改正  
ノ基準トナルベキ稅總額ト云フモノヲ計算  
致シマシテ、ソレハ十三年度ノ地方稅ノ現  
行制度ニ依ル徵稅額ヲ基礎トシテ、ソレニ  
對スル自然增收ヲ見込ミマシタ、更ニ臨時  
地方財政補給金一億五千萬圓ヲ加ヘマシタ、  
タノデゴザイマスガ、此ノ十億三千二百万圓  
ヲ調整財源ト獨立財源ニ分ケタノデアリマ  
ス、獨立財源ニ付キマシテハ先づ地租、家屋  
稅、營業稅デゴザイマス、是ハ今回ノ稅制ノ  
目標ト致シマシテ、大體五億一千萬圓内外ヲ  
此ノ三稅ニ依ツテ收入スルト云フ計數ヲ立  
テマシタ、ソレカラ其ノ外市町村民稅ニ付  
テ五千万圓、尙ホ其ノ他ノ獨立稅等ヲ合算  
致シマシテ、ソレヲ十億三千二百万圓カラ  
控除致シマシテ、其ノ財源ヲ配付稅トシテ  
配分スルト云フコトニ致シマシテ、其ノ數  
字ガ平年度ニ於キマシテ三億二千七百万圓  
ト云フコトニナツタノデアリマス

○兒玉國務大臣 配付稅ノ高ヲ如何ニ決メ  
ルコト云フ問題デアルノデアリマス、是ハ  
臣ノ御見解ヲ承リタイノデアリマス

今地方ノ財政ヲ調整スル爲ノ配付稅デアリ  
マシテ適當デアルト考ヘテ居リマス

○兒玉國務大臣 配付稅ノ高ヲ如何ニ決メ  
ルノデアリマス、私ノ先程來申上げマシタ  
シテ、是ダケノモノガ要ルノダト云フ計算  
ヲ致スノモノ一ツノ方法デアリマセウ、併シ  
ケノ稅收入ガアルノデアルカ、サウシテ是

考ニナツテ居ルカト云フ根本ノ問題ガ、ソ  
ニ解決ガ付イテ來ルト考ヘマス、私モ只  
今御説明ニナリマシタヤウナ結果ニナツテ  
來ルモノト考ヘルノデアリマス、總テノ稅  
收入、サウ云フモノヲ引去ツタ殘リガ、成  
程三億二千七百万圓ト云フ一種ノ算盤的ニ  
出テ來タ所ノ數字ダト私モ考ヘテ居ツタノ  
デアリマス、只今局長ノ御説明ニ依ツテソ  
レガハツキリ致シマシタ、私ハスウ云フコ  
トデ果シテ宜イノデアルカドウカ、ソレヲ  
一言大臣ニ聽イテ見タイト思ヒマス、地方  
財政ヲ如何ニヤルベキカ、或ハ地方ノ政  
治ヲ如何ニ行フベキカ、斯ウ云フコトヲ根  
本ニ考ヘテ行ツテ、サウシテ是ダケノ財源  
ガ要ルヤウニナツタト云フナラバ納得ガ行  
置イテ、財源ヲ引去ツテ行ツテ残リダケヤ  
ラウ、斯ウ云フコトニナリマシタナラバ、  
其ノ政治ト云フモノハ、機械的ナ政治デア  
ル、活キタ政治デハナイト私ハ考ヘマス、  
政治ノ原則トシテハ、所謂出ルヲ計ツテ入  
ルヲ制スル、是ガ政治ノ原則デナケレバナ  
ラヌノガ、數字ノ上デ計算シテ行ツテ、算  
盤玉デ出テ來タモノダケヤラウ、是デ果  
シテ政治ガ出來ルカドウカ、之ニ對スル大  
事、是ダケノモノガ要ルノダト云フ計算  
ヲ致スノモノ一ツノ方法デアリマセウ、併シ  
ケノ稅收入ガアルノデアルカ、サウシテ是

ダケノモノハ地方デ以テ取レルノデアル、サウスレバソレ以外ニ總數的ニ是ダケノモノヲヤレバ、積算シタト同ジ結果ヲ得ラレルモノデアルト云フ算盤ノ立テ方ト云フモノモ亦考ヘラレルノデアリマス、而シテ其ノ結果ト致シマシテ、三億幾ラト云フ計算ガ出タノデアリマスノデ、結論カラ申シマスレバ、只今御話ニナリマシタルモノト全然一致スルモノト考ヘテ居リマス、ソコデ思フノデアリマス、將來更ニ必要ナル財源ヲ求メント欲スル場合ニ於キマシテハ、之ニ對シマスル自然增收ナルモノガ、是ハ自然ニ起リマスモノデアリマス、ソレ等ヲ更ニ調整財源トシテ適當ニヤラウ、斯ウ云フコトニ相成ルト思フノデアリマス  
○石井委員 私ハ非常ナ間違ヒガソコニアルト考ヘルノデアリマス、府縣ノ財政的要求、政治的要求数字ヲ考慮シテ行ツテ、サウンテソレヲ基準ト致シテ、ソレカラ稅收入ナル財源ヲ得テ、サウシテ自治ノ活動ヲ圓滑ニ活潑ニシテ行クコトガ出來ル、斯ウ云フコトニ相成ルト思フノデアリマス

是ハ大臣ガ仰シヤルヤウニドツチカラ言ツテモ同ジダト云フノトハ非常ニ違フト考ヘルノデアリマス、私ハ斯ウシタ現ハレハ今度ノ分與稅制度ニ於テハズツト見ルコトガ出来ルノデアリマス、分與稅法ノ第六條デアツタト記憶致シテ居リマスガ、分與稅法第六條第一項ハ、大體分與稅トシテ分與スル所ノ額ガ決ツテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ第二項ニ依リマスト「分與額ノ百分ノ百十ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ當該年度ニ於テ分與スベキ額ヨリ減額ス」ト書イデアル、既ニ金額ト云フモノハ、如何ナル場合ニ於テモ、此ノ一應持ヘマシタ三億二千七百万圓ヨリモ一割以上増スコトハ出来ヌ、金額ガスツカリ限定シテアル、金額ヲ限定シテ置イテ、サウシテ地方ノ政治ヲヤレ、斯ウシタ形ヲ稅法其ノモノガ教ヘテ居ルノデアリマス、或ハ第七條ニ於テ地方財政ノ情況上必要ガアレバ配付額ヲ增加スルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマスルケレドモ、一應ハ一割ノ增徵シカ認メナイ、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマス、金額ヲ押ヘテ政治ヲヤレ、斯ウ言フ話デアリマス、私ハ政治ノ理論ト根本的ニ背馳スルモノデハナイカ、斯様ニニ考ヘマスルガ、如何デゴザイマセウカラ御答致シマス。

○石井委員 是ハ一ツ大臣カラ御答願ヒタ  
イト思ヒマス、是ハ政治ノ問題デアリマス、事務上ノ問題デハナインデアリマス、  
○兒玉國務大臣 只今ノコトハ政府委員カラ御答致シマス。

○兒玉國務大臣 政治ノ問題ト仰シヤイマスガ、一寸其ノ政治ノ意味ガ分ラヌノデアリマス、一面ニ只今申上げマス通リニ、配

付税ノ額ヲ如何ニシテ定メルカト云フコトニ相成ルノデアリマスガ、私ハ此ノ配付税ノ額ヲ定メル方法ハ只今ノヤウナ計算デ以テヤルコトガ正當デアル、而シテ之ニ對シテハ、自然增收ガアレバソレヲモ調整財源ニ充テルト云フコトガ出來ル、ソコデ大體一應一定ノ額ヲ地方ニ與ヘテ置キマシテ、サウシテ又實際ノ情況ヲ見テ之ニ増加シ、又ハ減ズルコトモ或ハアルカモ知レマセヌ、斯ノ如クシテ調整ノ目的ヲ達シ得ル、斯ウ云フヤウニ考へテ居ルノデアリマス〇石井委員 ソレデハ局長カラ一ツ……○挾間政府委員 獨立財源ト調整財源トノ配分ノ割合ニ付テ、及び地方財政ニ對スル今回ノ税制ノ對應性ト云フヤウナ問題ニ付テ御質疑ト存ジマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ、今回ノ税制改正ヲ致シマス際ノ基準ノ税額ト云フモノハ、十五年度ニ於キマシテ、自然增收ヲズット見込ミマシテ、サウシテ十億三千二百万圓ト云フ計數ヲ出シタノデアリマス、其ノ中ニハ各團體ニ於ケル制限外課稅等モ全部包含セシメマシテ地租、家屋稅、營業稅ニ付テハ百分ノ八、七、六ト云フヤウナ數字ヲ作ツダノデアリマス、隨ヒマシテ少クトモ十五年度ヲ押ヘテ考へマスレバ、現行制度ニ依ツテ得ルデータウ財源ハ、總テ此ノ稅收入ノ中ニ包含セシムテ居ル譯デアリマス、サウシテ獨立財源ト調整財源トドウ云フ風ニ配分スルカト云フ點ニ付キマシテハ、第一ニハ團體ノ財政的自主獨立性ト云フコトヲ考へナケレバナリマセヌシ、又然ラバ自主獨立性トシテ如何ナル稅ヲ地方稅トシテ與ヘルベキカト云フコトニナリマスト、餘リニ多額ノモノヲ物稅ニ持ツテ參リマスルト、ソレガ負

シタ結果、結論ト致シマシテ、獨立財源トシテハ六割七分程度、調整財源トシテ三分程度ト云フコトニナリマシタノデ、調整財源ト云フモノガ足ラズ目ニ、其ノ方へ持ツテ行ツタト云フコトデハナインデアリマシテ、財源ノ配分ハ此ノ程度ガ最モ適當デアルト云フ根據ニ於テ割合ヲ決定シタノデアリマス、ソレカラ將來ニ於ケル團體ノ財政ノ伸張力ト云フ問題デゴザイマスガ、是ハ無論營業税等ニ於ケル自然增收モゴザイマスルシ、又所得稅、法人稅等ガ配付稅ノ財源ニナツテ居リマスノデ、其ノ自然增收ハ其ノ儘地方財源トシテ分與稅ノ上ニ響イテ參ルノデアリマス、御述べニナリマシタ分與稅法ノ第六條ニ十一割以上ハ蓄積スル、九割マデハ配付稅ヲ增加シテ分與スト云フコトニ致シマシタノハ、各地方團體ノ著シキ財政ノ膨脹ト云フコトヲ抑制シケレバナリマセヌノデ、前年度ニ比べマシテレバナリマセヌシ、又必要以上ニ財政緊縮ヲ餘儀ナカラシムルト云フコトモ避ケナケレバナリマセヌノデ、前年度ニ比べマシテ一割限度ノ遞増遞減ヲスルコトガ適當ナル、斯様ニ致シタノデアリマス、是ハ御存知ノヤウニ大體現在ニ於ケル各地方團體ノ財政ノ膨脹率ト云フモノヲ見マスト、平均六七分程度ニ止ツテ居ルノデアリマス、斯様ニ實蹟ヲモ考ヘマシテ一割内外ノ増減ヲスルト云フコトニ規定ヲ致シタノデアリマス

所謂十五年度ノ豫想セラレマスル所ノ稅收入ト云フモノヲ基準トシテソレニ依ツテ配付稅ノ額ヲ決メタ、斯ウ云フ風ニ仰セラレルノデアリマスガ、私ハソレガイカヌト、斯ウ云フ風ニ申上ゲルノデアリマス、詰リ地方ノ財政需要、地方ノ政治要求、斯ウ云フモノヲ一遍検討シテ行ツテ、ソレニ對シテ大體ノ本當ノ獨立稅デアルトカ、或ハ還付稅デアルトカ、サウシタモノガ是ダケアル、隨テソコニ配付稅ト云フモノガ出テ來ル、斯ウ云フ風ニナツテ來レバソコニ私ハ政治ガアルト申上ゲルノデアリマス、詰リ入ツテ來ル方ヲ押ヘテ置イテ、ソレデ入ツテ來ルモノニ不足スルダケヲ配付稅デヤラウト云フコトニナルノデアリマスカラ、結局機械的ダ、算盤的ダト私ハ申上ゲルノデアリマス、地方ノ財政需要、政治要求、斯ウ云フモノヲ考慮サレテ行ツタ所ガ三億二千七百万圓ト云フモノニナツタト云ヘバ私ハ問題ハナイト考ヘマスケレドモ、只今御説明ニアリマシタ通リニ、稅收入ト云フモノヲ云フモノヲ考慮サレテ行ツタ所ガ三億二千七百万圓ト云フモノニナツタト云ヘバ私ハ問題ハナイト考ヘマスケレドモ、只今御説明ニアリマシタ通リニ、歲出ヲ基準ト致シマシテ、之ニ適正ナル計算ヲシテ、其ノ上ニ盛上ゲテ調整額ヲ定メルト云フ事柄モ、一ツノ方法デアリマセウケレドモ、大局カラ見マシテ只今ノヤウナ風ニ、此ノ十億幾ラト云フ數ヲ先づ見出シマシテ、ソレカラ、必要ナル部分ヲ差引キマシテ、此ノ位ノモノヲ配付稅トシテヤツタラ宜カラウト云フ政治的ノ取扱ガ私ハ適正ナルモノデハナイダラウカト思フ、而シテ之ニハ只今局長ヨリ御話申上げシタ通リニ、所得稅ナリ何ナリノ自然増收ト云フモノハ茲ニ生ジテ來ルノデアリマスルカラ、是等ヲ一面ニ於テハ見返リマシテ、サウシテ年々ノ調整財源ニ之ヲ充テテ、ソコニ質問ガ出テ來ルノデアリマス、如何デスカ

## ○兒玉國務大臣 理論上ノ御話トシテハ私

ハ一應御尤モダト思フノデアリマス、初カラ私ハサウ申上ゲテ居ルノデアリマス、併シナガラ實際地方ノ歳出ヲ見マシテ、其ノ歳出ハ無論適正ナル歳出デナケレバナリマセヌガ、其ノ歳出ヲ見マシテ、ソレヲ基準トシテ足リナイ部分ヲ補ツテヤルト云フ事柄ハ理窟ダト思ヒマス、併シナガラ是ダケノ大キナ仕事ヲ致シマスル上ニ於テハ、大體ノ目途ヲ敏活ニ見マスル上カラ申シマス

ト、只今局長ナリ私ヨリ説明申上ゲマシタ通リニ、十五年度ニ於キマスル十分ナル茲ニ需要額ヲ見マシテ、サウシテ其ノ需要額ニ十億幾ラト云フモノデアル、ソコニ独立稅其ノ他ノ收入ト云フモノヲ差引キマシテ、大體是ダケノモノガアツタナラバ今日ノ調整額源ニ間ニ合フデアラウ、斯ウ云フヤウニコトニ致シマシテ、所謂調整財源ナルモノヲ定メタノデアリマスノデ、理論ト致シマシテハ私ハ確一ツノ御議論ダト思フノデアリマス、併シナガラ只今ノ申上ゲマシタ通リニ、歲出ヲ基準ト致シマシテ、之ニ適正ナル計算ヲシテ、其ノ上ニ盛上ゲテ調整額ヲ定メルト云フ事柄モ、一ツノ方法デアリマセウケレドモ、大局カラ見マシテ只今ノヤウナ風ニ、此ノ十億幾ラト云フ數ヲ先づ見出シマシテ、ソレカラ、必要ナル部分ヲ差引キマシテ、此ノ位ノモノヲ配付稅トシテヤツタラ宜カラウト云フ政治的ノ取扱ガ私ハ適正ナルモノデハナイダラウカト思フ、而シテ之ニハ只今局長ヨリ御話申上げシタ通リニ、所得稅ナリ何ナリノ自然増收ト云フモノハ茲ニ生ジテ來ルノデアリマスルカラ、是等ヲ一面ニ於テハ見返リマシテ、サウシテ年々ノ調整財源ニ之ヲ充テテ、ソコニ質問ガ出テ來ルノデアリマス、如何デスカ

○挾間政府委員 弾力性ノ問題ハ、私共彈力性ト云フモノヲ「通リニ考ヘテ居リマス、是モヤハリ私ノ申上ゲル地方ノ財政ノ自治性ト云フ點ニ乏シイト云フコトノ極メテ好イリマセウケレドモ、大局カラ見マシテ只今ノヤウナ風ニ、此ノ十億幾ラト云フ數ヲ先づ見出シマシテ、ソレカラ、必要ナル部分ヲ差引キマシテ、此ノ位ノモノヲ配付稅トシテヤツタラ宜カラウト云フ政治的ノ取扱ガ私ハ適正ナルモノデハナイダラウカト思フ、而シテ之ニハ只今局長ヨリ御話申上げシタ通リニ、所得稅ナリ何ナリノ自然増收ト云フモノハ茲ニ生ジテ來ルノデアリマスルカラ、是等ヲ一面ニ於テハ見返リマシテ、サウシテ年々ノ調整財源ニ之ヲ充テテ、ソコニ質問ガ出テ來ルノデアリマス、如何デスカ

○挾間政府委員 弾力性ノ問題ハ、私共彈力性ト云フモノヲ「通リニ考ヘテ居リマス、是モヤハリ私ノ申上ゲル地方ノ財政ノ自治性ト云フ點ニ乏シイト云フコトノ極メテ好イリマセウケレドモ、大局カラ見マシテ只今ノヤウナ風ニ、此ノ十億幾ラト云フ數ヲ先づ見出シテ、ソレカラ、必要ナル部分ヲ差引キマシテ、此ノ位ノモノヲ配付稅トシテヤツタラ宜カラウト云フ政治的ノ取扱ガ私ハ適正ナルモノデハナイダラウカト思フ、而シテ之ニハ只今局長ヨリ御話申上げシタ通リニ、所得稅ナリ何ナリノ自然増收ト云フモノハ茲ニ生ジテ來ルノデアリマスルカラ、是等ヲ一面ニ於テハ見返リマシテ、サウシテ年々ノ調整財源ニ之ヲ充テテ、ソコニ質問ガ出テ來ルノデアリマス、如何デスカ

○石井委員 私ノ申上ゲマシタ根本ノ議論ニ付テハ、大體認メニナツタヤウデアリマス、私ハドウシテモ調整財源ヲ御見出シニナル根本ノ考、根本ノ思想ト云フモノハ、私ノ申上ゲタ通リデナケレバナラスト考ヘ

フコトニナル譯デアリマスガ、是ハ實際ノ住民ノ負擔力カラ見マシテ、大シタ餘力ガナイノデアリマス、吾々實際ノ制限外課稅行詰ツテ居ルト云フコトヲ認メザルヲ得ナイ状態デアリマス、隨テ現行制度ノ上ニ於テ課率ノ上下ニ依ル所ノ財政的需要ヲ満足セシムルト云フコトニ付キマシテハ、形ノ上コソ自由デアリマスガ、相嘗行詰ツテ居ルト考ヘマス、ソレカラ課稅標準ノ増大ニ依リマス地方稅收入ノ増額ノ問題ハ、是ハ現在所得稅附加稅ガ主ナルモノデアルト思ヒマス、是ハ再三申上ゲマシタヤウニ、所得ノ稅源ノ分布ト云フモノガ、地域的ニ非常ニ偏在致シテ居リマスノデ、是ガ貧弱ナル地方ノ財政窮乏ノ一番大キナ原因デアリマス、隨テ之ヲ此ノ儘ニシテ置クコトハ、根现行制度ノ下ニ於テハ、益々地方財政ノ跛行的狀態ヲ助長スルコトニアリマス、此ノ儘デハ置ケナイデハナイカト云フノデ、根本的ニ改正ヲスルコトニナツタ譯デアリマス、然ラバ今度ノ改正案ニ於テドウデアルト云フコトヲ考ヘテ見マスト、先づ課率ノ問題デアリマスガ、今回ノ三收益稅ニ付キマシテハ、課率ハ、現在ノ制限外課稅ノ入等モ綜合シテノコトデゴザイマスガ、サウシテ地租百分ノ八、家屋稅百分ノ七、營業稅百分ノ六ト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、隨テ是ガ國稅カラモ移ツテ参リマスノデ、非常ニ膨レテ參ツテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ尙ホ必要ニ應ジマシテハ、百分ノ百、又市町村デハ百分ノ二百ヲ超エテ課稅ヲスルコトヲ認メテ居リマスカ

云フモノガ出來テ參ルカト思ヒマス、ソレカラ課稅標準ノ増大ニ依ル自然增收ノコトニ付キマシテハ、只今御述ニナリマシタ通り、配付稅ニ付キマシテ所得稅、法人稅等ガ増額シマスレバ自然増額ヲ致シテ参リマス、又營業稅ニ付キマシテハ、相嘗伸張力ガアルト考ヘマスノデ、形ノ上ニ於キマシテハ或ハ拘束ヲ受ケテ居ルヤウニ見エルカモ知レマセヌガ、實際上ノ問題ニ付キマシテハ、現行制度ニ較ベマシテ、擔稅力ハ十分今回ノ稅制ニ於テ保持スルコトガ出來ルト云フ風ニ私共考ヘテ居リマス  
○石井委員 次ニ御尋申上ゲヨウト考ヘマスノハ、今回ノ此ノ分與稅法ニ依リマスト、配付稅ノ方法ガ色々規定セラレテ居ルノデアリマス、ソレニ依リマスト府縣、大都市、都市、町村、斯ウ云フヤウナ工合ニスツカリ「ブロック」ガ出來テ居ル、サウシテ其ノ「ブロック」内ニ於ケル配付方法モ亦色々アルヤウデアリマスガ、其ノ中デ府縣及び大都市ト云フモノニ對シマシテハ半分ヅカト云フコトヲ考ヘテ見マスト、一方ハ擔稅力ノ問題デアリマスガ、今回ノ三收益稅ニ付ニ依ツテ配付ヲシテシマフ、斯ウ云フヤウニナツテ居ルヤウデアリマス、都市、町村ハ五%ハ命令ノ定ムル所ニ依ツテ配付スルコトガ出來ル、アトノ残リハ四七・五%ヅカキマシテハ、課率ハ、現在ノ制限外課稅ノ限度ヲ總て包含セシメマシテ一應ノ賦課率ヲ決定致シテ居リマス、無論是ハ附加稅收キマシテハ、課率ハ、現在ノ制限外課稅ノ

云フモノガ出來テ參ルカト思ヒマス、ソレカラ課稅標準ノ増大ニ依ル自然增收ノコトニ付キマシテハ、只今御述ニナリマシタ通り、配付稅ニ付キマシテ所得稅、法人稅等ガ増額シマスレバ自然増額ヲ致シテ参リマス、又營業稅ニ付キマシテハ、相嘗伸張力ガアルト考ヘマスノデ、形ノ上ニ於キマシテハ或ハ拘束ヲ受ケテ居ルヤウニ見エルカモ知レマセヌガ、實際上ノ問題ニ付キマシテハ、現行制度ニ較ベマシテ、擔稅力ハ十分十分今回ノ稅制ニ於テ保持スルコトガ出來ルト云フ風ニ私共考ヘテ居リマス  
○石井委員 次ニ御尋申上ゲヨウト考ヘマスノハ、今回ノ此ノ分與稅法ニ依リマスト、配付稅ノ方法ガ色々規定セラレテ居ルノデアリマス、ソレニ依リマスト府縣、大都市、都市、町村、斯ウ云フヤウナ工合ニスツカリ「ブロック」ガ出來テ居ル、サウシテ其ノ「ブロック」内ニ於ケル配付方法モ亦色々アルヤウデアリマスガ、其ノ中デ府縣及び大都市ト云フモノニ對シマシテハ半分ヅカト云フコトヲ考ヘテ見マスト、一方ハ擔稅力ノ問題デアリマスガ、今回ノ三收益稅ニ付ニ依ツテ配付ヲシテシマフ、斯ウ云フヤウニナツテ居ルヤウデアリマス、都市、町村ハ五%ハ命令ノ定ムル所ニ依ツテ配付スルコトガ出來ル、アトノ残リハ四七・五%ヅカキマシテハ、課率ハ、現在ノ制限外課稅ノ限度ヲ總て包含セシメマシテ一應ノ賦課率ヲ決定致シテ居リマス、無論是ハ附加稅收キマシテハ、課率ハ、現在ノ制限外課稅ノ

云フモノガ出來テ參ルカト思ヒマス、ソレカラ課稅標準ノ増大ニ依ル自然增收ノコトニ付キマシテハ、只今御述ニナリマシタ通り、配付稅ニ付キマシテ所得稅、法人稅等ガ増額シマスレバ自然増額ヲ致シテ参リマス、又營業稅ニ付キマシテハ、相嘗伸張力ガアルト考ヘマスノデ、形ノ上ニ於キマシテハ或ハ拘束ヲ受ケテ居ルヤウニ見エルカモ知レマセヌガ、實際上ノ問題ニ付キマシテハ、現行制度ニ較ベマシテ、擔稅力ハ十分十分今回ノ稅制ニ於テ保持スルコトガ出來ルト云フ風ニ私共考ヘテ居リマス  
○石井委員 次ニ御尋申上ゲヨウト考ヘマスノハ、今回ノ此ノ分與稅法ニ依リマスト、配付稅ノ方法ガ色々規定セラレテ居ルノデアリマス、ソレニ依リマスト府縣、大都市、都市、町村、斯ウ云フヤウナ工合ニスツカリ「ブロック」ガ出來テ居ル、サウシテ其ノ「ブロック」内ニ於ケル配付方法モ亦色々アルヤウデアリマスガ、其ノ中デ府縣及び大都市ト云フモノニ對シマシテハ半分ヅカト云フコトヲ考ヘテ見マスト、一方ハ擔稅力ノ問題デアリマスガ、今回ノ三收益稅ニ付ニ依ツテ配付ヲシテシマフ、斯ウ云フヤウニナツテ居ルヤウデアリマス、都市、町村ハ五%ハ命令ノ定ムル所ニ依ツテ配付スルコトガ出來ル、アトノ残リハ四七・五%ヅカキマシテハ、課率ハ、現在ノ制限外課稅ノ限度ヲ總て包含セシメマシテ一應ノ賦課率ヲ決定致シテ居リマス、無論是ハ附加稅收キマシテハ、課率ハ、現在ノ制限外課稅ノ

云フモノガ出來テ參ルカト思ヒマス、ソレカラ課稅標準ノ増大ニ依ル自然增收ノコトニ付キマシテハ、只今御述ニナリマシタ通り、配付稅ニ付キマシテ所得稅、法人稅等ガ増額シマスレバ自然増額ヲ致シテ参リマス、又營業稅ニ付キマシテハ、相嘗伸張力ガアルト考ヘマスノデ、形ノ上ニ於キマシテハ或ハ拘束ヲ受ケテ居ルヤウニ見エルカモ知レマセヌガ、實際上ノ問題ニ付キマシテハ、現行制度ニ較ベマシテ、擔稅力ハ十分十分今回ノ稅制ニ於テ保持スルコトガ出來ルト云フ風ニ私共考ヘテ居リマス  
○石井委員 次ニ御尋申上ゲヨウト考ヘマスノハ、今回ノ此ノ分與稅法ニ依リマスト、配付稅ノ方法ガ色々規定セラレテ居ルノデアリマス、ソレニ依リマスト府縣、大都市、都市、町村、斯ウ云フヤウナ工合ニスツカリ「ブロック」ガ出來テ居ル、サウシテ其ノ「ブロック」内ニ於ケル配付方法モ亦色々アルヤウデアリマスガ、其ノ中デ府縣及び大都市ト云フモノニ對シマシテハ半分ヅカト云フコトヲ考ヘテ見マスト、一方ハ擔稅力ノ問題デアリマスガ、今回ノ三收益稅ニ付ニ依ツテ配付ヲシテシマフ、斯ウ云フヤウニナツテ居ルヤウデアリマス、都市、町村ハ五%ハ命令ノ定ムル所ニ依ツテ配付スルコトガ出來ル、アトノ残リハ四七・五%ヅカキマシテハ、課率ハ、現在ノ制限外課稅ノ限度ヲ總て包含セシメマシテ一應ノ賦課率ヲ決定致シテ居リマス、無論是ハ附加稅收キマシテハ、課率ハ、現在ノ制限外課稅ノ

決ヲスルト云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、  
ヤハリサウシタ行キ道ガアレバ非常ニ結構  
デアル、斯ウ云フ風ニ私考ヘテ居ル矢先デ  
アリマスカラ、成程サウ云フ財源ガアルモ  
ノデアラウカト云フノデ、研究シテ見マシ  
タコトハ間違ヒデアツタ、斯様ニ考ヘテ宜  
イノデゴザイマスカ

○兒玉國務大臣 私ノ御話申上ゲマスノハ、  
今地方局長ガ申シマシタノト同ジコトデア  
リマス、其ノ年ニアラズシテ、後年度ニ於

テ配付税ノ額ニ依ツテ調整ヲスル、斯ウ云  
フ風ニ御話ヲ申シテ居ルノデアリマス

○石井委員 次ノ問題ニ移リマス、今度ノ  
配付税ノ配付方法ニ依リマスト、各地方團體

ニ於キマシテモ第一種、第二種、或ハ町村、  
都市ニキ於マシテハ第三種マデアルヤウデ

アリマス、此ノ第一種ノ配付額ト云フモノ  
ハ、其處ノ擔稅力ニ所謂逆比例シテ配付ス

ル、斯ウ云フ形ニナルノデアリマス、此ノ  
問題デアリマスガ、公平ヲ期スル上ニ於テ

ハ極メテ結構デアルト私考ヘマスルガ、若  
シ其ノ都市或ハ町村、所謂自治體其ノモノ

ガ非常ニ勉強ヲシ、非常ニ働き、或ハ非常  
ニ創意ヲシ、工夫ヲシテ行ツテ、ソレニ依  
ツテ市政ナリ、町政ガ非常ニ舉ツテ行ツタ、  
町村ノ事情ガ非常ニ發達シテ參ツタ、或ハ

モ殖エテ來ル、斯ウ云フコトニナルノデア  
リマス、サウスルト、折角自分達ノ創意ニ  
カラ上ル營業稅が殖エテ來ル、或ハ家屋稅

ノ額ト云フヤウナモノガ、直チニ今度ハ

税ノ額ト云フヤウナモノガ、直チニ今度ハ  
コトデアリマスレバ、内務大臣ノ仰シヤツ  
タコトハ間違ヒデアツタ、斯様ニ考ヘテ宜  
イノデゴザイマスカ

○兒玉國務大臣 云フモノハ、或ハ地方ノ團體ト云フモノハ、  
コトニ相成リマスルト、結局地方ノ町村ト  
云フモノハ、或ハ地方ノ團體ト云フモノハ、  
モウ勉強スルダケ損ダ、貴ツタダケヤツテ  
置ケバ宜イ、斯ウ云フヤウナ工合ニ、全ク  
活潑性ヲ殺ガレルト云フヤウナ結果ニ相成  
ツテ來ルノデハナイカ、斯様ニ憂慮致スノ  
デアリマスガ、如何デアリマスカ、御所見  
ヲ拜聽致シテ置キタイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 云フモノハ、或ハ地方ノ團體ト云フモノハ、  
コトニ相成リマスルト、結局地方ノ町村ト  
云フモノハ、或ハ地方ノ團體ト云フモノハ、  
モウ勉強スルダケ損ダ、貴ツタダケヤツテ  
置ケバ宜イ、斯ウ云フヤウナ工合ニ、全ク  
活潑性ヲ殺ガレルト云フヤウナ結果ニ相成  
ツテ來ルノデハナイカ、斯様ニ憂慮致スノ  
デアリマスガ、如何デアリマスカ、御所見  
ヲ拜聽致シテ置キタイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 只今御話ノヤウナコトヲ  
私ハ考ヘナイノデアリマスガ、苟モ地方住  
民ト致シマシテ、自己ノ地方團體ヲ愛スル  
念カラ申シマスレバ、恐クハ國ノ厄介ニナ  
ラヌト思ツテ居ルノデアリマス、唯配付稅  
ノ方ガ、御承知ノヤウニ一面ニハ割増人口  
ヲ標準ト致シテ居リマシテ、人口ナリ何ナ  
リガ殖エテ参リマスレバ、自然ニソコニ配  
付額ガ增大シテ行クト云フコトニナリマス  
ノデ、第二ノ方法ニ依リマス部分ニ於テ此  
ノ調整ガ出來ル、斯ウ云フコトニナルノデ  
アリマス

○兒玉國務大臣 只今御話ノヤウナコトヲ  
私ハ考ヘナイノデアリマスガ、苟モ地方住  
民ト致シマシテ、自己ノ地方團體ヲ愛スル  
念カラ申シマスレバ、恐クハ國ノ厄介ニナ  
ラヌト思ツテ居ルノデアリマス、唯配付稅  
ノ方ガ、御承知ノヤウニ一面ニハ割増人口  
ヲ標準ト致シテ居リマシテ、人口ナリ何ナ  
リガ殖エテ参リマスレバ、自然ニソコニ配  
付額ガ增大シテ行クト云フコトニナリマス  
ノデ、第二ノ方法ニ依リマス部分ニ於テ此  
ノ調整ガ出來ル、斯ウ云フコトニナルノデ  
アリマス

○兒玉國務大臣 貴ツタカラソレデ満足スルト云フヤウナコト  
デハ、此ノ配付稅ノ性質ニハ合シナイモノデ  
ヤナイカト、斯ウ思フノデアリマス、併シ  
只今ノ御話ノヤウニ人口ガ段々增加シテ來  
ル、増ス人口ニ依リマシテ、所謂財政ノ事  
情ニ應ズル適當ナル配付ヲ致シマスノデ、  
其ノ地方ガ更ニ或ル施設ヲシヨウト云フヤ  
ウナ場合ニ於キマシテハ、其ノ點ニ於テノ  
スノデ、斯ク考ヘテ來マスト町村ソレ自身  
ガ自ラソコニ生氣ヲ生ジテ來マシテ、此ノ  
方法ニ依リマシテ町村ト云フモノハ愈、以  
テ發達シテ行クト云フ動機ガ、ソコニ存在  
シテ居ルモノト考ヘテ居リマス

○兒玉國務大臣 御承知ノ通リニ配付稅ナ  
ルモノハ所謂獨立財源ノ約三割デゴザイマ  
スガ、サウ云フ町村ニ於キマシテハ收益稅  
茲ニ此ノ獨立稅、ソレカラ今ノ附加稅等ニ  
於キマシテ非常ノ伸張ヲ致スモノト思ヒマ  
スノデ、斯ク考ヘテ來マスト町村ソレ自身  
ガ自ラソコニ生氣ヲ生ジテ來マシテ、此ノ  
方法ニ依リマシテ町村ト云フモノハ愈、以  
テ發達シテ行クト云フ動機ガ、ソコニ存在  
シテ居ルモノト考ヘテ居リマス

シテ置イテ、次ノ問題ニ移リタイト思ヒマス、是ニ分與稅ノ中ノ配付稅ノ財源ガ、所得稅ス、及ビ法人稅ノ百分ノ十六・五五、ソレカラ入場稅及ビ遊興飲食稅ニ對シマシテ百分ノ五十、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ一體ドウ云フ所カラ出タノデゴザイマセウカ、一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ局長ニ御伺致シマス。

○挾間政府委員 此ノ所得稅、法人稅ノ率ヲ百分ノ十六・五五トシ、又遊興飲食稅、ソレカラ入場稅ヲ其ノ五割ト致シマシタノハ、是ハ計算ノ結果サウ云フコトニナツタノデゴザイマシテ、先づ入場稅及ビ遊興飲食稅ハ元地方稅ニアツタ關係モゴザイマスノデ、其ノ五割ヲ此ノ配付稅ノ財源ニスルコトニ致シ、サウンテ此ノ所得稅、法人稅ニ付テノ率ヲ此ノ所要財源カラ割出シマスト、平年度ニ於キマシテハ百分ノ十六・五五ト云フコトニナリマス。

○石井委員 是ハ大體從來ノ地方稅トノ關係ヲ睨ミマシテ御決メニナツタ、サウ云フコトニナルノデゴザイマスナ

○挾間政府委員 大體左様デゴザイマス

○石井委員 次ニ御伺申上ゲマス、配付稅ノ決定ハ前々年度ノ徵收シタル實蹟ニ依ツテ之ヲ決メル、斯ウ云フコトニナツテ居リヤウデアリマス、所謂二箇年前ノ實蹟ニ依ツテ決メルト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ二箇年前ノ實蹟ト云フモノガ二箇年後ノ本年ニ果シテ適當スルカドウカト云フコトニ對シマシテ、私共多大ノ疑問ヲ持ツテ居リマス、之ニ對シマスル御見解ハ如何デゴザイマスカ、伺ツテ置キタイト思ヒマス、尙ホ更ニ此ノ配付稅ノ稅源ト云フモノハドレモ比較的ニ世ノ中ノ經濟界

ノ影響ニ非常ニ左右サレル所ノ財源ノヤウデアリマス、殊ニ入場稅デアルトカ、遊興飲食稅デアルトカ云フヤウナモノハ、サウ云フコトニナリマス、殊ニ入場稅デアルトカ、遊興飲食稅デアルトカ云フヤウナモノハ、サウ云フコトニナリマス、是ハ局長ニ御伺致シマス。

○挾間政府委員 此ノ所得稅、法人稅ノ率云フ傾向ヲ非常ニ多分ニ持ツテ居ルト考ヘマス、サウ云フモノガ此ノ財源トナツテ居ルト云フコトニナリマスト、其ノ配付稅ノ根本ノ財源ニ於テ缺陷ヲ生ズル、斯ウ云フヤウナコトハナイカ、サウ云フ場合ニハ又別ナ考慮デモサレル御見込デゴザイマスカ、此ノ點ニ付キマシテ御答辯ヲ願ヒタイ付キマシテ、順繰リニ二年遅レニ交付スル額ヲ決定セザルヲ得ナイ事情ゴザイマス、サウ云フコトカラ致シマシテ、此ノ配付稅ハ前々年度ノモノヲ交付スルト云フコトニ付稅ノ交付ガ二年遅レニナルト云フコトニ付キマシテハ、當局ト致シマシテモ出來バ當該年度ノ收入ヲ當該年度ニ於テ分與スルト云フコトニ致シタインデアリマス、是ハ理想デアルト思フノデアリマスガ、實際問題ト致スマシテハ困難デアリマス、其ノ事情ヲ申上ゲマスト、各地方團體ガ翌年度ノ豫算ヲ編成致シマスノハ、府縣ハ御承知ノ通り先づ前年度ノ十月頃マデニハ決定ヲ致サナケレバナラヌ、ソレカラ市町村ハ前年度ノ十二月頃マデニハ決定ヲ致サナケレバナラヌ、其ノ際ニ國ガ團體ニ對シテ幾何ノ配付稅ガ行クカト云フコトヲ決定シテ通知シテヤラナケレバナラヌカラ、當該年度ヲ押ヘルト云フコトニナリマストト云フト、全不確定ナ財源ヲ通知スルト云フコトニナリマス、其ノ結果トシマシテ後ニ至ツテ追加シテ配分スルコトモ起リマスシ、又還付ヲ命ズルト云フヤウナコトニナリマスノシ、是デハ地方ノ財政經理ガ非常ニ不安定シ、常ナ困難ヲ來シハセヌカ、斯ウ云フコトガ豫想サレマス、今度ハアベコベニ世ノ中ガ非常ニ不景氣ニナツタ時分ニ、二年前ハ景氣ガ好クテ、配付稅ガ澤山アツタノダト云フコトニナリマスト、其ノ時ハ宜イノデゴザイマスケレドモ、先程申シマシタヤウニ

ノ影響ニ非常ニ左右サレル所ノ財源ノヤウ

トモ七八月頃マデニハ決定ヲ見ナケレバナ

リマヌセ、所ガソレハ其ノ年度ガマダ二三

ヶ月シカ進行シテ居リマセヌノデ、確定シ

タ數字ヲ見出スコトガ出來ナイ譯デアリマス、斯ウ云フヤウナ事情ガゴザイマスノデ、

リマヌセ、所ガソレハ其ノ年度ガマダ二三

ヶ月シカ進行シテ居リマセヌノデ、確定シ

村ト分ケマシタノハ、市町村ト一口ニ申シ、  
マシテモ非常ナ相違ガゴザイマシテ、東京  
市ノヤウナ所モアリマスシ、又戸數ノ極メ  
テ少イ村モゴザイマスルカラ、制度ノ上ニ  
實質カラ申シマスト全ク比較ニラナイ譯  
デアリマス、隨テ其ノ各團體ノ財政事情ト  
云フコトカラ考ヘマシテモ、是ハ別個ノモ  
ノトシテ制度上考慮スルガ適當デアル、斯  
ウ云フ風ニ考ヘマシタノデ、先づ六大城市  
其ノ他ノ都市ト町村ト云フ風ニ分ケテ、大  
體ニ於テ財政需要ノ情況、財政經理ノ狀態  
ト云フヤウナコトノ似通ツタ團體ヲ、一  
ツノ體系ニ屬セシメルト云フコトニ致シ  
タノデアリマス、ソレカラ分與稅ノ配分  
ニ付キマシテハ、御存ジノ通り基準ヲ二  
ツ設ケテ居リマス、一ツノ財政需要ノ  
問題ニ付キマシテハ、是ハ全ク割増人口  
ト云フノデ財政事情ヲ測定致シテ居リマ  
スカラ、其ノ必要ニ即應シタル財源ヲ各  
團體ニ付與スルコトニナツテ居リマス、ソ  
レカラ課稅力ノ問題ニ付キマシテハ、課  
稅力ノ强大デアル團體ニ對シマシテハ、  
分與サルベキ額ガ少額ニナルコトニナリマ  
スガ、之ニ對シテ制限ヲ加ヘマスノハ、課  
稅力ガ非常ニ強い場合デゴザイマシテ、地  
方分與稅法ノ第十七條、ソレカラ大都市ニ  
付テハ第二十五條、都市ニ付テハ第三十二  
條、町村ニ付テハ第三十九條、此ノ規定ニ  
掲ゲテ居リマスヤウニ、標準單位稅額ニ比  
べマシテ、其ノ各團體ノ單位稅額ガ著シク  
高イ場合ニ於テノミ、制限ヲ加ヘルコトニ  
致シテ居ルノデアリマス、頭ヲ無暗ニ撥ネ  
ルト云フコトニハナラスト考ヘテ居リマス  
○堀切委員長 ソレデハ石井君、此ノ程度

ニ願ツテ、委員長及ビ理事ノ諸君ハ十二時  
カラ一寸用ガアリマスカラ、午後カラ引續  
テイヤツテ戴キタイト思ヒマス、アトマダ  
於キマシテハ市町村ト申シマスガ、團體ノ  
實質カラ申シマスト全ク比較ニラナイ譯  
デアリマス、隨テ其ノ各團體ノ財政事情ト  
云フコトカラ考ヘマシテモ、是ハ別個ノモ  
ノトシテ制度上考慮スルガ適當デアル、斯  
ウ云フ風ニ考ヘマシタノデ、先づ六大城市  
其ノ他ノ都市ト町村ト云フ風ニ分ケテ、大  
體ニ於テ財政需要ノ情況、財政經理ノ狀態  
ト云フヤウナコトノ似通ツタ團體ヲ、一  
ツノ體系ニ屬セシメルト云フコトニ致シ  
タノデアリマス、ソレカラ分與稅ノ配分  
ニ付キマシテハ、御存ジノ通り基準ヲ二  
ツ設ケテ居リマス、一ツノ財政需要ノ  
問題ニ付キマシテハ、是ハ全ク割増人口  
ト云フノデ財政事情ヲ測定致シテ居リマ  
スカラ、其ノ必要ニ即應シタル財源ヲ各  
團體ニ付與スルコトニナツテ居リマス、ソ  
レカラ課稅力ノ問題ニ付キマシテハ、課  
稅力ノ强大デアル團體ニ對シマシテハ、  
分與サルベキ額ガ少額ニナルコトニナリマ  
スガ、之ニ對シテ制限ヲ加ヘマスノハ、課  
稅力ガ非常ニ強い場合デゴザイマシテ、地  
方分與稅法ノ第十七條、ソレカラ大都市ニ  
付テハ第二十五條、都市ニ付テハ第三十二  
條、町村ニ付テハ第三十九條、此ノ規定ニ  
掲ゲテ居リマスヤウニ、標準單位稅額ニ比  
べマシテ、其ノ各團體ノ單位稅額ガ著シク  
高イ場合ニ於テノミ、制限ヲ加ヘルコトニ  
致シテ居ルノデアリマス、頭ヲ無暗ニ撥ネ  
ルト云フコトニハナラスト考ヘテ居リマス  
○堀切委員長 ソレデハ石井君、此ノ程度

ニ頂戴シタイト思ヒマスガ、サウ云フコト  
ハ出來マスカ  
○挾間政府委員 先程申シマシタヤウニ正  
確ナ計算ハ、各資料ヲ集メタ上ニ試算致サ  
居リマスケレドモ、午後ニモウ一ツニツ大  
キナ問題ヲ御尋シタイト思ヒマス  
○堀切委員長 ソレデハ午後一時十五分カ  
ラ開會致シマス、是デ休憩致シマス  
午後零時十分休憩

午後一時三十八分開議

○堀切委員長 ソレデハ開會致シマス、石  
井君午前ニ引續キ質問ヲ願ヒマス  
○石井委員、分與稅法第二十條ニ依リマス  
各「ブロック」毎ノ額ト申シマスカ、サウシ  
タ數字ハ御發表出來ヌモノデアリマスカ、  
如何デセウカ  
○挾間政府委員 第二十條ノ額ノ御尋ニゴ  
ザイマスカ

○石井委員 サウデゴザイマスカ、ソレハ御  
發表出來ルノデゴザイマスカ、大體ノ數字  
ノ見當ハ付イテ居ルノデゴザイマスカ  
○挾間政府委員 無論數字ノ違ヒハ詳細ナ  
計算ヲ致スト相當出テ來ルト思ヒマスガ、  
極ク概算ハ此處デ申上ゲラレルグラウト思  
ヒマス

○石井委員 ソレハ後刻デ宜ウゴザイマス  
カラ、一ツ印刷シテ配付シテ願ヒタイト思  
ヒマス、ソレ同時間ニ出來得ルナラバ舊稅  
法ニ依ル收入ト、今度ノ稅法ニ依リマスル  
付テハ第二十五條、都市ニ付テハ第三十二  
條、町村ニ付テハ第三十九條、此ノ規定ニ  
掲ゲテ居リマスヤウニ、標準單位稅額ニ比  
べマシテ、其ノ各團體ノ單位稅額ガ著シク  
高イ場合ニ於テノミ、制限ヲ加ヘルコトニ  
致シテ居ルノデアリマス、頭ヲ無暗ニ撥ネ  
ルト云フコトニハナラスト考ヘテ居リマス  
○堀切委員長 ソレデハ石井君、此ノ程度

ニ頂戴シタマスガ、サウ云フコト  
ハ出來マスカ  
○挾間政府委員 先程申シマシタヤウニ正  
確ナ計算ハ、各資料ヲ集メタ上ニ試算致サ  
居リマスケレドモ、午後ニモウ一ツニツ大  
キナ問題ヲ御尋シタイト思ヒマス  
○堀切委員長 ソレデハ午後一時十五分カ  
ラ開會致シマス、是デ休憩致シマス  
午後零時十分休憩

午後一時三十八分開議

○堀切委員長 ソレデハ開會致シマス、石  
井君午前ニ引續キ質問ヲ願ヒマス  
○石井委員、分與稅法第二十條ニ依リマス  
各「ブロック」毎ノ額ト申シマスカ、サウシ  
タ數字ハ御發表出來ヌモノデアリマスカ、  
如何デセウカ  
○挾間政府委員 承知致シマシタ  
○石井委員 次ニ御尋申上ゲタイト考ヘマ  
スルコトハ、是ハ私本會議ニ於テモ御質問  
ヲ申上ゲタノデゴザイマスルガ、先程來申  
上グマスルヤウニ私ノ觀點カラ致シマスル  
ト、町村——特ニ町村ト考ヘマスルガ、市  
町村ニ於キマシテハ、財政が窮屈デアル、  
斯ウ云フコトカラ寄附行爲ガ非常ニ勃興シ  
テ參ルダラウ、斯ウ云フコトガ豫想セラル  
ルノデアリマス、例へバ財源ガ足りス、仕  
方ガナイカラ、學校ノ建築デモヤル、寄附  
ニ俟タウ、或ハスウシタ道路ヲ持ヘタイ、  
ドウモ財源ニ困ルカラ是モ寄附ニシヨウデ  
ヤナイカラ、斯ウ云フヤウニ總テノモノガ寄  
附ニ轉嫁サレテ行クノデハナイカラ、稅ノ上  
ニ於キマシテハ輕減サレマシテモ、サウシ  
タ形ニ於ケル負擔ト云フモノガ増シテ來ル  
ノデハナイカラ、斯ウ云フコトガ豫想セラル  
ルノデアリマス、又町村ノ團體ニ於テハ非  
常ニ困ルケレドモ、斯ウ云フモノガハツオ  
前ノ方デ負擔シテ吳レト云フヤウナコトデ  
ヤウナモノヲ「ブロック」毎デモ宜イシ、或  
ハ府縣、或ハ町村ヲ「ブロックアップ」サレテ  
計算サレテモ宜ウゴザイマスガ、參考ノ爲

取締法規ト云フコトニナルト思フノデゴザ  
イマスガ、是ハ更ニ立法手段ニ依ルコトガ  
適當デアルカドウカト云フコトハ、別個ノ  
觀點カラ考慮シナケレバナラヌノデ、税制  
ソレ自身トシテハ先程申シマシタヤウニ、  
色々々ナ點ニ付キマシテ成ベク法規ニ依ラザ  
ウニ、手段ヲ盡シテ制度ヲ立ツテ行キタイ  
ト考ヘマス

○石井委員 諒承致シマシタ、只今目的稅  
ノ話ガアリマシタガ、目的稅モ大體ニ於テ  
法文ノ上ニ決ツテ參ルヤウデアリマスガ、  
其ノ他共同ノ何トカ云フヤウナ文句ガアツ  
タヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、是ハ  
一體どう云フコトヲ御豫想サレテ居ルノデ  
アリマスカ

○挾間政府委員 御尋ノ點ハ此ノ地方稅法  
ノ第七十九條ノ規定カト存ジマス、茲ニ例  
示致シマシタノハ共同作業場、共同倉庫、  
共同集荷場ト云フ風ニ掲ゲテ居リマスガ、  
大體コ、デ豫想シテ居リマスモノハ、斯ウ  
云フ地方ニ於ケル共同施設デゴザイマスガ、  
此ノ施設ガ限定セラレマスルト、目的稅ヲ  
賦課スルノニ困難ヲ生ズルモノト思ヒマシ  
テ、是ハ例示ヲ致シマシタノデ、大體之ニ  
類スルモノヲ想像シテ、目的稅ノ體制ニス  
ルト云フ考デアリマス

○板谷委員 關聯シテ伺ヒタイデスガ

今石井君カラ密附金ノ問題ガ出マシタガ、

今回ノ税制改正ノ結果、分與稅ノ制度ニナ  
ルトスレバ、地方ニ於ケル有ニル寄附金ガ

殖エルト思ヒマス、現在ニ於キマシテモ或  
ハ國費デアルトカ、或ハ國費多端ノ場合  
デアリマスカラ役所ニ於ケル獻金トカ、寄  
附デアルトカ澤山弊害ガ起ツテ居リマス、

將來ハ尙ホ一層起ルト思フノデアリマスガ、  
法人ハ寄附金ハ損益ニ見テ居ルガ個人ハマ  
ダ認メテナイ、今回ノ制度改正ノ結果、今  
申上げマスヤウニ色々々ナ寄附金ガ殖エルト  
思フノデアリマスガ、個人ヲ御認メニナリ  
マスルカ、御認メニナリマセヌト地方ノ自  
治體ニ、重大ノ影響ガ來ルノデハナイカト  
思ヒマス

○大矢政府委員 先程地方局長カラ御答ガ  
アリマシタ通り、今度ノ税制改正ニ依ツテ、  
地方團體ガ仕事ヲヤツテ行ク上ニ於テ、寧  
ロ從來ヨリモ寄附金ニ俟ツ所ガ少クナルノ  
デハナカラウカ、斯ウ云フコトデアリマス  
ガ、私共モ全ク同様ニ考ヘテ居リマス、隨  
テ今度ノ税制改正ガ寄附金ヲ多カラシメル  
原因ニナルガラ、之ニ對スル稅制上ノ何等  
カノ措置ヲ、此ノ際執ラナケレバナラヌト  
云フ風ニハ、考ヘテ居リマセヌ

○板谷委員 サウスルト個人ノ寄附金ハ損

益ノ中カラ差引クコトヲ御認メニナルト云

フノデスカ、考ヘテ居ルト云フノハ、段々

寄附金ガ多クナルガ、若シ之ヲ個人ノ所得

ノ中ノ損金ニ認メスコトニナレバ、寄附金

ハ餘り出サナクナル、ダカラソレヲ御認メ

ニナルカ、之ヲ私ハ聽イテ居ルノデアリマ  
ス

○大矢政府委員 此ノ度ノ税制改正ニ依ツ

テ地方團體ノ財政經理ヲシテ行ク上ニ於テ

寧ロ寄附金ニ俟ツ所ガ少クナルデアラウ、

隨ヒマシテ此ノ税制改正ヲ理由トシテ、寄

附金ヲ個人ノ所得カラ差引カナケレバナラ

ヌ事由ガ、新シク發生スルト云フ風ニハ考

ヘテ居リマセヌ

○板谷委員 併シ今ノ分與制度デ行キマス

ト、私ハ必ス寄附金ハ殖エルト見テ居ル、

○堺切委員長 石井君、文部省ノ普通學務

局長ガ見エラマシタガ、御質問ガアレバ

此ノ際ニ願ツタラ如何デアリマセウ

殖エルト見テ居ルカラ、アツタ場合ニ於テ  
ハ個人ノ所得ノ損金ノ計算ニ見マスカドウ  
カト云フノデス、ソレヲアナタハ見ナイト  
言フノデスカ

○大矢政府委員 經費ニハ見マセス

○石井委員 次ノ問題ニ移リマス、町村役

場ノ吏員ノ優遇ノ問題デアリマス、此ノ點

ニ付キマシテハ相當御考慮ニナツテ居ラレ

ルヤウデアリマスケレドモ、是ハ此處デ申

スマデモナク、町村吏員ハ極メテ薄給ナル

待遇ニ於テ、非常ナ勞苦ニ服シテ居ルノデ

アリマス、隨テ現在ノ町村役場ノ吏員ハ、

非常ニ其ノ重壓ニ苦シンデ参リマシタ爲ニ、

段々町村カラ離レテ行クト云フヤウナ現狀

ニアルノデアリマス、是ニ對シマシテハ

ニアルガラ、之ニ對スル稅制上ノ意

味ニ於テ昨年ハ或ル程度ノ村ニハ國費ノ補

助モアツタヤウニ考ヘテ居リマスガ、本年

ハドノ程度ニソレヲ擴充サセルカト云フコ

所謂町村事務ヲ緩和サセルト云フヤウナ意

味ニ於テ昨年ハ或ル程度ノ村ニハ國費ノ補

助モアツタヤウニ考ヘテ居リマスガ、本年

ハドノ程度ニソレヲ擴充サセルカト云フコ

リマセヌノデ、本年ニ於キマシテ、町村ノ

方ニ約五百七十万圓ノ金ヲ廻シマシテ、之

ニ依ツテ一町村一人位ノ人員ノ増加ヲ致ス

リマセヌノデ、又互助會ノ方

ニ對シマシテモ、退職賜金トシテ百万圓程ノ

金ヲ補助致シマシテ、退職ノ際ニ於キマス

手當ニ充テルヤウナコトニ致シテ居ルノデ

アリマス、其ノ他此ノ配付稅ノ關係カラ致シ

マシテ、極ク貧弱ナル町村ニ於キマシテ、相

當ニ之ニ餘裕ヲ生ジテ來ルヤウナ時ニハ、

自然其ノ方ノ優遇ニ向ケラレルヤウナコト

ニナリハシナカニ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居

リマス、何レニ致シマシテモ、只今御話ノ

通リニ、此ノ點ニ付テハ十分ナル同情ト考

慮トヲ加ヘナケレバナラヌコトト考ヘテ居

リマス

○石井委員 御急ギニアリマセウカ  
○堀切委員長 サウ急ガヌサウデアリマス  
○石井委員 ソレデハ後程伺フコトニ致シ  
マス、次ニ御尋申上ダタイト考ヘマスコトニ  
ハ、負擔ノ均衡ニ關スル問題デアリマス、  
是モ主トシテ地方稅ヲ根據ニ置イテ御尋致  
シタイト考ヘマス、今回地方ノ還付稅ト致シ  
シマシテ、地租、家屋稅、並ニ營業稅、之  
ヲ還付稅ノ財源ニ充テラマシテ、還付セ  
ラレルコトニナツテ居リマスガ、地租ト營  
業稅、此ノ間ノ均衡ト云フモノハ、果シテ  
取ラレテ居ルカドウカ、此ノ事デアリマス、  
私ノ聞キマシタ所ニ依リマスト、又法文等  
ニ依ツテ調査シテ見マスト、營業稅ノ免稅  
點ト云フモノハ四百圓ニナツテ居ルヤウデ  
アリマス、一方土地ニ關シマス所ノ免稅點  
ハ二百圓デアリマス、而シテ土地ニ關スル  
地方ノ附加稅ハ此ノ二百圓以下ノ、國ノ稅  
金ガ免ゼラレテ居リマスモノニモ、ヤハリ  
附加稅ヲ課ケラレルコトニナツテ居リマス、  
營業稅ノ方ニ對シマシテハ、四百圓以下ノ  
免稅セラレテ居ルモノハ免稅ノ儘ニナツテ  
居リマシテ、此處ニ於テモ非常ナ不均衡ガ  
生ズルト考ヘマス、又課率ニ於テ見マスト、  
營業稅ハ百分ノ六トナツテ居ルノデアリマ  
ス、是ハ附加稅マデ入レマシテ百分ノ六デ  
アリマス、土地ハ百分ノ八ト云フコトニ相  
成ツテ居ルノデアリマス、既ニ其處ニ於テ  
非常ナ違ヒガ出來テ居ル、斯ウ云フヤウナ  
コトニナルノデアリマスガ故ニ、之ヲ計算  
致シテ見マスト、相當ノ開キガアルト考ヘ  
ルノデアリマス、所得稅ノ上ニ於キマシテモ  
既ニ相當ノ開キノアルコトハ、御配布ニナ  
ツテ居リマス参考書ヲ見マシテモ直ぐ分ル  
ノデアリマス、而モ地方稅ニ於テサウ云フ

ヤウナ開キガ出來テ參ルノデアリマス、モ  
ウーツハ此ノ營業稅ト云フモノハ、本當ノ  
収益稅ニナツテ來ルノデアリマシテ、詰リ  
利益ノアル所ニ對シテ課ツテ來ル、斯ウ云  
ブコトニナルノデアリマスガ、土地ノ方ハ  
十年ニ一度シカ改訂サレヌ所ノ一定ノ土地  
賃貸價格ト云フモノヲ目標ニシテ定ツテ參  
ルノデアリマス、隨テソレノ對照デアリマ  
ス所ノ米價ガ、若シ上リ或ハ下ルト云フコ  
トニ依ツテ、非常ニ開キガ出來テ參ルノデ  
アリマス、サウ云フヤウニ考ヘテ參リマス  
ト、此ノ土地ニ對スルモノト、營業ニ對ス  
ルモノトノ負擔ノ均衡ト云フモノハ、圖リ  
得ラレテ居ルカ、甚ダシイ疑フ持ツノデア  
リマス、是ハ大藏省ノ方ニモ關係ガアルノ  
デアリマス、ドチラカラデモ宜シウゴザイ  
マスガ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○挾間政府委員 土地負擔ト營業ノ負擔ト  
ノ均衡ノ問題ノ御尋デゴザイマスガ、地方  
稅關係ダケニ付テ申上ダタイト思ヒマス、是  
ハ無論不動產所得、事業所得等ノ關係モ合  
セテ、大體今回ノ稅制ニ於テハ均衡ヲ取レ  
ルヤウニ致シテ居ル譯デアリマスガ、具體  
的ノ數字トシテ地方稅關係ニ付テ申上ダマ  
スト、現行法ニ依リマシテ現在賦課シテ居  
リマス率ヲ、國稅、地方稅ヲ通ジテ土地負  
擔ヲ見マスト、御承知ノヤウニ地租賃貸價  
格三・八デアリマス、地方稅ノ現在ノ賦課ノ狀  
況ヲ賃貸價格ノ率ニ換算致シマスト、九・三  
一一ト云フ負擔ニナツテ居ルノデアリマス、今  
回ノ改正ニ依リマスト、地租ノ賦課率ハ、賃貸  
價格ハ百分ノ八トナツテ居リマス、結局賃  
貸價格ニ致シマスレバ、五・一ノ輕減ニナ  
ルコトニナリマス、營業ノ方ハ現在國稅地

方稅ヲ通ジテ見マスト、五・五五ト云フコト  
ニナツテ居リマスノデ、多少ノ負擔増ニナ  
リマスガ、是ハ國稅、地方稅ヲ通ジテ考ヘ  
ナケレバナリマセヌ問題デスガ、地方稅ノ  
ミニ付テ見マスルト、斯様ニ致シマシテ、  
土地負擔ト營業負擔トノ間ハ非常ニ接近ヲ  
致シマシテ、課率ノ均衡ヲ得ルコトニ致シ  
マシテ、一方ハ百分ノ八、一方ハ百分ノ六  
ト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカ  
トニ依ツテ、非常ニ開キガ出來テ參ルノデ  
アリマス、サウ云フヤウニ考ヘテ參リマス  
ト、此ノ土地ニ對スルモノト、營業ニ對ス  
ルモノトノ負擔ノ均衡ト云フモノハ、圖リ  
得ラレテ居ルカ、甚ダシイ疑フ持ツノデア  
リマス、是ハ大藏省ノ方ニモ關係ガアルノ  
デアリマス、ドチラカラデモ宜シウゴザイ  
マスガ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○挾間政府委員 土地負擔ト營業ノ負擔ト  
ノ均衡ノ問題ノ御尋デゴザイマスガ、地方  
稅關係ダケニ付テ申上ダタイト思ヒマス、是  
ハ無論不動產所得、事業所得等ノ關係モ合  
セテ、大體今回ノ稅制ニ於テハ均衡ヲ取レ  
ルヤウニ致シテ居ル譯デアリマスガ、具體  
的ノ數字トシテ地方稅關係ニ付テ申上ダマ  
スト、現行法ニ依リマシテ現在賦課シテ居  
リマス率ヲ、國稅、地方稅ヲ通ジテ土地負  
擔ヲ見マスト、御承知ノヤウニ地租賃貸價  
格三・八デアリマス、地方稅ノ現在ノ賦課ノ狀  
況ヲ賃貸價格ノ率ニ換算致シマスト、九・三  
一一ト云フ負擔ニナツテ居ルノデアリマス、今  
回ノ改正ニ依リマスト、地租ノ賦課率ハ、賃貸  
價格ハ百分ノ八トナツテ居リマス、結局賃  
貸價格ニ致シマスレバ、五・一ノ輕減ニナ  
ルコトニナリマス、營業ノ方ハ現在國稅地

方稅ヲ通ジテ見マスト、五・五五ト云フコト  
ニナツテ居リマスノデ、多少ノ負擔増ニナ  
リマスガ、是ハ國稅、地方稅ヲ通ジテ考ヘ  
ナケレバナリマセヌ問題デスガ、地方稅ノ  
ミニ付テ見マスルト、斯様ニ致シマシテ、  
土地負擔ト營業負擔トノ間ハ非常ニ接近ヲ  
致シマシテ、課率ノ均衡ヲ得ルコトニ致シ  
マシテ、一方ハ百分ノ八、一方ハ百分ノ六  
ト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカ  
トニ依ツテ、非常ニ開キガ出來テ參ルノデ  
アリマス、サウ云フヤウニ考ヘテ參リマス  
ト、此ノ土地ニ對スルモノト、營業ニ對ス  
ルモノトノ負擔ノ均衡ト云フモノハ、圖リ  
得ラレテ居ルカ、甚ダシイ疑フ持ツノデア  
リマス、是ハ大藏省ノ方ニモ關係ガアルノ  
デアリマス、ドチラカラデモ宜シウゴザイ  
マスガ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○挾間政府委員 土地負擔ト營業ノ負擔ト  
ノ均衡ノ問題ノ御尋デゴザイマスガ、地方  
稅關係ダケニ付テ申上ダタイト思ヒマス、是  
ハ無論不動產所得、事業所得等ノ關係モ合  
セテ、大體今回ノ稅制ニ於テハ均衡ヲ取レ  
ルヤウニ致シテ居ル譯デアリマスガ、具體  
的ノ數字トシテ地方稅關係ニ付テ申上ダマ  
スト、現行法ニ依リマシテ現在賦課シテ居  
リマス率ヲ、國稅、地方稅ヲ通ジテ土地負  
擔ヲ見マスト、御承知ノヤウニ地租賃貸價  
格三・八デアリマス、地方稅ノ現在ノ賦課ノ狀  
況ヲ賃貸價格ノ率ニ換算致シマスト、九・三  
一一ト云フ負擔ニナツテ居ルノデアリマス、今  
回ノ改正ニ依リマスト、地租ノ賦課率ハ、賃貸  
價格ハ百分ノ八トナツテ居リマス、結局賃  
貸價格ニ致シマスレバ、五・一ノ輕減ニナ  
ルコトニナリマス、營業ノ方ハ現在國稅地

デナカラウカ、施行ノ短期間ヲ見マスト云  
フト、地租ノ課税標準ノ取リ方ハ十年間据  
置カザルヲ得ナイヤウナ状態ニアル結果ト  
致シマシテ、多少不均衡ノ點ガ出テ來ルノ  
デアリマスケレドモ、長イ目デ見レバ兩者

ノ間ニ均衡ヲ得テ居ルト思ヒマス

○石井委員、所得税ノ問題ニ付キマシテハ  
マダ色々質問モアリマスガ、私ハ大體地方  
税ノ關係ニ付テ質問ヲ申上げテ居ルノデア  
リマス、營業税ノ免稅點ハ四百圓デアル、  
土地ノ方ノ免稅點ハ二百圓デアル、而モ  
土地ノ方ニ對シテハ地方税ヲ課ケテ、一方  
ノ營業ノ方ノ所得ニ對シマシテハ、四百圓  
以内ノモノハ免稅デアル、斯ウ云フコトニ  
ナツテ居ルノデアリマス、此ノ間ニ所謂  
小所得者ト申上ガマスルカ、サウ云フモノ  
ニ對スル所ノ非常ナル待遇ノ差方出來テ來  
ルノデアリマス、只今地方局長ハ、又主税  
局長モサウデアリマシタガ、營業ノ方ハ振  
不振ガアルノダ、斯ウ云フヤウナ御話ガア  
リマシタ、成程振不振ガアレバコソ、毎年  
是ハソノ審査ガアル譯デアリマス、隨テ  
四百圓ノ所得ノアル者ガ、來年若シ三百圓  
收益ニナル譯デアリマス、サウ云フ風ニ伸  
縮ガ自在デアリマス、土地ノ方ハ所謂課税  
標準ト云フモノガ常ニ變ツテ行ツテ、所謂  
現金ヲ以テソレハ商賣ヲスル、現金ヲ以テ  
居ルノデアリマス、併シ同ジ收益税ト申上  
ゲマシテモ、一方ノ收益ト云フモノハ、課税  
標準ト云フモノガ常ニ變ツテ行ツテ、所謂  
現金ヲ以テソレハ商賣ヲスル、本當ノ意味ニ於  
所得ヲスル所ノ營業デアリマスガ、一方ノ  
方ハ課税標準ト云フモノガ、先づ十年間ハ  
決ツテ居ルノデアリマス、而モ收益税ト云

フモノハ常ニ浮動ノ状態ニアリマス、米、米  
斯ウ云フ物ニ依ツテ成ツテ居リマスルガ  
爲ニ、同ジ收益税ニ致シマシテモ相當ノソコ  
ニ差異ガアルト私ハ考ヘルノデアリマス、  
サウシタ議論ハ別ト致シマシテモ、一方ノ  
免稅點ハ四百圓、一方ノ免稅點ハ二百圓、  
而モ二百圓ノ方ハ地方税モ賦課スルノダ、  
一方ノ四百圓ノ方ハ地方税モ免除スルノ  
ダ、斯ウ云フコトニナルト、ソコニ相當不  
均衡ガ出來テ來ルノデハナイカ、斯ウ云フ風  
ニ私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キ  
マシテノ局長ノ御意見ヲ、モウ一度拜聽致  
シタイト思ヒマス

○挿間政府委員 先程ノ御説明ニモウ一ツ  
附加ヘテ申上げテ置キタイト思ヒマス、土  
地ニ對スル課税ノ二百圓ハ國稅ノミヲ免除  
シ、而モ地方税ハ賦課スル、營業者ニ對シ  
テハ四百圓ハ全然課税ヲシナイト云フコト  
ハ、一應不均衡ノヤウニ見エルノデゴザイ  
マスガ、是ハ先程申シマシタ通り、營業所  
得ト云フモント、土地ヨリ生ズル所得ト云  
フモノガ、安定性ノ問題モ無論ゴザイマス  
ガ、更ニ所得ノ根源ガ純粹ナ土地ヨリ生ズ  
ル所得デアリマスガ、營業デ申シマスレバ、  
資本ト勤労トガ結合シテ生ズル所得デゴザ  
イマスノデ、其ノ間ニ相違ヲ認メナケレバ  
ナリマセヌカラ、免稅點ニ付キマシテモ、  
或る程度ノ相違ヲ付スルノガ適當デハナイ  
カト思ヒマス、ソレカラ今回地方税ニ於キ  
マシテハ、戸數割ヲ全廢スルコトニナツテ  
居リマス、御存ジノ通リ戸數割ハ課税標準  
トシテ資産ノ状況ヲ算定スルノデアリマス、  
是ハ具體的ニハ數字ヲ申上げ兼ネマスガ、  
此ノ資産ノ状況ヲ調べマス際ニハ、土地ト  
云フモノニ付テ相當考慮ガ拂ハレテ居リマ

スノデ、此ノ關係ニ於キマシテモ、是ハ多  
少筋ハ違ヒマスガ、輕減ヲサレルコトニナ  
ルト考ヘルノデアリマス、色々サウ云フ原  
因モ併セ考ヘマシテ、免稅點ニ付キマシテ、  
斯様ナ制度トシタノデアリマス

○石井委員 大分私共ト見解ガ違フノデア  
リマス、大體土地ノ二百圓ト云フヤウナモ  
ノハ、ドノ位ナ程度ノモノデアルカト云フ  
コトヲ御考ニナツテ見ルト分ルト考ヘマス  
ルガ、賃貸價格二百圓ト申シマシタナラ  
バ、五段カ六段程度ノ百姓デアリマス、ソ  
レガ擔稅力ガ非常ニアルト御考ニナルノ  
ハ、ドウ云フ所ニ根據ヲ置カレテ居ルダラ  
ウカト云フコトヲ疑フノデアリマス、其フ  
人達ハヤハリ働カネバナラヌ者デアリマス、  
勿論其ノ中ニハ、或ハ五六段ノ地主ガアル  
カモ知レマセスケレドモ、大體ニ於テ其ノ  
程度ノ人ハ、是ハ働イテ所得ヲシテ居ル人  
達デアリマス、又國ノ方策ト致シマシテモ、  
自作農ト云フヤウナモノヲ段々殖ヤシテ行  
カウ、斯ウ云フヤウナ時ニ際シマシテ、國  
稅ハ免稅シテ居ル、地方税ダケハ取ル、斯ウ  
云フヤウナコトハ如何カト實ハ考ヘテ居リ  
マス、斯ウ云フコトハ唯議論ヲ重ネテ行ツ  
タ所デ仕様ガアリマセヌガ、要スルニソコ  
ニ非常ナ不均衡ガアルモノト私ハ考ヘテ居  
リマス

○大矢政府委員 是ハ石井サンノ仰シヤル  
ノモ一ツノ見方カト存ジマスルガ、所得稅  
ニ於キマシテハ、實際入ツテ來ル小作米其  
ノモノヲ見テ、サウシテ其ノ當時ノ米價ニ  
換算シテ計算シテ居ルカラ、結果ニ於テ石  
井サンノ仰シヤル通りニナル、隨ヒマシテ  
分類所得稅ニ於ケル課稅標準ハ、仰シヤル  
通ニナルト思フノデアリマス、ソレカラ  
地租ニ於テ石井サンノ仰シヤルヤウナコト  
モ、一ツノ行キ方カト存ジマスケレドモ、  
御承知ノ通り土地ニ付テハ長イ沿革モアリ  
マシテ、我國ニ於キマシテモ是ハ臺帳稅ニ  
ナツテ居リマス、課稅標準モ十年ニ一遍改  
訂シテ、後ハ据置ク、毎年々々一定ノ率デ  
徵收スルト云フコトニナツテ居リマシテ、  
是ハ地租ノ性質カラ致シマシテ、殊ニ地方  
團體ノ財源トナル場合ニハ、寧ロ斯ウ云フ行  
キ方ノ方ガ宜シイデハナカラウカト存ジマ  
ス、外國ノ例ニ於キマシテモ國稅トシテハ、  
其ノ人ノ全負擔能力ヲ見テ課稅スル場合ニ  
於キマシテハ、現實ニ入ツテ來ルモノヲ見  
テ課稅スルト云フ風ナ行キ方ガ多イノデア  
リマスガ、地方團體ノ財源トナル場合ノ物

税トシテノ地租ニ付テハ、何レノ國ニ於キマシテ臺帳稅トシテ、臺帳ニ掲載サレテ居ル賃貸價格ヲ課稅標準トシテ徵收スル、斯ウ云フ風ニナツテ、其ノ方ガ課稅ノ實際カラ行キマシテモ、寧ロ適當デハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第アリマス。○石井委員 是ハ私ノ意見デアリマスカラ、此ノ際強ヒテ申上ガル譯モアリマセヌケレドモ、私ハ收益稅ト云フ原則ニ立ツテ考ヘルト、田ノ如キモノハ、米ヲ以テ小作料ヲ納メテ居ル今日ニ於キマシテハ、ヤハリ米ヲ以テスル方ガ本當ノ收益稅ガ課ケラレルノデハナイカ、斯様ニ考ヘマシテ、日頃考ヘテ居ルコトヲ申上ガタ次第アリマス。

○大矢政府委員 一寸モウ一言附加ヘテ置キマスガ、地租ハ物稅タル關係上、現實ニ小作米ガ入ツテ來テモ來ナクテモ課稅スル、斯ウ云フ點モアルノデアリマス、隨ヒシテ、自家用ノ宅地ニ付キマシテ、或ハ又無収益ノ土地ニ付キマシテモ、總テ地租ヲ課稅スル、斯ウ云フ建前ニナツテ居ル、ソコハ所得稅ノ方ト觀點ヲ別ニシマシテ、地方團體ノ財源トスル場合ニハ、應益課稅ノ趣旨ニ基キマシテ、其ノ地方團體内ニアル所不動產ニ對シテハ、現實ニ收益ガ其ノ年ニアラウガナカラウガ、或ル一定額ヲ賦課スル、斯ウ云フ行キ方ニナツテ居ルモノデ存ジマス。

○石井委員 私ノ申上ゲマシタノハ、斯ウシタモノノ地租ノ賃貸價格ヲ、米ヲ以テ御決メニナツテ置クト、非常ニ便利デハナイカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、ソレカラ後ハヤハリ金ニナルノデアリマス、

每年ノ賃貸價格ヲ換算サレバ、ソレデ以テ決マル譯デアリマス、ヤハリ金ニナルノデアリマス、米デ御取リナサイ、斯ウ云フ此ノ際強ヒテ申上ガル譯デモアリマセヌケレドモ、私ハ收益稅ト云フモノハ、程度ヲ超エテレドモ、私ハ收益稅ト云フ原則ニ立ツテ考ヘルト、田ノ如キモノハ、米ヲ以テ小作料ヲ納メテ居ル今日ニ於キマシテハ、ヤハリ米ヲ以テスル方ガ本當ノ收益稅ガ課ケラレルノデハナイカ、斯様ニ考ヘマシテ、日頃考ヘテ居ルコトヲ申上ガタ次第アリマス。

○大矢政府委員 一寸モウ一言附加ヘテ置キマスガ、地租ハ物稅タル關係上、現實ニ小作米ガ入ツテ來テモ來ナクテモ課稅スル、斯ウ云フ點モアルノデアリマス、隨ヒシテ、自家用ノ宅地ニ付キマシテ、或ハ又無収益ノ土地ニ付キマシテモ、總テ地租ヲ課稅スル、斯ウ云フ建前ニナツテ居ル、ソコハ所得稅ノ方ト觀點ヲ別ニシマシテ、地方團體ノ財源トスル場合ニハ、應益課稅ノ趣旨ニ基キマシテ、其ノ地方團體内ニアル所不動產ニ對シテハ、現實ニ收益ガ其ノ年ニアラウガナカラウガ、或ル一定額ヲ賦課スル、斯ウ云フ行キ方ニナツテ居ルモノデ存ジマス。

○石井委員 私ノ申上ゲマシタノハ、斯ウシタモノノ地租ノ賃貸價格ヲ、米ヲ以テ御決メニナツテ置クト、非常ニ便利デハナイカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、ソレカラ後ハヤハリ金ニナルノデアリマス、

隨テ此ノ分與稅ノ額ト云フモノハ、町村或ハ都市、或ハ大都市、斯ウ云フ工合ニ決ツタ配付稅ノ額ト云フモノハ、程度ヲ超エテ向フニ行クコトハ出來ヌ、斯ウ云フヤウナ形ニナツテ居リマスガ故ニ、其ノ「ブロック」内デ配付スベキ額ト云フモノハ、

○大矢政府委員 一寸モウ一言附加ヘテ置キマスガ、地租ハ物稅タル關係上、現實ニ小作米ガ入ツテ來テモ來ナクテモ課稅スル、斯ウ云フ點モアルノデアリマス、隨ヒシテ、自家用ノ宅地ニ付キマシテ、或ハ又無収益ノ土地ニ付キマシテモ、總テ地租ヲ課稅スル、斯ウ云フ建前ニナツテ居ル、ソコハ所得稅ノ方ト觀點ヲ別ニシマシテ、地方團體ノ財源トスル場合ニハ、應益課稅ノ趣旨ニ基キマシテ、其ノ地方團體内ニアル所不動產ニ對シテハ、現實ニ收益ガ其ノ年ニアラウガナカラウガ、或ル一定額ヲ賦課スル、斯ウ云フ行キ方ニナツテ居ルモノデ存ジマス。

○石井委員 私ノ申上ゲマシタノハ、斯ウシタモノノ地租ノ賃貸價格ヲ、米ヲ以テ御決メニナツテ置クト、非常ニ便利デハナイカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、ソレカラ後ハヤハリ金ニナルノデアリマス、

マス、所得税ニ於テハ特ニ酷イト考ヘル、此ノ點ハ如何ニ所得税ニ付テ妥當ナル税法ガ出来マシテモ、如何ニ立派ナ税法ガ出来テ均衡ヲ圖ルヤウニナリマシテモ、其ノ運用ヲ誤ルト、所得税ハ決シテ均衡ヲ得ヌノデアリマス、例ヘテ申上ダテ見マスナラバ、殆ド税務署ヲ異ニスル毎ニ、同ジ所得者ニ於テモ負擔ガ違フノデアリマス、是ハサウ云フコトハナイ筈ト御考ニナルカモ知レヌト考ヘマスケレドモ、私共ハ地方ニ居リマシテ、實際ニ於テ承知致シテ居リマス、何故カト申シマスレバ、或ハ是モサウ云フコトハナイト仰セラレルカモ知レマセヌケレドモ、大體ニ於キマシテ是ハ私ハ當然サウナルト考ヘマスガ、各税務署ニ割當ト云フト語弊ガアルカモ知レマセヌケレドモ、所得稅ノ分擔ト云フヤウナモノノ、凡ソ標準ガアルヤウデアリマス、是ハ割當デハアリスマイケレドモ、兎ニ角オ前ノ所ノ税務署ハ、本年ドノ位ノ所得ガアルカト云フヤウナコトヲ調査サレルコトハ、間違ヒナイノデアリマス、サウスルト其ノ調査ヨリ下ルコトハドウシテモ出來ヌ、隨テソレガ割當ニナルノデアリマス、隨テ其ノ税務署内ニ於キマシテハ、甲ノ税務署ト乙ノ税務署ト云フ場合ニ於キマシテ、若シ其ノ間ニ大納稅者ノ異動ガアツク、斯ウナツテ見ルト、大キナ納稅者ガ假ニナクナツテモ、甲ノ税務署ノ管内ニ於キマシテハヤハリ自分ガ申告シテ居ツク、或ハ自分ニ課セラレテ居ル所ノ所得税ト云フモノハ、是非徵收シナケルガ故ニ、小サイ税務署管内ノ「ブロック」每ニ於テモ達ツテ來ルノデアリマス、同ジ千圓所得ノアル人ガ、甲ノ税務署ノ査定ヲ

受ケタ場合ニハ非常ニ安クテ、乙ノ税務署ニ移ツタ場合ニ於テハ、非常ニ高キ負擔ヲセネバナラヌ、斯ウ云フ實例ハ幾ラデモアルノデアリマス、田舎ニナル程大體所得稅ニナレバナル程ソレガ樂ニナツテ來ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトヲ實例ヲ言ヘト仰シヤレバ、私ハ幾ラデモ實例ヲ申上ゲテ宜イト思フノデアリマス、又現ニ私共ノ知ツテ居ル範囲ニ於キマシテ、乙ノ税務署ト申ノ稅務署ト、大所得者ノ取合ヒヲシタ事實ヲ知ツテ居リマス、私等ハ其ノ當時ニ、何ノ爲ニ斯ウ云フコトヲスルノグラウ、斯ウ申上ダ所ガ、此ノ大所得者ヲ自分ノ所ニ入レルト入レヌニ依ツテ非常ニ違フ、若シ亞ノ大所得者ヲ他ノ所ニヤレバ、俺ノ方ノ税務署ハ、ソレダケヲ小サイ所ニ持ツテ行ツテ税ヲ課ケナケレバイケナクナルカラ困ルト云フヤウナ實例モアルノデアリマス、サウ云フ場合ニ此ノ所得税ニ於キマシテモ、サウ云フヤウニ「ブロック」毎ニ分レテ居ル爲ニ、サウシタ實例ガアルノデゴザイマス、隨テ私ハ「ブロック」毎ニ是が分レルコトニ依ツテ、サウシタコトガ著シクナルノデハナカラウカ、斯ウ云フ危惧ヲ持ツテ居ルノデアリマス、私ハ今サウ云フ實例ヲ申上ダゲマシタガ、是ハ問題外ニナリマシタケレドモ、サウ云フヤウナ所得稅ヲ賦課サレル場合ノ運用ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、相當ノ御考慮ヲ願ツテ置キタイト考ヘルノデアリマス

○大矢政府委員　只今各税務署管内ニ於ケル所得税賦課ノ状況ニ付テ、色々御話ガゴザイマシタ、私ハサウ云フ事ハ全然ナイトハ申上ダ兼ネルカト存ジマスケレドモ、併シテ、實際ニ於キマシテはヤハリ自分ガ申告シテ居ツク、或ハ自分ニ課セラレテ居ル所ノ所得税ト云フモノハ、是非徵收シナケルガ故ニ、小サイ税務署管内ノ「ブロック」每ニ於テモ達ツテ來ルノデアリマス、同ジ千圓所得ノアル人ガ、甲ノ税務署ノ査定ヲ

シナガラ御話モ亦大分實際ノ實狀ニ遠イ點ニ移ツタ場合ニ於テハ、非常ニ高キ負擔ヲセネバナラヌ、斯ウ云フ實例ハ幾ラデモアルノデアリマス、田舎ニナル程大體所得稅ニナレバナル程ソレガ樂ニナツテ來ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトヲ實例ヲ言ヘト仰シヤレバ、私ハ幾ラデモ實例ヲ申上ゲテ宜イト思フノデアリマス、又現ニ私共ノ知ツテ居ル範囲ニ於キマシテ、乙ノ税務署ト申ノ稅務署ト、大所得者ノ取合ヒヲシタ事實ヲ知ツテ居リマス、私等ハ其ノ當時ニ、何ノ爲ニ斯ウ云フコトヲスルノグラウ、斯ウ申上ダ所ガ、此ノ大所得者ヲ自分ノ所ニ入レルト入レヌニ依ツテ非常ニ違フ、若シ亞ノ大所得者ヲ他ノ所ニヤレバ、俺ノ方ノ税務署ハ、ソレダケヲ小サイ所ニ持ツテ行ツテ税ヲ課ケナケレバイケナクナルカラ困ルト云フヤウナ實例モアルノデアリマス、サウ云フ場合ニ此ノ所得税ニ於キマシテモ、サウ云フヤウニ「ブロック」毎ニ分レテ居ル爲ニ、サウシタ實例ガアルノデゴザイマス、隨テ私ハ「ブロック」毎ニ是が分レルコトニ依ツテ、サウシタコトガ著シクナルノデハナカラウカ、斯ウ云フ危惧ヲ持ツテ居ルノデアリマス、私ハ今サウ云フ實例ヲ申上ダゲマシタガ、是ハ問題外ニナリマシタケレドモ、サウ云フヤウナ所得稅ヲ賦課サレル場合ノ運用ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、相當ノ御考慮ヲ願ツテ置キタイト考ヘルノデアリマス

○大矢政府委員　一寸主税局長ニ斯ウ云フコトヲ言ツテ戴ケバ、非常ニ誤解ヲ除クグラウト思ヒマス、即チ税務署ニ居ル人達ノ賞罰ヲナサル際ニ、或ハ出世デモサセルト云フ場合、勵キノアル者、即チ餘計税ヲ取ル者ヲ良シトスルカ、或ハ無理ヲシナインデ適當ニ職務ヲ執行スルモノヲ良シトスルカ、其ノ何レカヲ誤解ヲ招カナイヤウニ一ツ言明シテ戴ケバ、非常ニ宜イグラウト思ヒマスカラアリマス、隨ヒマシテ同ジ税務署内ニ於キマシテモ、各從事員ニ依ツテ負擔ノ厚薄ノ起ラナイヤウニ統率者ハ能ク注意シテ致シテ居リマシテ、各税務署間ニ不均衡ノナイヤウニ税務監督局ニ於テ能ク注意シテ居ル、調査ノ時ニ當リマシテハ或ハ税務署長會議、直税課長會議ト云フヤウナモノノ催シマシテ、各地ノ状況ヲ能ク聞キマシテ居ル、調査ノ時ニ當リマシテハ或ハ税務署長會議、直税課長會議ト云フヤウナモノノ理由ニ依ツテ、斯ウシテ居ルノデアルアルト云フコトヲ、御認ニナツテ居ラレタヤウデアリマスガ、併シソレニ付テハ斯ウ云フ御説明デアツタヤウデアリマス、大

シナガラ御話モ亦大分實際ノ實狀ニ遠イ點ニ移ツタ場合ニ於テハ、非常ニ高キ負擔ヲセネバナラヌ、斯ウ云フ實例ハ幾ラデモアルノデアリマス、田舎ニナル程大體所得稅ニナレバナル程ソレガ樂ニナツテ來ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトヲ實例ヲ言ヘト仰シヤレバ、私ハ幾ラデモ實例ヲ申上ゲテ宜イト思フノデアリマス、又現ニ私共ノ知ツテ居ル範囲ニ於キマシテ、乙ノ税務署ト申ノ稅務署ト、大所得者ノ取合ヒヲシタ事實ヲ知ツテ居リマス、私等ハ其ノ當時ニ、何ノ爲ニ斯ウ云フコトヲスルノグラウ、斯ウ申上ダ所ガ、此ノ大所得者ヲ自分ノ所ニ入レルト入レヌニ依ツテ非常ニ違フ、若シ亞ノ大所得者ヲ他ノ所ニヤレバ、俺ノ方ノ税務署ハ、ソレダケヲ小サイ所ニ持ツテ行ツテ税ヲ課ケナケレバイケナクナルカラ困ルト云フヤウナ實例モアルノデアリマス、サウ云フ場合ニ此ノ所得税ニ於キマシテモ、サウ云フヤウニ「ブロック」毎ニ分レテ居ル爲ニ、サウシタ實例ガアルノデゴザイマス、隨テ私ハ「ブロック」毎ニ是が分レルコトニ依ツテ、サウシタコトガ著シクナルノデハナカラウカ、斯ウ云フ危惧ヲ持ツテ居ルノデアリマス、私ハ今サウ云フ實例ヲ申上ダゲマシタガ、是ハ問題外ニナリマシタケレドモ、サウ云フヤウナ所得稅ヲ賦課サレル場合ノ運用ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、相當ノ御考慮ヲ願ツテ置キタイト考ヘルノデアリマス

○大矢政府委員　先程ノ地方税ノ問題ニ返リマス、土地ト營業ノ間ニ不均衡ガ大體ニ於テアルト云フコトヲ、御認ニナツテ居ラレタヤウデアリマスガ、併シソレニ付テハ斯ウ云フ理由ニ依ツテ、斯ウシテ居ルノデアル

ハ、御認ニナツテ居ツタヤウデアリマスガ、左様承知シテ宜シウゴザイマセウカ、唯ソレニ對シテハ斯ウ云フ理由ノ爲ニ、斯ウシテ居ルノダト云フ御説明デアツタヤウデアリマスルケレドモ、大體ニ不均衡ト云フモノハアルモノダト云フコトノ前提ノ下ニ、御説明ガアツタヤウニ拜聽致シマシタガ、サウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○挾間政府委員 私ハ左様申上ゲタノデアリマセス、課率ニ於テ多少相違ガゴザイマスガ、斯様ニナルコトガ土地負擔ト營業負擔トノ間ニ、均衡ヲ得テ來ルモノデアルト思ヒマス、從前ノ問題ハ姑ク措キマシテ、改正税法ニ於テハ其ノ點ヲ十分考慮シテ、大臣ノ御答辯モ得テ居ルノデアリマスガ、私ハノ寸質問致シマシタノデ、之ニ依ツテ負擔ノ均衡ヲ得テ居ルモノダル、斯ウ

○石井委員 其ノ點ハ其ノ程度ニ致シマス、其ノ次ニ教育費ノ問題ニ付テ伺ヒタイト思ヒマスガ、此ノ問題ハヤハリ過日ノ本會議小學校ノ教員ノ或ハ賞與デアルトカ或ハ旅費デアルトカ、斯ウ云フヤウナモノハヤハリ府縣ノ負擔ニナルノデアリマスカ、ソレトモ町村ノ負擔ニナルノデアリマスカ、斯ウ云フコトモ併セテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中野政府委員 第二ノ御質問カラ御答致シマスガ、旅費賞與デアリマスガ、賞與ハ小學校令デハ慰勞金トナツテ居リマス、旅費竝モ得テ居ルノデアリマスガ、私ハノ當時ノ大臣ノ御答辯ヲ以テハ満足致シ兼ネシタカラ、重ネテ此ノ際ニ御質問申上ガルノデアリマス、今回義務教育費方府縣ノ支辨ニナツタノデアリマスガ、是ハ色々教育行政上ノ見地カラ考ヘマスト、極メテ結構ナコトデアラウト考ヘマス、其ノ點ニ付テハ私意見ハナインデアリマスガ、唯府縣ノ支辨ニナツタト云フ關係カラ致シマシテ、町村ガ全ク小學校教員ノ俸給ト云フモノニ對シテ關與セナイ、斯ウ云フヤウナコトニナリマス結果ト致シマシテ、小學校ノ教師ト町村或ハ町村役場ノ人トノ間ガ、從來ノヤウニ圓滿ニ行クカドウカ、斯ウ云フコトヲ

非常ニ疑フ持ツテ居リマス、今日ノ小學校教員ト云フモノハ、決シテ只ノ小學校教育者デハナインデ、町村ノ有エル教育ニ從事ヲ致シテハ密接ナ關係ニアルノデアリマスガ、唯此ノ間ノ話ヲ承ツテ見ルト、町村役場ノ事務ヲ簡捷ニスル爲ニ直接府縣支辨ニスルノダ、斯ウ云フヤウナコトデアリマシタガ、私ハサウ云フコトヨリモ、サウシタ根本ノ觀念ニ於キマシテ、ドウ云フ御見解ヲ持ツテ居ラレルカト云フコトヲ承リタカツタノデアリマス

尙ほ序ニ御尋申上ゲマスケレドモ、此ノ小學校ノ教員ノ或ハ賞與デアルトカ或ハ旅費デアルトカ、斯ウ云フヤウナモノハヤハリ府縣ノ負擔ニナルノデアリマスカ、ソレトモ町村ノ負擔ニナルノデアリマスカ、斯ウ云フコトモ併セテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中野政府委員 第二ノ御質問カラ御答致シマスガ、旅費賞與デアリマスガ、賞與ハ小學校令デハ慰勞金トナツテ居リマス、旅費竝ニ慰勞金ハ依然トシテ現行通リニ、市町村ノ負擔ニ残シテ置クト云フ譯ニナツテ居リマス、但シ赴任ノ場合ニ要シマスル旅費ハ府縣ニ移ス、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソレハ府縣知事が教員ノ異動ヲスルノデアリマスカラ、赴任旅費ハヤハリ府縣ニ置イタ方ガ宜カラウト云フノデ赴任ノ場合ニ要スル經費ダケハ府縣ニ移ス、一般ノ旅費ハ現行通リヤハリ市町村ニ任セルソレカラ第一ノ御尋デアリマスガ、是ハ先般文部大臣カラモ答辯ガアリマシタノデ、重ネテ申上ガルノモドウカト思ヒマスガ、御承知ノ通リニ小學校ノ經費ト云フモノニ

ハ、教員ノ俸給ノ外ニ學校ノ設備ニ要スル費用、更ニ内譯ヲ申シマスレバ、御承知ノ費用ヲ申シマス、今後ニ小學校教育者デハナインデ、町村ノ有エル教育ニ從事ヲ致シテハ密接ナ關係ニアルノデアリマスガ、小學校ノ方ダケハ成ベクヤハリ居ルヤウナ狀態デアリマス、非常ニ町村トハ密接ナ關係ニアルノデアリマスガ、唯此ノ間ノ話ヲ承ツテ見ルト、町村役場ノ事務ヲ簡捷ニスルカ或ハサウシタモノヲ町村ノ支辨ニスルノダ、斯ウ云フヤウナモノハ、サウシタ根本ノ觀念ニ於キマシテ、ドウ云フコトヨリモ、サウシタ根本ノ觀念ニ於キマシテ、ドウ云フ御見解ヲ持ツテ居ラレルカト云フコトヲ承リタカツタノデアリマス

尙ほ序ニ御尋申上ゲマスケレドモ、此ノ小學校ノ教員ノ或ハ賞與デアルトカ或ハ旅費デアルトカ、斯ウ云フヤウナモノハヤハリ府縣ノ負擔ニナルノデアリマスカ、ソレトモ町村ノ負擔ニナルノデアリマスカ、斯ウ云フコトモ併セテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中野政府委員 第二ノ御質問カラ御答致シマスガ、旅費賞與デアリマスガ、賞與ハ小學校令デハ慰勞金トナツテ居リマス、旅費竝ニ慰勞金ハ依然トシテ現行通リニ、市町村ノ負擔ニ残シテ置クト云フ譯ニナツテ居リマス、但シ赴任ノ場合ニ要シマスル旅費ハ府縣ニ移ス、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソレハ勿論感ジノ問題デアリマス、ナイト言ヘバナイヤウナモノデアリマス、アルト言ヘバアルト考ヘラレマス、ト考ヘテ居リマス

○石井委員 ソレハ勿論感ジノ問題デアリマス、ナイト言ヘバナイヤウナモノデアリマス、アルト言ヘバアルト考ヘラレマス、ソレカラ第一ノ御尋デアリマスガ、是ハナツタノデアリマスガ、唯府縣ノ支辨ニナツタト云フ關係カラ致シマシテ、町村ガ全ク小學校教員ノ俸給ト云フモノニ對シテ關與セナイ、斯ウ云フヤウナコトニナリマス結果ト致シマシテ、小學校ノ教師ト町村或ハ町村役場ノ人トノ間ガ、從來ノヤウニ圓滿ニ行クカドウカ、斯ウ云フコトヲ

非常ニ疑フ持ツテ居リマス、今日ノ小學校教員ト云フモノハ、決シテ只ノ小學校教育者デハナインデ、町村ノ有エル教育ニ從事ヲ致シテハ密接ナ關係ニアルノデアリマス、小學校ノ教員ト云フモノハ全ク府縣支辨デアリマス、ソレガ爲ニハアルモノダト云フコトノ前提ノ下ニ、御説明ガアツタヤウニ拜聽致シマシタガ、サウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○挾間政府委員 私ハ左様申上ゲタノデアリマセス、課率ニ於テ多少相違ガゴザイマスガ、斯様ニナルコトガ土地負擔ト營業負擔トノ間ニ、均衡ヲ得テ來ルモノデアルト思ヒマス、從前ノ問題ハ姑ク措キマシテ、改正税法ニ於テハ其ノ點ヲ十分考慮シテ、大臣ノ御答辯モ得テ居ルノデアリマスガ、私ハノ寸質問致シマシタノデ、之ニ依ツテ負擔ノ均衡ヲ得テ居ルモノダル、斯ウ

○中野政府委員 何處マデ申上ゲテモ見解ノ相違ニナルト思フノデアリマスルガ、俸給ヲ町村カラ受ケナイト云フユコトニ依リマス、但シ赴任ノ場合ニ要シマスル旅費ハ府縣ニ移ス、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ第一ノ御尋デアリマスガ、是ハナツタノデアリマスガ、唯府縣ノ支辨ニナツタト云フ關係カラ致シマシテ、町村ガ全ク小學校教員ノ俸給ト云フモノニ對シテ關與セナイ、斯ウ云フヤウナコトニナリマス結果ト致シマシテ、小學校ノ教師ト町村或ハ町村役場ノ人トノ間ガ、從來ノヤウニ圓滿ニ行クカドウカ、斯ウ云フコトヲ

非常ニ疑フ持ツテ居リマス、今日ノ小學校教員ト云フモノハ、決シテ只ノ小學校教育者デハナインデ、町村ノ有エル教育ニ從事ヲ致シテハ密接ナ關係ニアルノデアリマス、小學校ノ教員ト云フモノハ全ク府縣支辨デアリマス、ソレガ爲ニハアルモノダト云フコトノ前提ノ下ニ、御説明ガアツタヤウニ拜聽致シマシタガ、サウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○挾間政府委員 私ハ左様申上ゲタノデアリマセス、課率ニ於テ多少相違ガゴザイマスガ、斯様ニナルコトガ土地負擔ト營業負擔トノ間ニ、均衡ヲ得テ來ルモノデアルト思ヒマス、從前ノ問題ハ姑ク措キマシテ、改正税法ニ於テハ其ノ點ヲ十分考慮シテ、大臣ノ御答辯モ得テ居ルノデアリマスガ、私ハノ寸質問致シマシタノデ、之ニ依ツテ負担ノ均衡ヲ得テ居ルモノダル、斯ウ

云フ御意見デアリマシダガ、是モヤハリ全體ニ關スル見解ノ相違ト申シマスカ、市町村ノ豫算ニ俸給ヲ組ンデ居ツテ貰フ、ソレガ今度ハ府縣ノ豫算ニ組マレルナラバ、セテ市町村ヲ經由シテ此ノ俸給ヲ支拂フヤウニシタナラバ、其ノ關係ガ密接ニナツテ來ルト云フ御考ト思フノデアリマスガ、私共ノ見解デハ、前提ト致シマシテ俸給ヲ市町村カラ受ケルカラ、市町村ト極メテ密接ナ關係ガ保タレル、府縣カラ支拂サレルナラバ、其ノ關係ガ極メテ疎遠ニナルト云フコトハ實ハ考ヘテ居リマセヌノデ、隨テ俸給ノ支拂ニ付キマシテノ町村經由ト云フコトニ付キマシテモ、亦是レ多少違ツタ者ヲ持ツテ居ルカト思フノデアリマスガ、吾々ノ考ヘテ居リマスル所デハ、單ニ市町村ノ手ヲ煩ハスト申シマシテモ、市町村就中町村等ニ於キマンシテハ非常ニ事務ガ多忙デアリマシテ、ソレニ伴フダケノ増員モ出來ナイト云フ時ニ、町村ノ經費デヤリマスナラバ、如何ニ忙シクテモ已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、單ニ府縣ノ支辨スル俸給ノ御取次ヲ御願スルト云フコトハ、別ニ弊害ト云フコトハ考ヘマセヌガ、又何等手ヲ煩ハスダケノ效果ガナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考トニ對シマス見解ノ相違ト云フコトニナルカト思ヒマスガ、其ノ點ハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

ト、人ト云フモノハヤハリ弱イモノデアリマシテ、俸給ノヤウナモノデモ假ニ其ノ手カラ入ラヌニシテモノ經由シテ行ツテ居ルト接ニナツテ來ルト云フコドハ當然ノコトデアリマス、ソレガモウ全ク離レテ來ルト云フコトニナリマシタ場合ニハ、ドウモ私非常ニ憂慮セラレルノデアリマスケレドモ、是ハ段々ニ意見ノ相違ニナツテシマヒマスカラ、サウ云フコトニナラヌ工夫ヲ一ツ十分ニセラレテ置ク必要ガアルト云フ警告ダケヲ申上ゲテ置キマス、町村ノ役場ヲ經由スル、或ハ町村ノ豫算ニソレヲ組ムト云フコトハ非常ニ手數ダ、サウ云フモノヲ煩ハシテハ恐縮ダト云フ御話デアリマスケレドモ、サウ云フコトハ何デモナイノデアリマス、サウ云フコトヲ御遠慮ナサル必要ハ更ニナイト考ヘマス、ソレカラ最近ノ傾向トシテ私ハ承リマンシタガ、最近ニ於テ小學校教員給ガ、府縣支辨ニナルト云フコトカラシテ、小學校教員ノ給料ノ値上ガ頻々トシテ起ツテ居ルト云フコトヲ承ツテ居リマス、是ハ過般來申シマシタ國家依存ノ觀念ヲ、市町村ニ起サセルコトノ顯著ナル現ハレデアルト考ヘマス、詰リ自分で負擔セヌト云フコトニナレバ、他ノ方デ負擔スルナラバ成ベク要求ヲ満シテヤラウト云フコトナルノハ當然デアリマスガ、内務當局ハ之ニ對シテ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ

リ町村デ取扱ハレルノデアリマスカラ、其ノ點ニ於テ町村ト小學校教員トノ間ガ離反スルト云フヤウナ心配ハナイモノト考ヘテ居リマス、今御話ノヤウニ、今度府縣ガ拂ノグダカラ俸給ヲ上ゲテヤレト云フヤウナ事實ガアルカドウカ、能ク私其ノ點ハ承知致シマセヌ、併シ大體ニ於テ知事が任免權ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、恐ラクハ知事ノ監督ノ下ニ於ケル町村ニ於テモ、左様ナコトハシ得ナイ、又シナイグラウト云フヤウニ考ヘテ居リマス、併シ只今事實ガアルトスルナラバ、其ノ事實ハ矯正シナケレバナラスト思ツテ居リマス

○森委員 一寸關聯シテ伺ヒマスガ——只今ノ問題ハ兩面カラ考ヘラレルデアリマセウ、只今學務局長ノ御答ノヤウナコトニモ言ヘルデアリマセウガ、其ノ方ガ宜シイト云フナラバ、寧ロ文部省トシテハ大體國家ノ事務デアルベキ義務教育ノ事務ヲ、市町村ニ御依頼ニチラナイデ、同時ニ府縣ノ方ニ總テ御移シニナツタ方ガ簡單明瞭デ宜シクハナイカ、是ガ一つ、ソレカラモウ一つハ近ク國民學校ノ制度ヲ布カレルサウデアリマスガ、其ノ時ニハ義務教育費國庫負擔法ヲ更ニ改正サレテ——今回ノ改正ガ行ハレテソレカラ更ニ改正サレテ、尋常小學校教員トナツテ居ル者ヲ初等、高等ヲ併セタル國民學校ノ教員ト云フコトニシテ、俸給全額ヲ支辨スルト云フコトニ御改メニナルノデアルカドウカ、此ノ二點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

マスガ、其ノ高等國民學校又ハ國民學校高等科ノ義務制トナリマスノハ、昭和十九年度カラデアリマス、昭和十九年度カラハ其ノ高等國民學校ガ義務制ニナリマスカラシテ、只今ノ高等小學ニ當ル譯デアリマスガ、高等國民學校ノ教員ノ俸給ハ、ヤハリ半額國庫デ負擔シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、其ノ時ニナリマシテ是非法律ノ改正ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、第一ノ點デアリマスガ、俸給ヲ府縣ニ移スハ宜シイガ、同時ニ義務教育デアル所ノ小學校教育ニ要スル總テノ經費ヲ、府縣ニ移ス考ハナイカト云フ御尋デアツタト思ヒマスガ、是ハ只今ノ所サウ考ヘテ居リマセヌ、御説ノ通リニ義務教育デアリマスルガ、同時ニ各市町村ニ於キマシテ、此ノ市町村ノ子弟ヲ教育スル、ヤハリ市町村ニ於キマシテハ、何處マデモ自分ノ市町村ノ小學校デアルト云フ感ジヲ持ツテ居ル方ガ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、將來ノ問題ハ分リマセヌガ、只今ノ所ハ單ニ教員ノ俸給ヲ府縣ニ移スト云フダケノコトデアリマシテ、其ノ他ノ設備或ハ教員ノ旅費、諸給與等ニ付キマシテハ、現行通リニ市町村ノ負擔ニシテ置クト云フコトガ、先程來モ御話ガアリマシタヤウニ、小學校教員ト云フモノト市町村ト云フモノトノ關係ヲ密接ニスルト云フ點ニ於キマシテ、却テソレガ宜シイノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス

Digitized by srujanika@gmail.com

一つノ府縣内ニ於キマシテ、一つノ小學校カラ他ノ小學校ニ轉任ヲ命ゼラレマシタ場合モ、無論含ムノデアリマシテ、只今ノ點ハ其ノ通リデアリマス

○堀切委員長 關聯事項ト云フコトデスカラ——上田君

○上田委員 只今ノ教員給府縣支辨ノ問題關聯シテ可ナリ質問ガアルノデスキレドモ、カラ、ソレデ文部省ノ局長カラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、第一ハ豫度々問題ニ草案ニ依ツテ、其ノ項目ダケヲ申上げマスノ中樞デアツテ、隨テ其ノ教育モ非常ニ複雜デアリマシテ、教員モ優秀ナル教員ヲ以テ之ニ當ラシメナケレバナラヌノデアリマス、例ヘバ東京ノ市部ト郡部トノ平均ヲ比較致シマスト、市部ガ八十圓、郡部ガ六十圓五十錢ト云フヤウナ差ガアリマス所以ノモノハ、斯ノ如キ大都市ノ教育ニ付テハ非常ニ留意シナケレバナラヌト云フ點ガアルカラデアリマス、ソレヲ一樣ニ府縣ニ支辨セシムルト云フコトニナルナラバ、ソコニ大キナ支障ヲ來スト云フコトニナルノデハナイカト云フコトデアリマス、「ロ」トシテハ大都市教育ノ特異性ノ破壊ト云フコトデアリマシテ、其ノ特異性ノ破壊ト云フコトハ、ドウ云フコトカト云ヘバ、學級擔任外ノ教員ヲ配置シテ居ルノデアリマス、例外科ノ教員デアルトカ、補助教員デアルトカ、其ノ他產前產後ノ爲ノ補助教員ト云フヤウナ學級擔任外ノ教員ヲ多數配置致シテ居ルノデアリマスガ、ソレガ按排能ト云フヤウナ學級擔任外ノ教員ヲ多數配置シテ居ルノデアリマスカラ、ソコニ大都市ト云フヤウナモノハ、何ト言ヒマシテモ僅カ半年カ一年デ轉任スル者ガ多イ、大都市ノ教育ノ衝ニ當リマス者ハ、在勤ガ非常ニ長イノデアリマスカラ、ソコニ大都市トシテノ教育指導ノ持續性ガアルノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトガ阻碍サレルノデハナイカト云フヤウナ點ニ付テ、マダ其ノ持ツテ居ルト云フコトニナルノデアリマスガ、ソレデモ尙且ツ從來通リニ市長ノ内申權ト云フモノガ、効力ヲ持ツテ持續シテ行カレモノデアルト御考ニナルカドウカ、

是ハ非常ニ官僚的ナ御考デヤナイカドウカト云フコトヲ、念ヲ押シテ特ニ申上ゲテ置キマスカラ御答ヲ願ヒタイ

次ニハ斯ウ云フヤウナ改正ヲサレマスト、都市ノ教育ヲ破壊サレルコトニナルノデヤナイカ、都市教育ノ破壊ト云フコトヲ項目デ申スト、先づ「イ」トシテ教員ノ資質ガ非常ニ低下スルノデヤナイカ、大都市ノ教員ト云フモノハ、何トシテモ都市ガ一國ノ文化ノ中樞デアツテ、隨テ其ノ教育モ非常ニ複雜デアリマシテ、教員モ優秀ナル教員ヲ以テ之ニ當ラシメナケレバナラヌノデアリマス、例ヘバ東京ノ市部ト郡部トノ平均ヲ比較致シマスト、市部ガ八十圓、郡部ガ六十圓五十錢ト云フヤウナ差ガアリマス所以ノモノハ、斯ノ如キ大都市ノ教育ニ付テハ非常ニ留意シナケレバナラヌト云フ點ガアルカラデアリマス、ソレヲ一樣ニ府縣ニ支辨セシムルト云フコトニナルナラバ、ソコニ大キナ支障ヲ來スト云フコトニナルノデハナイカト云フコトデアリマス、「ロ」トシテハ大都市教育ノ特異性ノ破壊ト云フコトデアリマシテ、其ノ特異性ノ破壊ト云フコトハ、ドウ云フコトカト云ヘバ、學級擔任外ノ教員ヲ配置シテ居ルノデアリマス、例外科ノ教員デアルトカ、補助教員デアルトカ、其ノ他產前產後ノ爲ノ補助教員ト云フヤウナ學級擔任外ノ教員ヲ多數配置致シテ居ルノデアリマスガ、ソレガ按排能ト云フヤウナ學級擔任外ノ教員ヲ多數配置シテ居ルノデアリマスカラ、ソコニ大都市トシテノ教育指導ノ持續性ガアルノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトガ阻碍サレルノデハナイカト云フヤウナ點ニ付テ、マダ其ノ持ツテ居ルト云フコトニナルノデアリマスガ、ソレデモ専且ツ從來通リニ市長ノ内申

レバナラナイコトニナツテ居ルノデアリマシテ、特ニ其ノ學校ニ付テ申スト、工業學校デアルトカ、聲囃學校ト云フヤウナモノニ付テハ、サウ云フヤウナ必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス、或ハ體育向上ノ施設ト云フモノヲ設ケナケレバナラヌコトニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ一樣ニ府縣ニ教員給ヲ支辨セシムルト云フコトニナルト、其ノ邊ノ接排ガ出來ナクナルノデハナイカト云フコトデアリマス、ソレカラ次ニハ……

○堀切委員長 上田君、餘リ餘計ナラ獨立ノ質問トシテ願ハナケレバナリマセヌ、關聯質問ナラ簡単ニ願フコトニナツテ居リマスカラ……

○上田委員 モウ直グデス、——次ニ教育行政ノ混亂ト云フコトデス、サウ云フヤウニシテ府縣ガ一樣ニヤルト云フコトニナルト、今マデ大都市ガ特異性ヲ以テヤツテ居リマシタ所ノモノガ、總テ混亂スルコトニナルノミナラズ、府縣ノ學務部長トカ教育課長ト云フヤウナモノハ、何ト言ヒマシテモ僅カ半年カ一年デ轉任スル者ガ多イ、大都市ノ教育ノ衝ニ當リマス者ハ、在勤ガ非常ニ長イノデアリマスカラ、ソコニ大都市トシテノ教育指導ノ持續性ガアルノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトガ阻碍サレルノデハナイカト云フヤウナ點ニ付テ、マダ其ノ持ツテ居ルト云フコトニナルノデアリマスガ、ソレデモ専且ツ從來通リニ市長ノ内申

澤山アルナラ……

○上田委員 イヤ項目デスカラ簡単デス、ハ、現行ノ通リニ變更ヲ加ヘナイ考デアリマス、此ノ度ハ單ニ教員俸給費ノ負擔替フ

○堀切委員長 上田君、澤山アルノデスカラ、

○中野政府委員 市ノ内申權ニ付キマシテハ、現行ノ通リニ變更ヲ加ヘナイ考デアリマス、此ノ度ハ單ニ教員俸給費ノ負擔替フ

スルト云フダケノ問題デアリマスカラ、内申ニ付キマシテハ現行通リニシテ置ク考デスルト云フダケノ問題デアリマスカラ、其ノ内申權ハ名ノミデスルガナイノデハナイカ、斯ウ云フ御質問ノ居リマス、唯内申權ガアツテモ俸給費ヲ負担シテ居ラヌカラ、其ノ内申權ハ名ノミデスルガナイノデハナイカ、斯ウ云フ御質問ノ居リマス、内申權ガゴザイマスノデ、最近ノ御質問ノヤウナ府或ハ縣ノ學務部ニヤウダツタト思フノデアリマスガ、二、三、四以下ノ御質問モ實ハ之ニ關聯シテ居ルト思フジテ居ルノデアリマス、或ハ體育向上ノ施設ト云フモノヲ設ケナケレバナラヌコトニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ一樣ニ府縣ニ教員給ヲ支辨セシムルト云フコトニナルト、其ノ邊ノ接排ガ出來ナクナルノデハナイカト云フコトデアリマス、内申權ヲ尊重シテ致シマスカラ、只今ノ御心配ノヤウナコトハナイト思ヒマス、ソレカラ前後致シマスルガ、俸給費ヲ市町村カラ府縣ニ移管致シマシテモ、現在ノ市、就中六大城市ノ如キ非常ニ教員ノ待遇ノ好イ所ニ於キマシテ、其ノ待遇ガ低下スルト云フヤウナコトガアリマシテハ、是ハ由々シイ大問題デアリマス、何處マデモ現行ノ初任給ナリ、或ハ昇給内宿ナリト云フモノヲ尊重致シマシテ、サウシテ現在ノ程度ヨリモ惡クナラナイヤス、何處マデモ六大城市ノ如キ相當教員ヲ優遇スルト云フ考慮ハ、十分ニ致シテ居ルノデアリマシテ、只今ノ御質問ニアリマシタヤウニ、直チニ例ヘバ東京市ナラ東京市ト云フ所ノ教員俸給ノ豫算ト、郡部ノ教員俸給ノ豫算ト一緒ニゴチヤ／＼ニシテ、均ニスルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、

シテ居リマス所ノモノニ付キマシテハ、現行ヨリモ惡クナラナイヤウニ十分ニ考慮ヲ致ス考デアリマスシ、ソレハ實行可能ト考ヘテ居リマス、素質ガ低下スルト云フヤウナコトモナイト思ヒマスルシ、又學級擔任ノ現在ノ制度ガ破壊サレルトカ云フコトモナイト思ヒマス

ソレカラ再教育デアリマスガ、此ノ再教  
育ハ東京市ナドデハ盛ニ行ツテ居ルヤウデ  
アリマス、優良ナル教員、就中都市ニ適シ  
タル教員ヲ養成スル爲ニ、非常ニ費用ヲ使  
ウテ居ラレルコトハ、文部省ト致シマシテ  
モ承知致シテ居ルノデアリマス、是ハ俸給  
費以外デアリマス、今後ト雖モ大イニ六大  
都市ニ於テ支出ヲシテ戴キマシテ、教員ノ  
素質ヲ益、向上サセルト云フコトニ努力ヲシ  
テ貴ヒタイト考ヘテ居リマスノデ、俸給ヲ  
縣ニ移管致シマシテモ、何等支障ヲ來スコ  
トハナイ、斯ウ考ヘテ居リマス、最後ノ點  
ハ、最初ニ御答致シマシタガ、内申權ト云  
フモノガドコマデモ嚴存シテ居リマス以上  
ハ、市ノ實情ヲ無視シテ、市ノ實情ヲ十分  
ニ知ラナイデ教員ノ異動ヲ行フ、任免ヲ行  
フト云フコトハ出來ナイノデアリマス、御  
承知ノ通りニ東京市ノ如キハ、非常ニ大キ  
ナ教育局ガアリマシテ、其處ニ視學官モ非  
常ニ充實シテ居リマスノデ、十分ニ視學機  
關ノ調査致シマシタ所ニ依リマシテ、市長  
ノ内申ニ依リマシテ、府縣知事ガ此ノ教員  
ノ人事ヲ行フノデアルカラ、左様ナ御心配  
ハ全然ナイト思ヒマス

○上田委員 私ノ質問ハ關聯質問デアリマ  
スカラ、是デ止メマルガ、只今ノ答辯ハ  
悉ク私ノ満足スルコトハ出來ナイノデアリ  
マシテ、追ツテ私ノ順番ガ來マシタナラバ、  
十分ニ質疑應答ヲスルコトニ致シタイト思  
ヒマス

○堀切委員長 承知致シマシタ

アルト云フコトハ、想像ニ難クナインデア  
リマス、殊ニ人稅デアリマシタ戸數割デア  
リマストカ、其ノ他特別地稅ト云フヤウナ  
モノニ依ツテ、其ノ自治體ノ經理ヲヤツテ  
居リマシタ地方、其ノ主タル例ト致シマシ  
テハ、或ハ六大城市デアルトカ、或ハ七大府  
縣デアルトカ、或ハ鑛產稅ト云フヤウナ特  
殊ノ財源ニ依ツテ經理ヲ致シテ居リマシタ  
地方ハ、斯ウ云フヤウナモノ、或ハ所得稅  
ノ附加稅ヲ課スルコトハ出來ナイ、或ハ鑛  
產稅ノ附加稅ヲ課スルコトガ出來ヌ、斯ウ  
云フヤウナ關係カラ致シマシテ、相當ノ變  
動ガ來ルモノト考ヘマス、之ニ對シマシテ  
ハ經過規定ニ依ツテ之ヲ救濟スルノデアル  
カラ、隨テ大シタ無理ハ行カヌデアラウ、  
斯ウ云フヤウナ御答辯ヲ、過般來内務大臣  
ヨリサレテ居ツタノデアリマス、私ハ經過  
規定ニ付テ色々研究ヲ致シテ見マシタガ、  
此ノ經過規定ヲ見マシテモ、終局スル所ハ  
ヤハリ「ブロック」毎ニ爲サレテ居ルノ  
デアリマス、サウシテ普通ノ場合ニ於  
ケル第一種、第二種ノ配付稅ノ他ニ、  
第三種ノ配付稅ヲ御持ヘニナツタ云フ程  
度ニ過ギナインデアリマス、結局「ブ  
ロック」内ニ持ツテ居ル所ノ配付額ト云  
フモノハ變リハナインデアリマス、詰リ  
サウ云フ經過規定トシテ三〇%ノモノガ一  
方カラ減サレテ、増シテ居ルト云フヤウニ  
ナツテ居ルニ過ギナインデアリマスガ故  
ニ、果シテソレダケデ満足ノ行クダケノ調  
節ガ得ラレルモノデアルカドウカ、斯ウ云  
フコトニ付キマシテハ、非常ニ疑ヲ持ツテ  
リマスガ、大體法文ニ現ハレマシタ關係カ

○挾間政府委員 御述べニナリマシタ各地方團體ノ稅收入ノ増減ニ伴フ經過的ノ措置ノコトデアリマスガ、是ハ個々ノ問題ニ付キマシテハ、只今御話ニナリマシタヤウナ個々ノ救濟案ガアルト思ヒマス、全體トシテノ御心配ハ一應御尤モデゴザイマスガ、

今回ノ地方分與稅法ノ經過規定ノ中ニハ各「プロツク」ニ付キマシテモ、同様ニ此ノ五年間年間ノ經過的措置ヲ講ズルコトニ致シマシテ、初年度ニ於テハ三割以下五年間ニ濟シ崩シのニ、經過的ニ負擔ノ増減ヲ、遞増遞減セシムルヤウナ措置ヲ講ジテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテソレニ更ニ各團體ニ付テ經過的措置ヲ講ジテ、負擔ノ激増激減ア來サナイヤウニ致シテ居リマスノデ、「ブロック」相互ノ間ハ勿論、各團體相互ノ間ニ於キマシテモ、負擔ノ激増激減ト云フコトノナイヤウナ措置ヲ講ズルヤウニ指定ヲ致シテ居リマス

○石井委員 府縣、大都市ニ於キマシテ第三種配附稅ノ三〇%、ソレカラ都市町村ニ於キマスマル所ノ第四種配附稅ノ三〇%、是ノ配付ノ方法トカ、或ハ配付ヲスルノハ一體誰ガヤルノカ、其ノ方法ト、ソレカラヤラレル場所、所謂國デオヤリニナルノカ、或ハ縣デオヤリニナルノカ、其ノ事ニ付キマシテ御説明ヲ願ヒタイ

○挾間政府委員 是ハ先程來申述べマシタ通り、配付ニ付キマシテハ官廳ノ自由裁量ガ加ツテハイケナイト思ヒマスノデ、只今御述ベニナリマシタ此ノ第三種、第四種ノ場合ニ於キマシテモ、此ノ地方分與稅ノ經

過規定ニ依ツテ、分與方法ヲ規定シ居リマスルガ故ニ、實際ノ數字ヲ見ナケレバ、一向此ノ判斷ガ付カヌノデアリマス、私共ガ申上ゲルノハ一種ノ假定ノ下ニ申上ゲテ居ルノデアリマス、又政府ノ立案者ニ致シマシテモ、恐らく大體是ナラバ行クデアラウト云々、一種ノ假定ニ過ギナイト思ヒマス、若シオヤリニナリマシテ、甚ダシクアナタ方ノ御豫想ト違ツテ來ルヤウナ事實ガ現ハレマシタ場合ニ於キマシテハ、直チニ之ヲ變更サレルト云フヤウナ御意思ガアルカ、此ノ點ヲ一つ伺ツテ置キタイ

○**石井政府委員** 此ノ法律ノ運用ニ依リマシテ、經過年度間ハ間違ヒナク參ルト考ヘアルノデアリマス、多少見込違ヒガアレバ別デアリマスガ、左様ナコトハナイト考ヘテ居リマス

○**石井政府委員** 特ニ御尋申上ガタイト考ヘマスノハ、從來ノ此ノ鑛業地ニ於キマシテハ、鑛產稅ニ對スル附加稅ニ依ツテ、相當ノ收入ヲ得テ經理ヲヤツテ居リマシタ地方ガアルノデアリマス、特ニ私ノ郷里地方ノ炭坑地所在ノ町村ノ如キソレデアリマス、其ノ大キイモノニナリマスト十万圓近クノ一箇年ノ歲入ガアルノデアリマス、ソレ等ノモノガ今回鑛業法ノ改正ニ依リマシテ、是ガ撤廢ニナツテ參ツタノデアリマス、而シテ總テガ營業稅ニ入ルト云フコトニナツタノデアリマス、隨テ其ノ營業稅ガ原地ニ還付ヲサレルト云フコトニナリマスルガ故ニ、或ハ其ノ營業稅ヲ以テ此ノ缺陷ヲ補フ

ト云フヤウナコトニ相成ルカモ知レヌト考  
ヘマスルケレドモ、此ノ際特ニ私ガ申上げ  
テ置キタイト考ヘマスルコトハ、從來其ノ  
鑛物ノ產額ニ依ツテ決メラレテ居リマシタ  
税金デアツタノデアリマス、隨テ其ノ  
營業者ハ利益ガアツテモ、收益ガナクテ  
モ、ソレダケノモノハヤハリ納メテ貰  
ハネバナラナイ税金デアツタノデアリマ  
ス、然ルニ今回ハ營業稅、所謂收益ニ對シ  
テ課稅ヲスルト云フ建前ニナツテ居リマス  
ルガ故、此ノ鑛業者ノ中ニハ、或ハ石炭鑛  
業者ノ中ニハ、相當ニ收益ヲ舉ゲテ居ル人  
モアリマスガ、増產ノ割合、詰リ石炭或  
其ノ他ノ鑛物等ヲ出シテ居リマスル割合ニ、  
利益ノ舉ツテ居ラナイ所モアルノデアリマ  
ス、サウ云フ所ハ今マデハ非常ニ所謂產額  
ガ多カツタガ故ニ、餘計ニ取ツテ居リマシ  
タ鑛產稅ナルモノガ失ハレル、斯ウ云フヤ  
ウナコトニ相成ルト思ヒマス、ト同時ニ現  
在ニ於キマシテハ石炭業ト云フモノハ、御  
承知ノ通リ非常ニ石炭ガ不足致シテ居ルト  
云フヤウナ工合ニ、殷賑デハアリマスガ、  
是ガ又世ノ中ノ景氣ト云フモノニ依リマス  
ト、非常ニ下ツテ參ルノデアリマス、詰リ  
產額ニ依ツテ課稅シテ居ツタ時分ト、收益  
ニ依ツテ課稅サレテ居ツタ時分トニハ、非  
常ナル開キガ出來テ來ルモノデハナイカ、  
斯様ニ考ヘマスルガ、是等ニ對シマスル御  
考察、或ハ御研究ト云フヤウナモノガアリ  
マスナラバ、御漏シヲ願ヒタイト考ヘルノ  
デアリマス

○挾間政府委員 御尤モナ御尋デゴザイマ  
シテ、其ノ點ニ付キマシテハ、税法改正ニ  
付キマシテモ十分考慮致シテ居ルノデアリ  
マス、御述ニナリマシタ通り、鑛業法ノ改  
正ニ於キマシテハ石炭業ト云フモノハ、御  
承知ノ通リ非常ニ石炭ガ不足致シテ居ルト  
云フヤウナ工合ニ、殷賑デハアリマスガ、  
是ガ又世ノ中ノ景氣ト云フモノニ依リマス  
ト、非常ニ下ツテ參ルノデアリマス、詰リ  
產額ニ依ツテ課稅シテ居ツタ時分ト、收益  
ニ依ツテ課稅サレテ居ツタ時分トニハ、非  
常ナル開キガ出來テ來ルモノデハナイカ、  
斯様ニ考ヘマスルガ、是等ニ對シマスル御  
考察、或ハ御研究ト云フヤウナモノガアリ  
マスナラバ、御漏シヲ願ヒタイト考ヘルノ  
デアリマス

○挾間政府委員 御尤モナ御尋デゴザイマ  
シテ、其ノ點ニ付キマシテハ、税法改正ニ  
付キマシテモ十分考慮致シテ居ルノデアリ  
マス、御述ニナリマシタ通り、鑛業法ノ改  
正ニ於キマシテハ石炭業ト云フモノハ、御  
承知ノ通リ非常ニ石炭ガ不足致シテ居ルト  
云フヤウナ工合ニ、殷賑デハアリマスガ、  
是ガ又世ノ中ノ景氣ト云フモノニ依リマス  
ト、非常ニ下ツテ參ルノデアリマス、詰リ  
產額ニ依ツテ課稅シテ居ツタ時分ト、收益  
ニ依ツテ課稅サレテ居ツタ時分トニハ、非  
常ナル開キガ出來テ來ルモノデハナイカ、  
斯様ニ考ヘマスルガ、是等ニ對シマスル御  
考察、或ハ御研究ト云フヤウナモノガアリ  
マスナラバ、御漏シヲ願ヒタイト考ヘルノ  
デアリマス

正ニ依リマシテ、鑛產稅ガ廢止ニナリ、隨  
テ附加稅ガ廢止ニナリマス、ソレニ代ルベ  
キモノトシテ營業稅及ビ營業稅附加稅、斯  
ト、詰リ鑛產稅附加稅トシテ收入致シマシ  
タモノガ、今回ノ營業稅ニ代ルコトニ依ツ  
テ、總額ト致シマシテハ相當ノ增額ニナル  
ノデアリマス、相當ノ增額ニナリマスノデ、  
全體トシテ見マスト、別段心配ハナイト考  
ヘマス、併シナガラ現在ノ課稅標準ガ鑛產  
物ノ價格デアリ、營業稅ニナリマスト營業  
ノ純益ニナリマスノデ、其ノ課稅標準ノ變  
更デ、非常ニ稅收入ノ減額スル地方ガアル  
デアラウト思ヒマス、是ハ丁度今回ノ配付  
稅ガサウ云フ問題ヲ解決スルヤウニナツテ  
更デ、非常ニ稅收入ノ減額スル地方ガアル  
居ルノデアリマシテ、課稅標準ノ額ガ非常  
ニ減ジマスト、其ノ町村ノ課稅力ト申シマ  
スカ、單位稅額ト云フモノガズツト下ツテ  
參リマスノデ、下ツテ參リマスニ從ツテ第  
一種配付額ト云フモノガ、ズツト增額シテ  
行クコトニナリマス、尙ホ更ニソレデモ甚  
シイ相違ガアリマス場合ニハ、第三種配付  
額ニ依リマシテ、適當ニ調整スルト云フ  
コトニナツテ居リマスノデ、御述ニナリマ  
ノデアリマスカ、如何デゴザイマセウカ  
○挾間政府委員 只今御尋ノ稅收入ノ見込  
額ニ付テハ、今回ノ稅制改正ニ依リマシテ  
各町村ガドウ云フ風ナ財政狀態ニナルカト  
云フ點ハ、全體ノ國稅、附加稅、其ノ他ノ  
稅收入ヲ全部調べ上ゲマシテ、計算ヲ致サ  
ナケレバ計數ガ出マセヌノデ、個々ノ町村  
トカ、或ハ市ニ付テノ配付稅額ト云フモノ  
ヲ、拔出シテ計算スルト云フコトガ殆ド全  
ク出來マセヌノデ、一寸此ノ機會ニ其ノ數  
字ヲ申上ガルト云フコトハ困難デアルト考  
ヘマス

○石井委員 サウ致シマスト、大體營業稅  
ニ轉換シテモ、ソレニ依ツテ從來ノ鑛產稅  
額ト云フモノハ補ハレルデアラウ、尙ホ不  
足スルモノハ配付稅ニ依ツテ補足ガ出來ル  
デアラウ、斯ウ云フヤウナ御見解デアリマ  
スガ、私或ル方面カラ調査ヲ致シテ見マス  
ト云フヤウナコトハ出來ヌカモ知レヌト考  
ヘマスルケレドモ、此ノ際特ニ私ガ申上げ  
テ置キタイト考ヘマスルコトハ、從來其ノ  
鑛物ノ產額ニ依ツテ決メラレテ居リマシタ  
税金デアツタノデアリマス、隨テ其ノ  
營業者ハ利益ガアツテモ、收益ガナクテ  
モ、ソレダケノモノハヤハリ納メテ貰  
ハネバナラナイ税金デアツタノデアリマ  
ス、然ルニ今回ハ營業稅、所謂收益ニ對シ  
テ課稅ヲスルト云フ建前ニナツテ居リマス  
ルガ故、此ノ鑛業者ノ中ニハ、或ハ石炭鑛  
業者ノ中ニハ、相當ニ收益ヲ舉ゲテ居ル人  
モアリマスガ、増產ノ割合、詰リ石炭或  
其ノ他ノ鑛物等ヲ出シテ居リマスル割合ニ、  
利益ノ舉ツテ居ラナイ所モアルノデアリマ  
ス、サウ云フ所ハ今マデハ非常ニ所謂產額  
ガ多カツタガ故ニ、餘計ニ取ツテ居リマシ  
タ鑛產稅ナルモノガ失ハレル、斯ウ云フヤ  
ウナコトニ相成ルト思ヒマス、ト同時ニ現  
在ニ於キマシテハ石炭業ト云フモノハ、御  
承知ノ通リ非常ニ石炭ガ不足致シテ居ルト  
云フヤウナ工合ニ、殷賑デハアリマスガ、  
是ガ又世ノ中ノ景氣ト云フモノニ依リマス  
ト、非常ニ下ツテ參ルノデアリマス、詰リ  
產額ニ依ツテ課稅シテ居ツタ時分ト、收益  
ニ依ツテ課稅サレテ居ツタ時分トニハ、非  
常ナル開キガ出來テ來ルモノデハナイカ、  
斯様ニ考ヘマスルガ、是等ニ對シマスル御  
考察、或ハ御研究ト云フヤウナモノガアリ  
マスナラバ、御漏シヲ願ヒタイト考ヘルノ  
デアリマス

○石井委員 全體ノ町村、或ハ全體ノ府縣  
ト云フヤウナコトハ出來ヌカモ知レヌト考  
ヘマスケレドモ、特ニ斯ウ云フヤウナ影  
響ヲ受ケルデアラウト思ハレルヤウナ府  
縣、或ハ市町村ト云フヤウナモノニ付キマ  
シテハ、一應御提示ニナツタ方ガ宜クハナ  
シテ、其ノ點ニ付キマシテハ、税法改正ニ  
付キマシテモ十分考慮致シテ居ルノデアリ  
マス、御述ニナリマシタ通り、鑛業法ノ改  
正ニ於キマシテハ石炭業ト云フモノハ、御  
承知ノ通リ非常ニ石炭ガ不足致シテ居ルト  
云フヤウナ工合ニ、殷賑デハアリマスガ、  
是ガ又世ノ中ノ景氣ト云フモノニ依リマス  
ト、非常ニ下ツテ參ルノデアリマス、詰リ  
產額ニ依ツテ課稅シテ居ツタ時分ト、收益  
ニ依ツテ課稅サレテ居ツタ時分トニハ、非  
常ナル開キガ出來テ來ルモノデハナイカ、  
斯様ニ考ヘマスルガ、是等ニ對シマスル御  
考察、或ハ御研究ト云フヤウナモノガアリ  
マスナラバ、御漏シヲ願ヒタイト考ヘルノ  
デアリマス

○挾間政府委員 御尤モナ御尋デゴザイマ  
シテ、其ノ點ニ付キマシテハ、税法改正ニ  
付キマシテモ十分考慮致シテ居ルノデアリ  
マス、御述ニナリマシタ通り、鑛業法ノ改  
正ニ於キマシテハ石炭業ト云フモノハ、御  
承知ノ通リ非常ニ石炭ガ不足致シテ居ルト  
云フヤウナ工合ニ、殷賑デハアリマスガ、  
是ガ又世ノ中ノ景氣ト云フモノニ依リマス  
ト、非常ニ下ツテ參ルノデアリマス、詰リ  
產額ニ依ツテ課稅シテ居ツタ時分ト、收益  
ニ依ツテ課稅サレテ居ツタ時分トニハ、非  
常ナル開キガ出來テ來ルモノデハナイカ、  
斯様ニ考ヘマスルガ、是等ニ對シマスル御  
考察、或ハ御研究ト云フヤウナモノガアリ  
マスナラバ、御漏シヲ願ヒタイト考ヘルノ  
デアリマス

マス、北海道、府県、市町村其ノ他ノ公  
共團體ハ昭和十六年度分迄直接鑛業又ハ砂  
鑛業ノ用ニ供スル家屋ニ對シ地方税ヲ課ス  
ルコトヲ得ズ」斯様ニ相成ツテ居ルノデア  
リマス、一方ニ於テハ撤回ヲシテ課ケテモ  
宜イ、斯ウナツテ居リマス、然ルニ新シイ  
法令ニ於キマシテハ、年限ハ十六年ト限ツ  
テハアリマスルケレドモ、課スルコトガ出  
來ナイ、斯様ナ矛盾ガ茲ニアルノデアリマ  
ス、是ハ何レ正シイトシ見テ宜イノデ  
アリマセウカ、特ニ御説明ヲ願ヒタイト考  
ヘマス

○挿間政府委員 今回ノ改正ニ依リマシテ、  
現行ノ鑛業法ニ依リマシテハ、工作物其ノ  
他器具、機械等ニ對シテ課稅ヲ禁ジテ居リ  
マシテ、之ヲ廢止致シマシタ結果、全部地  
方稅ノ課稅ノ對象トナルコトガ出來ルヤウ  
ニナツテ居ルノデアリマス、併シ附則ニ於  
キマシテ、家屋ニ對シテ家屋稅ヲ課スルコ  
トヲ禁ジテ居ルノデアリマス、是ハ一應御  
疑問ヲ持タルノハ御尤モト存ジマスガ、是  
ヲ全部解除致シマシテ、是等ノ物件ニ  
對シ、又工作物ニ對シテ、地方稅ノ課稅ヲ  
避ケル意味ニ於キマシタノ、今回其ノ制限  
必要ガアルト存ジマス、斯ウ云フ意味ニ於  
テハ、先づ第一ニ此ノ家屋稅ニ對スル地方課  
稅ト云フモノヲ、二年間猶豫スルコトニシ  
タノデアリマス、今一つノ理由ト致シマシ  
テハ、多少家屋等ニ付テ貨貸價格ノ調査ヲ  
シテ居ル所モアルカト存ジマスガ、大體ニ  
於キマシテハマダ調査ガナイカト思ヒマス  
ガ、新シク家屋ノ貨貸價格ノ調査ヲ始メヌ

バナリマセヌシ、又從來ノ實績カラ考ヘマ  
シテ、府縣ニ於ケル家屋ノ貨貸價格ノ調査  
決定ヲ見マスト、甚ダ均衡ヲ得テ居ナイヤ  
ウナ状況モゴザイマスノデ、十七年度以降  
國稅ニ於テ家屋稅ヲ賦課スルコトニナリマ  
スカラ、其ノ際ニ附加稅ヲ課セシメルコト  
ニシマシテ、十五、十六ノ兩年度間ハ、負  
擔ノ激増緩和、及ビ只今申シマシタ貨貸價  
格ノ不均衡ト云フヤウナコトカラ、二年間  
ハ從來通り課稅ヲ禁ジテ行キタイト云フ趣  
旨ヲ以チマシテ、斯ウ云フ規則ガ設ケラレ  
タノデアリマス

○石井委員 色々理由ハ御述ニナツタヤウ  
デアリマスルガ、貨貸價格ヲ設定スル爲ニ、  
二年間モ猶豫セネバナラヌ、或ハ又漸ヲ以  
テ進ムガ爲ニ、斯ウ云フヤウナ規定ニシタ  
ノデアルト云フコトニ付テハ、私共承服ス  
ル譯ニハ參ラヌノデアリマス、貨貸價格ノ  
調査位ハ何デモナイノデアリマス、又漸ヲ  
以テ進マネバナラスト云フコトニナリマス  
ト、必ズシモ是ダケデハナイト考ヘマス、是  
ノミヲ唯漸ヲ以テ進マネバナラスト云フ解  
釋デハ、私承知スル譯ニハ參ラヌト考ヘマ  
ス、既ニ一面ニ於テハ鑛產稅ノ附加稅ト云  
フモノヲ取ルコトが出來ナイヤウニナリマ  
シタ町村ニ於キマシテハ、代償トシテ第八  
十八條ノ第二項ニ屬スルモノハ當然入ルノ  
ダ、此ノ第八十八條ノ自分ノ方ノ權利ニ屬  
スルモノハ剝奪サレタケレドモ、一面ニ於  
テハ今マデ免除サレテ居ツタモノガ、新シ  
ク入ツテ來ルノダト云フ氣持ヲ以テ臨ンデ  
ルコトヲ得ズ」斯様ニ相成ツテ居ルノデア  
リマス、一方ニ於テハ撤回ヲシテ課ケテモ  
宜イ、斯ウナツテ居リマス、然ルニ新シイ  
法令ニ於キマシテハ、年限ハ十六年ト限ツ  
テハアリマスルケレドモ、課スルコトガ出  
來ナイ、斯様ナ矛盾ガ茲ニアルノデアリマ  
ス、是ハ何レ正シイトシ見テ宜イノデ  
アリマセウカ、特ニ御説明ヲ願ヒタイト考  
ヘマス

○石井委員 色々理由ハ御述ニナツタヤウ  
デアリマスルガ、貨貸價格ヲ設定スル爲ニ、  
二年間モ猶豫セネバナラヌ、或ハ又漸ヲ以  
テ進ムガ爲ニ、斯ウ云フヤウナ規定ニシタ  
ノデアルト云フコトニ付テハ、私共承服ス  
ル譯ニハ參ラヌノデアリマス、貨貸價格ノ  
調査位ハ何デモナイノデアリマス、又漸ヲ  
以テ進マネバナラスト云フコトニナリマス  
ト、必ズシモ是ダケデハナイト考ヘマス、是  
ノミヲ唯漸ヲ以テ進マネバナラスト云フ解  
釋デハ、私承知スル譯ニハ參ラヌト考ヘマ  
ス、既ニ一面ニ於テハ鑛產稅ノ附加稅ト云  
フモノヲ取ルコトが出來ナイヤウニナリマ  
シタ町村ニ於キマシテハ、代償トシテ第八  
十八條ノ第二項ニ屬スルモノハ當然入ルノ  
ダ、此ノ第八十八條ノ自分ノ方ノ權利ニ屬  
スルモノハ剝奪サレタケレドモ、一面ニ於  
テハ今マデ免除サレテ居ツタモノガ、新シ  
ク入ツテ來ルノダト云フ氣持ヲ以テ臨ンデ  
ルコトヲ得ズ」斯様ニ相成ツテ居ルノデア  
リマス、一方ニ於テハ撤回ヲシテ課ケテモ  
宜イ、斯ウナツテ居リマス、然ルニ新シイ  
法令ニ於キマシテハ、年限ハ十六年ト限ツ  
テハアリマスルケレドモ、課スルコトガ出  
來ナイ、斯様ナ矛盾ガ茲ニアルノデアリマ  
ス、是ハ何レ正シイトシ見テ宜イノデ  
アリマセウカ、特ニ御説明ヲ願ヒタイト考  
ヘマス

○堀切委員長 ソレデハ長野君、厚生大臣  
ガ見エテ居リマスカラ、先づ厚生大臣ニ御  
質問ヲ願ヒマス、農林大臣ハ差支ガアルノ  
デ、農林政務次官ナラ參ツテモ宜シイト云  
フコトヲ申シテ居ラレマス

○長野(長)委員 内務大臣ニ對スル分ハ僅  
ニ二ツデゴザイマスガ、序ニ濟シテハ如何

○堀切委員長 ドチラデモ宜シウゴザイマ  
デスカ

○長野(長)委員 私ハ二項目ニ付テ内務大臣、又ハ政府委員ヨリ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、極ムテ財政ノ貧弱ナ府縣デアリマス、

説明ノ便宜上假ニ茲ニ實例ヲ舉ゲマスルト、昭和十三年度ニ於テ約五百八十万圓ノ豫算ヲ有シテ居ル縣デアリマス、其ノ稅收入ガ

二百十萬圓、而シテ地租附加稅、營業稅附加稅、所得稅附加稅等ハ約八十万圓ニ相成

リマシテ、差引キマスト百二十七万九千圓

程ノ府縣稅、雜稅等ガ出テ來ルノデアリ

マスガ、此ノ金額ガ今回ノ稅制整理ノ結果、

財源不足トナル譯デアリマス、其ノ上ニ從

來ノ災害債ノ償還未濟額ガ約千三百万圓、

十四年度ノ災害起債ガ約二十萬圓、サウシ

テ過去ニ於キマシテハ昭和十年ノ如キハ、百

三十萬圓ノ起債ヲ致シテ居リマス、爾後三

十二万圓、或ハ二十八万圓、昨年ノ如キハ

二十萬圓ト云フガ如キ起債ヲ致シテ居ルノ

デアリマシテ、年々斯ル災害ヲ受ケ、其ノ

起債ヲシナケレバナラヌ狀況ニアリマスノ

デ、自然財政上ニ重大ナル迷惑ヲシテ居ル

ノデアリマス、斯ル窮狀ニアル地方ハ、雷

ノ稅制改革ノ際ニ於キマシテ、如何ナル御

話デゴザイマシタガ、斯様ナ縣ニドレダケ

ノ財源ガ、今度落チテ行クカト云フコトヲ

計數的ニ申上ゲルコトハ困難デゴザイマス

ガ、只今御話ニナリマシタヤウナ財政ガ非

常ニ窮乏シテ居リマス貧弱縣ニ對シマシテハ、今回ノ配付稅ガ非常ニ多額ニ分與セラレコトニナル譯デアリマス、御述ニナリマスガ、今回ノ道府縣ノ配付稅ハ第一種、第二種ニ分レテ居リマシテ、第一種ハ課稅力ヲ標準ト致シマス、其ノ課稅力ハ國稅附加稅ノ一人當リ額ト云フモノガ一應ノ標準ニナリマスガ、更ニ其ノ中カラ其ノ縣ニ起債致シテ居リマス災害債ノ元本ノ十五分ノ一ノ一人當リ額ダケハ課稅力カラ撹除致シマス、隨テ災害債ガ多ケレバ、其ノ多イ縣ニ於テハ課稅力ガ其ノ程度ニ應ジマシテ減ジマスカラ、其ノ結果トシマシテ第一種配付額ト云フモノガ、多額ニ分與セラレルト云フコトニナル譯デアリマス、御述ニナリマシテヤウナ財政狀態ノ縣ヲ、私一應頭ニ描キマスト、今回ノ稅制改正ニ依ツテ相當財政力ニ餘裕ノ生ズルヤウナ配付稅ノ分與ガ出来ルヤウニナルト考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 能リ分リマシタ、尙ホ次ハ大臣ノ御答辯ヲ御願申上ゲルタイト思ヒマスガ、今回ノ制稅改革ハ實ニ劃期的ナモノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ際ニ於テ私ハ稅制改革ノ成績ヲ眞ニ舉ゲルト云フ意味カラ致シマシテモ、又此ノ改革ニ伴フ各般ノ地方ノ自治體ノ仕事ノ上ニ於キマシテモ、其ノ實績ヲ舉ゲル意味カラ致シマシテ、地方ノ自治制度ノ革新ト云フコトニ付テ、此ノ際何ヲ措イテモ考究實施ヲスル必要ガアリマスマイカト考ヘルノデアリマス、之ニ付テスカ、御説明ヲ願ヒタイ

○挾間政府委員 今具體的ノ縣ニ付テノ御用意ト御計畫ヲ持ツテ居ラレルノデアリマスカ、御説明ヲ願ヒタイ

○堀切委員長 〔委員長退席、立川委員長代理著席〕

斯様ナ問題ニ付テ内務大臣ハ如何ナル御見解ヲ持タレルノデアルカ、若シ現在別ニ御成案ヲ持タレヌトスルナラバ、之ヲ研究調査セラレテ、之ニ依ツテ進ンデ行クベキ價値アリト認メラレマスカ、御決心ノ程ヲ拜聽致シタイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 地方制度ニ關シマスル確

定的ノ意見ハ、此處デ申上ゲル時期ニ達シテ居ラスノデアリマスケレドモ、今御述ニナリマシタ御趣旨ハ、大體ニ於テ私個人ノ意見トハ合致シテ居ルノデアリマス、ソゴデ立憲政治ガ布カレマシテ、ソレト同時ニ地方制度ガ行ハレルコトニ相成リマシタ結

自治が往々ニシテ法律的デアリ、政治的デアル、斯ウ云フ風ナ傾キヲ從來持ツテ來クノデアリマス、然ルニ地方ノ經濟的、產業的ノ活動ガ段々力ヲ得テ來ルニ隨ヒマシテ、主トシテ法律的、政治的ニ重キヲ置キマシテ、市町村ノ力デハ、此ノ新シク動キツツアル所ノ產業的、經濟的ノ傾向ヲ、ドウスルコトモ出來ナクナツタノデアリマス、ソコデ茲ニ産業組合的ノモノガ起ツテ來マシテ、産業組合的ノ活動ト町村ノ活動トノ間ニ於テ、互ニ調和ガ不十分デアルト云フ結果ヲ、今日生ジテ來テ居ルモノト思フノデアリマス、今後ノ地方行政ノ大體ヲ見マスレバ、漸次產業的、經濟的ノ方面ニ濃厚ニナツテ行ク傾向ヲ迪ルコト考ヘマス、隨ヒマシテ其ノ點ニ付キマシテハ、只今御説ノ通りニ此ノ地方行政ノ體系ヲ整ヘルコトニ重點ヲ置キマシテ、各種ノ産業團體ヲ出來ルダス、而シテ此ノ地方自治ノ單位ト致シテ、精神的ニモ、經濟的ニモ、政治的ニモ活動ノ中心トナルヤウナ仕組ニシナケレバナラヌノデハナイカト思ツテ居リマス、而シテ此ノ地方自治ノ單位ト致シテハ、五人組ヨリ部落制ニ至リ、而シテノ現行制度ニ於テハ、町村組合ニ依ツテ其ノ仕事ヲ實行スルコトガ出來ルノデアリマス、今其ノ町村ト府縣トノ間ニ付テノ御説ガアスケレドモ、郡制ガ廢セラレテ以來、最近ニ於テハ其ノ點ニ付テ非常ナ不便ヲ感ジテ居ル聲ガ多イノデアリマス、隨テ郡其ノモガ、段々ト濃厚ニナツテ來テ居ルト云フヤウナ氣分ガ致シテ居ルノデアリマス、ソコ

日本ハ此ノ産業組合ニ依ツテ物心兩面ニ於テ發展スル所ガ大デアルト思ヒマス、此ノ意味ニ於テ産業組合及ビ農會等ヲ取上げテ、只今御説ニナツタ事柄ハ、地方制度改正ノ上ニ於テ、最モ必要ナル参考トシテ承ツテ置ク價值ノ十分アルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス。

○長野(長)委員 極メテ眞摯ナル御回答ヲ戴キ満足ニ存ジマス、尙ホ私ハ誤解ヲ招ク虞ガナイトモ限リマセヌカラ一言申上ゲテ置キマスガ、産業組合、或ハ農會、殊ニ農會ニ包含サルベキ各種ノ産業團體、是等ハ詰リ生産方面ニ指導ノ團體ト、經濟組合タル產業組合、斯ウ包括的ニ二大分類ガ出来ルト思ヒマス、是等ノ團體ハ儼然トシテ現在ノ儘進ムベキモノデアリマシテ、私ハ是ケ整理統合シテ、精神的ニモ、經濟的ニモ、政治的ニモ活動ノ中心トナルヤウナ仕組ニシナケレバナラヌノデハナイカト思ツテ居リマス、唯我國ニ於ケル產業組合ハ彼ノ獨逸ノ「ライファイゼン」「シュルチエ」ト云フガ如キ世界ノ最初ノ組合トハ違ツテ、我ガ國體、我ガ農民精神等ニ立脚シテ極メテ獨自ノ發達ヲシタモノデアリマシテ、是ガ時ニ動トモスレバ政治其ノ他ノ世ノ批判ヲ受クルガ如キ脫線ヲシハシナイカト云フ風ニ、世間カラ憂ヘラレルガ如キ傾向ナキニシモアラザル世ノ批評ヲ受ケヌデモナカツタノデアリマス、併シ此ノ際斯ル意味ニ於テ國家的ニ一層之ヲ重視シテ、産業組合ヲシテデアリマス、併シ此ノ際斯ル意味ニ於テ國通リ可ナリ多數ニ上ツテ居リマスノデ、其ノ點ハ農村ノ保健衛生上沟ニ殘念な状態デアル考ヘマス、制度ト致シマシテハ、御承知ノ通リニ從來カラノ醫療利用組合ガアリ、又數年來國民健康保健制度、或ハ御指摘ニナリマシタ診療所ノ施設、或ハ保健所、左様ナモノニ依リマシテ出來ル限り保健衛生上、遺憾ナキヲ期シテ居ル次第デア

スルコトハ、此ノ産業組合ノ中ニアル醫療利用組合デアリマスガ、此ノ醫療利用組合ガ今回ノ稅制改革ニ於テ、課稅ノ對象ニ相成ツテ來テ居ルノデアリマス、然ルニ現在我國ノ醫療機關ニ付テ眺メテ見マスルニ、都市集中ノ傾向ガ顯著デアツテ、農村ニハ年ト共ニ醫師ヲ有セザル町村ガ激増シテ居ル有様デアリマス、現ニ厚生省調查ニ依リマス、唯我國ニ於ケル無醫町村ハ千九百六十デアツタガ、昭和九年ニハ三千四百二十七トナリ、昨十四年五月末ニ於テハ三千六百五十五ト激増致シテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ厚生省デハ、最近無醫町村ニ公營診療所ノ設置等ヲ行ヒツツアルノデアリマスケレドモ、尙ホソレデモ此ノ無醫町村增加ノ趨勢ハ、阻ムコトガ出來ナイ有様ニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ厚生大臣トセラレテハ、此ノ無醫町村ニ對スル醫師ノ普及ト云フコトニ付テ、如何ナル御計畫ヲ持タレテ居ルノデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 無醫町村ノ數ハ御指摘ノ通リ可ナリ多數ニ上ツテ居リマスノデ、其ノ點ハ農村ノ保健衛生上沟ニ殘念な状態デアル考ヘマス、制度ト致シマシテハ、御承知ノ通リニ從來カラノ醫療利用組合ガアリ、又數年來國民健康保健制度、或ハ御指摘ニナリマシタ診療所ノ施設、或ハ保健所、左様ナモノニ依リマシテ出來ル限り保健衛生上、遺憾ナキヲ期シテ居ル次第デア

スルコトハ、此ノ産業組合ノ中ニアル醫療利用組合デアリマスガ、此ノ醫療利用組合ガ今回ノ稅制改革ニ於テ、課稅ノ對象ニ相成ツテ來テ居ルノデアリマス、然ルニ現在我國ノ醫療機關ニ付テ眺メテ見マスルニ、都市集中ノ傾向ガ顯著デアツテ、農村ニハ年ト共ニ醫師ヲ有セザル町村ガ激増シテ居ル有様デアリマス、現ニ厚生省調查ニ依リマス、唯我國ニ於ケル無醫町村ハ千九百六十デアツタガ、昭和九年ニハ三千四百二十七トナリ、昨十四年五月末ニ於テハ三千六百五十五ト激増致シテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ厚生省デハ、最近無醫町村ニ公營診療所ノ設置等ヲ行ヒツツアルノデアリマスケレドモ、尙ホソレデモ此ノ無醫町村增加ノ趨勢ハ、阻ムコトガ出來ナイ有様ニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ厚生大臣トセラレテハ、此ノ無醫町村ニ對スル醫師ノ普及ト云フコトニ付テ、如何ナル御計畫ヲ持タレテ居ルノデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 無醫町村ノ數ハ御指摘ノ通リ可ナリ多數ニ上ツテ居リマスノデ、其ノ點ハ農村ノ保健衛生上沟ニ殘念な状態デアル考ヘマス、制度ト致シマシテハ、御承知ノ通リニ從來カラノ醫療利用組合ガアリ、又數年來國民健康保健制度、或ハ御指摘ニナリマシタ診療所ノ施設、或ハ保健所、左様ナモノニ依リマシテ出來ル限り保健衛生上、遺憾ナキヲ期シテ居ル次第デア

ノ産業組合診療所ニ對シテモ、其ノ醫薬  
ニ付適當ナル國家管理ヲ行ヒ云々、公營醫  
療機關ノ代行機關タラシメルコトヲ決定致  
シテ居ルノデアリマス、是ハ恐らく厚生大  
臣ノ御手許ニモ報告サレタコトト思ヒマス  
ガ、尙ホマダ御手許ニナイト致シマスレバ、  
是ハ確ニ其ノ書類カラ私拔取ツタ事實デゴ  
ザイマスカラ、斯カルコトニ付テハ如何ナ  
ル御見解ヲ御持チデゴザイマセウカ、醫療  
利用組合ヲ斯ノ如ク尊重セラレテ、一層之  
ヲ活用セラレル御意思ガアルカナイカト云  
フコトヲ御尋致シマス

○吉田國務大臣 只今御引用ニナリマシタ

點ハ、私ノ申上ゲマシタ醫藥制度調査會ノ

特別委員會ノ審議ノ結果、サウ云フ條項ノ

アリマスルコトヲ私モ承知致シテ居リマス、

前刻モ申上ゲマシタ通リニ、醫藥制度調査會

ノ審議ト云フモノガ、今日マダ全部完了ト

云フ歸結ヲ見テ居ラナイノデアリマスガ、

非常ニ大切ナ我國ノ醫藥制度ノ根本ニ關ス

ル問題ヲ、全面的ニ検討シテ居リ、其ノ中

ニハ農村醫療ノ普及ト云フ問題ニ付キマシ

テ、重要ナル只今御朗讀ニナリマシタヤウ

ナ事柄ヲモ含ンデ居ルノデアリマス、是ハ

全般ノ調査會ノ審議ノ終了ニ依リマシテ、

政府トシテモ十分考究ヲ致シマシテ、今後

ニスベキ部分ナノデアリマスガ、只今ク現在

ノ調査會ノ特別委員會ノ決定ト云フモノニ

付キマシテ、之ヲ今ヤツテ居ルノダト云フ

コトマデ申上ゲラレル事項デアリマセヌノ

程度デアリ、取極ヌデアルト云フコトニ御

諒承願ヒタイト存ジマス

是カラ御尋申上ゲルコトハ、大藏省トノ關係ヲ御心配ニナツテ、彼此レ御答辯ヲ遠慮サレルト云フコトノナイヤウニ、ザツクバランニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、トル御見解ヲ御持チデゴザイマセウカ、醫藥利用組合ヲ斯ノ如ク尊重セラレテ、一層之ヲ活用セラレル御意思ガアルカナイカト云フコトヲ御尋致シマス

○長野(長)委員 能ク分リマシタ、ソコデ

医者ガ居ラヌノデアリマス、医者ノ居ラナ

イ農村、山村等ニ於キマシテ家族ガ病氣ニ

罹ル、而モ死ニ瀕スル、医者ガ手ニ入ラナ

イ、此ノ實情ニ瀕シタ場合ヲオ互ガ先ヅ其

ノ家族ニナツテ、責任者ニナツテ一ツ考へ

テ見ナケレバナラヌ、此ノ場合ニ於テハ苟

モ國民厚生ノ根本ヲ握ラレテ居ル厚生大臣

トセラレテハ、何モノヲ措イテモ此ノ無

医町村ニ對シテ速ニ醫療機關ヲ潤澤ニ普

及スルト云フコトヲ御考戴カネバナラヌト

思フノデアリマス、此ノ意味ニ於テ大藏省

トノ關係等ヲ御心配ナク、一ツ率直ニ御答

辯願ヒタインノデアリマス、是等ノ町村ニハ

現在アリマス産業組合中ノ醫療利用組合ノ病

院ノ剩餘金ガ、年一年ト增加シツツアリマス

カラ、此ノ剩餘金ヲ振向ケマシテ、サウシ

テ診療所等ヲ増設シマスルナラバ、忽チニ

シテ是等ノ缺陷ハ補填スルコトガ出來ルト

考ヘ得ラレルノデアリマス、故ニ此ノ際吾

テ、重要ナル只今御朗讀ニナリマシタヤウ

ナ事柄ヲモ含ンデ居ルノデアリマス、是ハ

全般ノ調査會ノ審議ノ終了ニ依リマシテ、

政府トシテモ十分考究ヲ致シマシテ、今後

ニスベキ部分ナノデアリマスガ、只今ク現在

ノ調査會ノ特別委員會ノ決定ト云フモノニ

付キマシテ、之ヲ今ヤツテ居ルノダト云フ

コトマデ申上ゲラレル事項デアリマセヌノ

程度デアリ、取極ヌデアルト云フコトニ御

諒承願ヒタイト存ジマス

○長野(長)委員 少シ私ノ頭ニ入り兼ねタ

ノデアリマスガ、其ノ剩餘金ガ出タナラバ、ソレヲ此ノ無醫町村

ノ診療所ノ設備、及ビ時代ニ伴フ所ノ、學

校如キ組合ハナインデアルカラ、事實上

ノトハ、意味ノ違ツタ性質ノ金ニナルノデハ

ナイカ、隨テ醫療利用組合アルカラ、餘所

ノ組合ト格別ノ取計ヒラシテ貰ツテ、課稅

ヲシテ戴カナイト云フヤウナコトハ法律ノ上

デ或ハ難カシイカヘ分リマセヌケレドモ、實

際ノ財政ノ狀態カラ、又賄フベキ仕事ノ性

質照シ合シテ考ヘテ見マスト、主務當局

ト打合セマシテ、ソレ等ノ、假ニアナタガ

剩餘金ト仰シヤツタヤウナ金デアリマシテ

モ、ソレハ醫療方面ニ使ヒ得ルモノノデハア

ルマイ、其ノ點ニ付キマシテハ、實務ノ上デ

十分ナ連絡ヲ取ツテ行ク餘地ハ有リ得ルモ

ノデアラウ、斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス

病院デアルトカ、赤十字社ノ病院デアルト

カ、鐵道病院デアルトカ、或ハ警察病院デ

云フ風ニ、特別ニ此ノ方面ニ御取計ヒラサ

ルシ、又ソレハ別トシテ、兎ニ角課稅ト云

フコトハ此ノ際先ヅ御控ヘニナツテ、寧ロ

剩餘金ガ出タナラバ、ソレヲ此ノ無醫町村

ノ診療所ノ設備、及ビ時代ニ伴フ所ノ、學

校如キ組合ハナインデアルカラ、事實上

ノトハ、意味ノ違ツタ性質ノ金ニナルノデハ

ナイカ、隨テ醫療利用組合アルカラ、餘所

ノ組合ト格別ノ取計ヒラシテ貰ツテ、課稅

ヲシテ戴カナイト云フヤウナコトハ法律ノ上

デ或ハ難カシイカヘ分リマセヌケレドモ、實

際ノ財政ノ狀態カラ、又賄フベキ仕事ノ性

質照シ合シテ考ヘテ見マスト、主務當局

ト打合セマシテ、ソレ等ノ、假ニアナタガ

剩餘金ト仰シヤツタヤウナ金デアリマシテ

モ、ソレハ醫療方面ニ使ヒ得ルモノノデハア

ルマイ、其ノ點ニ付キマシテハ、實務ノ上デ

十分ナ連絡ヲ取ツテ行ク餘地ハ有リ得ルモ

ノデアラウ、斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス

病院デアルトカ、赤十字社ノ病院デアルト

カ、鐵道病院デアルトカ、或ハ警察病院デ

云フ風ニ、特別ニ此ノ方面ニ御取計ヒラサ

ルシ、又ソレハ別トシテ、兎ニ角課稅ト云

フコトハ此ノ際先ヅ御控ヘニナツテ、寧ロ

剩餘金ガ出ル場合ニ於テハ、成ベクサウ

云フ方面ニソレヲ設備ノ擴充ノ方面ニ使ツテ

居ルノデアリマス、デアルカラ今後サウ云

フ剩餘金ガ出ル場合ニ於テハ、成ベクサウ

モノデアリマスルカラ、之ニ對シテ一ツ左

様ナ御取計ヒラシテ、全ク虛心

坦懐デ御贊成ヲ戴クコトガ至當デハナイカ

ト思フノデゴザイマス、厚生大臣ハ如何ニ

御考デゴザイマセウカ

資金ト申シマスルカ、サウ云フモノガドン

マス

又只今ノ御質疑中ニモアリマスル通リニ、端的ニ言ヒマシテ醫療利用組合ガ、若シ醫療ト云フコトニ全力ヲ注ギマスルナラバ、療ト云フコトニ全効力ト思フノデアリマス、ノ餘力ト云フモノハ出テ來ナイト云フコトバ、ソレハ醫療内容ヲ充實スルコトニ向ケタラドウカト云フコトニ付キマシテハ、醫療ノ内容ヲ充實スルコトニ致シマスルト、剩餘ハ出ナイト云フコトニモ一面ナル譯ナノデアリマス、其ノ邊ニ付キマシテ事務當局トノ間ニ十分連絡ガ保テルグラウト云フコトヲ、前刻モ申シマシタヤウナ次第デゴザイマスカラ、今日ノ醫療利用組合ノヤツデ居ルコト、又醫學ノ進歩、モツト農村ノコトニ力ヲ注ガネバナラスト云フ觀點、諸ノコトカラ考ヘマシテ私共保健衛生ノ立場カラ考ヘマスト、醫療利用組合ニ對シテ課税比ベテ殊ニ例外例ガ持ヘニクイト云フ法制ノ建前デ、恐ラク此ノ法案ガ出來テ居ルノデアラウト考ヘルノデアリマス、左様デアリマシテモ、課稅ノ爲ニ醫療ノ低下ヲ來ストノナイヤウナ意味ノ連絡ハ、十分ニ取り得ルモノグラウト、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○長野(長)委員 尚ホ此ノ醫療利用組合ハ國策ノ線ニ沿ヒマシテ、國民健康保險事業ヲ行ツテ居ルモノガ六十組合程アリマシテ、今後恐ラク是モ相當ニ増加スルコトグラウト思ヒマス、又大衆ノ醫療費ノ節約ト云フコトニ付テモ相當努力ヲ致シ、成績ヲ擧ゲテ居ル

又只今ノ御質疑中ニモアリマス、厚生大臣ノ御誠意ノアル御答辯ハ能ク諒承シマシタ、ドウゾ一ツ是ニ、現實ニナツテ居ルト思フノデアリマス、殊ニ今御話ニナリマシタ剩餘ガアツタナラバ、ソレハ醫療内容ヲ充實スルコトニ向ケタラドウカト云フコトニ付キマシテハ、醫療ノ内容ヲ充實スルコトニ致シマスルト、剩餘ハ出ナイト云フコトニモ一面ナル譯ナノデアリマス、其ノ邊ニ付キマシテ事務當局トノ間ニ十分連絡ガ保テルグラウト云フコトヲ、前刻モ申シマシタヤウナ次第デゴザイマスカラ、今日ノ醫療利用組合ノヤツデ居ルコト、又醫學ノ進歩、モツト農村ノコトニ力ヲ注ガネバナラスト云フ觀點、諸ノコトカラ考ヘマシテ私共保健衛生ノ立場カラ考ヘマスト、醫療利用組合ニ對シテ課税比ベテ殊ニ例外例ガ持ヘニクイト云フ法制ノ建前デ、恐ラク此ノ法案ガ出來テ居ルノデアラウト考ヘルノデアリマス、左様デアリマシテモ、課稅ノ爲ニ醫療ノ低下ヲ來ストノナイヤウナ意味ノ連絡ハ、十分ニ取り得ルモノグラウト、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○長野(長)委員 尚ホ此ノ醫療利用組合ハ國策ノ線ニ沿ヒマシテ、國民健康保險事業ヲ行ツテ居ルモノガ六十組合程アリマシテ、今後恐ラク是モ相當ニ増加スルコトグラウト思ヒマス、又大衆ノ醫療費ノ節約ト云フコトニ付テモ相當努力ヲ致シ、成績ヲ擧ゲテ居ル

ルノデアリマス、厚生大臣ノ御誠意ノアル御答辯ハ能ク諒承シマシタ、ドウゾ一ツ是ニ、現實ニナツテ居ルト思フノデアリマス、等ノコトモ御勘考戴キマシテ、事務當局ト十分御打合セニナリ、サウシテ何レ大藏省當局ニモ昨日ノ續キトシテ私ハ質問ヲ致シマシテ、何等カノ結論ヲ得ルダラウト思ヒマスカラ、只今御答辯ヲ戴キマシタ趣旨ニ於キマシテ十分御打合セヲ願ヒタイト存ジマス、尙ホ此ノ際ニ大臣ニ御尋申上ゲタイト思ヒマスルコトハ、先日モ此ノ委員會デ大分問題ニナツテ居リマシタガ、遊興飲食稅ニ關スル問題デアリマス、此ノ問題ニ付キマシテ、私ハ稍違ツタ方面カラ厚生大臣ノ御見解ヲ承ツテ、本稅ニ對スル檢討ノ重要ナル資料ニ致シタイト存ズルノデアリマス、此ノ遊興飲食稅ノ中ニ規定セラレテ居リマス所ノ第三條ノ第三項デアリマシタカ、命令ヲ以テ定ムル云々ト云フノハ、洋風ノ設備ヲ爲ス飲食店、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、所ガ私ハ思想問題ノ意味カラ之ヲ一ツ考ヘテ戴キタ伊思フノデアリマス、斯ウ云フコトハ先づ措キマシテ、全國ヲ一般的ニ考ヘルコトハイカヌ、是ガ不公平ノ事實トシテ、即チ時ニハ思想的ノ非常ナ毒素ニナルト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、厚生大臣ハ國民ノ物心兩面ニ於ケル生活安定ヲ圖ラレル重責ニ居ラレル方デアリマスカラ、斯ル問題ニ付テハ深刻ナル御研究ヲナサレテ居ルコトト思ヒマスルガ、本問題ニ對スル私ノ見解ハ誤ツテ居ルノデゴザイマセウカ、正シイノデゴザイマセウカ、先づ此ノ兩面何レカヲ御回答ヲ願ヒタイ

○吉田國務大臣 今度ノ法制ニ所謂洋風和風ト云フモノノ差別ガ何處ニアリマスカト云フコトニ付キマシテハ、私主管デアリマセヌカラ、其ノ方カラ御説明ガアツタコトト思フノデアリマスガ、大體ノ御心持トシテ、國民ノ娛樂ト言ヒマスカ、特ニ氣分ノ緩和ト申シマスルカ、サウ云フコトニ付テ非常窮屈過ギルヤウナ物ノ考ヘ方ヲスペキデナイデヤナカ、ヤハリ國民生活ノ間ニ相當動モスレバ不平不滿ニ驅ラレテ居ル、其ノ寬ギト云フモノガアツテ宜シイノデヤナカ、左様ナ點ハ私モ全然御同感ナシニア

者モ少クナイコトト思ヒマス、由來私ハ淺草邊リノ各種ノ興行物ナドニ致シマシテモ、低級ナモノダトカ、或ハ贅澤ナモノダトカ云マスカラ、只今御答辯ヲ戴キマシテハ健全ナ娛樂ト云フモノガ調整ノ藥デアリ、思想調整ノ道具デアル、斯ウ私ハ考ヘル、此ノ中ニ階級的ナモノ、階級的ナ思想ガ盛ラレタト假ニ致スナラバ、其ノ及ボス害毒ト云フモノハ絶大ナモノデアラウト私ハ考ヘル、詰リ洋風デナイスカレーラ食フト四錢幾ラ、約五錢ノ所デ飯ヲ食ツタ者ハ「ライスカレー」ツ食ペテモ三十錢、洋風ノ所ニ行ツテ、同ジ「ライスカレー」ヲ食フト四錢幾ラ、約五錢ノ稅金ヲ取ラレル、此ノ稅金ト云フモノハ四錢、五錢ノ稅金ヲ取ラレルノダト物質的ニ考ヘルコトハイカヌ、是ガ不公平ノ事實トシテ、即チ時ニハ思想的ノ非常ナ毒素ニナルト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、厚生大臣ハ國民ノ物心兩面ニ於ケル生活安定ヲ圖ラレル重責ニ居ラレル方デアリマスカラ、斯ル問題ニ付テハ深刻ナル御研究ヲナサレテ居ルコトト思ヒマスルガ、本問題ニ對スル私ノ見解ハ誤ツテ居ルノデゴザイマセウカ、正シイノデゴザイマセウカ、先づ此ノ兩面何レカヲ御回答ヲ願ヒタイ

○吉田國務大臣 今度ノ法制ニ所謂洋風和風ト云フモノノ差別ガ何處ニアリマスカト云フコトニ付キマシテハ、私主管デアリマセヌカラ、其ノ方カラ御説明ガアツタコトト思フノデアリマスガ、大體ノ御心持トシテ、國民ノ娛樂ト言ヒマスカ、特ニ氣分ノ緩和ト申シマスルカ、サウ云フコトニ付テ非常窮屈過ギルヤウナ物ノ考ヘ方ヲスペキデナイデヤナカ、ヤハリ國民生活ノ間ニ相當動モスレバ不平不滿ニ驅ラレテ居ル、其ノ寬ギト云フモノガアツテ宜シイノデヤナカ、左様ナ點ハ私モ全然御同感ナシニア

衆生活ノ實情ニ通ジテ居ラレルコトヲ知ツ  
テ居ル、又能ク呑込ンデ居ラレル、ダカラ  
ソコノ邊ヲアツサリト御答ヲ願ヒタク、斯  
ウ云フ譯ズ

## ○大矢政府委員

一寸誤解ガアルトイケマ  
セヌカラ、此ノ際私カラ一言申上ゲテ置キ  
タイト存ジマス、此ノ度「カフエー」「バ  
」等ニ對シテ課稅スルノハ、洋風ノ設備ヲシ  
テ居ルカラ課稅スルト云フノデハゴザイマ

セヌ、洋風ノ設備ヲシマシテモ、  
普通ノ洋食店、食堂ト云フヤウナモノニ付  
キマシテハ、ヤハリ免稅點ガアルノデゴザ

○吉田國務大臣 主管デアリマセヌデシタ  
爲ニ——多分今ノ主稅局長ノ仰シヤル通

リグラウト私モ思ツテ居リマシタガ、其ノ

點是マデノ地方稅等ニ於キマシテ都市ト差  
別致シテ居リマスノハ、サウ云フ標準デ差

爲ヌカラ、此ノ際私カラ一言申添ヘテ置キマ

ス、其ノ點ダケ一言申添ヘテ置キマス

ドモ、料亭ナドモ仲居ナドハ中々「サービス」  
ス」スルノデアリマス、或ハ赤坂ニ行キマ  
シテモ、築地ニ行キマシテモ、何處ニ行ツ  
テモ、殊ニ田舎ニ行ケバサウ云フ點ハ非常  
ニ多イト思フノデアリマス、要スルニ私ノ  
御尋スルノハナゼ差別ヲスルノカ、サウ云  
フ隔テヲシテ行ツタラ切りガアリマセヌ、  
ドチラモ「サービス」ヲシマスガ、ナゼ三圓  
ノ差別ヲスルカ、差別ヲナゼ撤廢シナイカ、  
斯ウ云フコトデアリマス、殊ニソレガ思想  
上ニ及ボス影響ハ莫大デナイカ、殊ニ又私  
ノ調査スル所デハ、料亭ト言ヒマスケレドモ、  
洋風施設ヲシタヤウナ所ニハ澤山ナ婦人モ  
居リマセウシ、ソレ等ハ能ク國防婦人等ト  
シテ銃後ノ奉仕ヲ中々ヤツテ居ル、地方的  
ニモ中々ヤツテ居ル、私ハ本當ノ所、サウ  
云フ所ニ出入シナイカラ知ラヌ、殊ニ出入  
シナイ方デアル、ダカラシテ實ハ餘リサウ  
云フコトハ直接ニハ聞カヌケレドモ、各方  
面カラ聞イテ能ク分ツテ居リマス、ソレカ  
ラ又人ガ色々申スカラ私モ多少調査ヲシテ  
見マシタガ、ソレニ勵イテ居ル人々ノ家族  
ガ相當ニ兵隊ニ出テ居ル、數字モ上ツテ居  
リマスケレドモ、是ハ或ハ差支ガアルカモ  
知レナイカラ茲ニ數字ヲ發表致シマセヌケ  
レドモ、相當ニソレ等ノ勵キニ依ツテ軍人  
トスルカト云フコトノ差別デアツタカト思  
フノデアリマス、或ハ其ノ適用ノ上ニ於キ  
マシテ、十分其ノ通りニナラカツタト云  
フヤウナ事實ガアルノカトモ想像スルノデ  
アリマスルガ、畢竟左様ナ標準デアリマス  
ルト、ヤハリ遊興本位ト云フモノニ對シテ、  
然ラザルモノニ比べマシテ稍ニ條件ガ細カ  
クナルト云フコトハ、已ムヲ得ナイフデハ  
ナイカト思ツテ居ルノデアリマス、尙ホ實  
例等ノ具體的ナコトニ付キマシテ承リマス  
レバ、其ノ實例ニ付キマシテ又其ノ考ヲ申  
上ゲサシテ戴イテモ宜シイノデアリマス

（立川委員長代理退席、委員長署席）  
　　サウシテ斯様ナ國民生活ハ極メテ平穩デ  
アルガ、此ノ平凡ノ間カラ食入ル所ノ思想  
的影響程恐ルベキモノハナイ、是ハ私ガ申  
上ダナイデモ若イ少壯有爲ノ官吏諸君デア  
レバ分ツテ居ル、東西古今ノ歴史ヲ御研究  
ニナルナラバ、如何ナル所カラ國民ノ思想  
ガ廢穢シタカ分ルノデアルカラ、私ガ茲ニ  
申上ガルノハ、モウ少シ斯様ナ問題ヲ深刻  
ニ御研究願ツテ、單ニ課稅上ノ技術デアル  
カラシテ差支ナイ、彼此レ變更スルノハ估券  
ハ係ハルト云フガ如キ、形式ニ囚ハレルコ  
トノナイヤウニ、是カラ至急其ノ實態ニ付  
テノ御調査ヲシテ戴キタイト思フガ、主稅  
局長ノ御考ハ如何デアリマセウカ

　　○大矢政府委員 是ハ前ニモ御答シテ置キ  
マシタ通り、前期議會ニ於キマシテ遊興飲  
食稅ガ衆議院ノ委員會ニ於テ審議セラレテ  
居る場合ニ、「カフエー」「バ」ノ如キハ今  
日ノ狀況カラ見テ免稅點ナシニ課稅スペキ  
必要ガアルト云フコトガ強ク唱ヘラレタノ  
デアリマス、其ノ後私共此ノ遊興飲食稅施  
行ノ實績ニ鑑ミ、更ニ議會ノ要望等ニモ鑑  
問題デアリマス、ソレハ今回ノ課稅ノ對象  
トナツテ居リマスルモノノ中ニ、特ニ國家  
トシテ重視セラレテ居ルモノニ、鑽業問題  
ナルモノガアルノデアリマス、此ノ石油、  
金、銅トカ云フ方面、ソレカラ石油ノ方面  
ニ付テ先づ私ハ御尋シタイト思ヒマスルガ、  
現ニ石油ニ付キマシテハ此ノ三年來私ハ石

油ノ探査、保進運動ヲ致シテ來タノデゴザイ  
マスルガ、ドウモ政府ハ人ト物、即チ鐵ト  
人ガ足ラヌ、鐵ノ問題ハ大體钢管會社其ノ  
他カラノ材料ニ依ツテ納得シマシタケレド  
モ、人ガ足ラヌト云フコトデアリマシタ、  
併シ私共ハ其ノ人ハ十分ニアルト云フコト  
ヲ人ヲ派シテ個人々々ノ戸籍調査マデシテ  
之ヲ取上げテ來タ譯デアリマスガ、恐ラク  
厚生省トシテモ重大問題デアルカラ調査ヲ  
セラレタコト思フノデアリマスガ、如何  
ニアリマスカ

○吉田國務大臣 産業ヲ必要トスル今日ノ  
状態ニ於テ、産業ニ必要トスル勞務ノ充足  
ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、平常時  
ヨリ非常ニ窮屈デアリマスコトハ御承知ノ  
通リノ實情デゴザイマス、之ニ付キマシテ  
ハ必要産業ニ對スル勞務ノ動員等モ計畫セ  
ラレテ居ルノデアリマスガ、大體ニ於キマ  
シテ今マデ考ヘテ居ツタヤウナ考ヘ方ヲス  
レバ、非常ニ不足シテ居ルノデアリマスガ、  
併シ何トシテモ戰時下ノ需要ヲ充足スル  
ダケノ人ヲ遺縁リシナケレバナラヌ、左様  
ナ立場ニ立ツテ居ルノデアリマスノデ、農  
村ニ於ケル是ノ勞務ノ引受等ニ付キマシ  
テモ、モウナイノダト云フ説モアルノデア  
リマスガ、必ズシモ私共何處ニモナイトハ  
考ヘナイノデアリマス、農村ノ農業經營ニ  
於キマシテハ、斯ウ云フ時代ニハ出來ルダ  
ケ繩合セテ、少數ノ人間ヲ以テ十分ノ效果  
ヲ擧ゲルヤウニ、是ハ昨年ノ米作ニ於キ  
シテモ、隨分地方々々ニ依ツテハ新工夫ニ  
依ル共同耕作等ヲヤツテ吳レタコトデアリ  
マスカラ、何トカ工面致シマシテ、重要資  
源ニ關シマスル産業ニ付キマシテハ勞務ノ  
供給ヲ致シタイ、又致セバ不満足ナガラモ

○長野(長)委員 只今ノ御答辯ハ、實ハ少シ  
私ノ御尋ヲ誤解シテ居ラレルカト存ジマス  
ガ、是ハ單ナル勞働者デハナインデアリマ  
シテ、石油ヲ掘出ス所ノ技術員デアリマス、  
其ノ技術員ノ數モ澤山居ナイノデアリマス、  
是ハ必ズシモ農業ダケデナク、各方面ノ仕  
事ニ現在轉業致シテ居リマス、詰リソレノ  
詳細ナル具體的ノ調査ガナケレバナラヌ、  
ソレガ出來テ居ルノデアリマセウカ  
○吉田國務大臣 完全デアルトハ必ズシモ  
言ヘナイカモ知レマセヌガ、必要缺クベカ  
ラザル技術員ノ調査ト云フコトニ付キマシ  
テハ御承知ノ通リニ總動員關係ヲ以て調べ  
ルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、相當  
數ノ調ハ致シテ居ルノデアリマシタナラ  
バ、是ハ農村カラ單純ナ勞務ヲ提供スル人  
ヲ集メルト云フヤウナコトデハ間ニ合ハナ  
イノデアリマス、一定ノ原材料ト云フモノ  
ガ限ラレテ居ルノデアリマスカラ、ソレ等  
ニ付キマシテノ調ニ應ジマシテ、先づドウ  
シテモサウ云フ人ハ供給シニクイト云フヤ  
ウナ時ニハ、徵用ト云フコトマデシナケレ  
バナラヌ、今日徵用ハ極ク一部ノ現地ノ人  
ニ限ラレテ實行セラレテ居リマスガ、内地  
方面ニ於テモ出來ルナラバ、徵用ト云フコ  
トデナク、進ンデ當人ガコチラカラ効クヤ  
ウナ途ガ宜カラウカト思ツテ居ルノデアリ  
マス、此ノ調ハ今日致シテ居リマスル程度ノ  
調デ不十分デアリマスレバ、更ニ繰返シテ  
左様ニ方面ノ調査ト云フモノモ十分ニ用意

○長野(長)委員 此ノ調査ハ少クトモ一一種  
ノ戸籍調ノ如ク、何村ノ某ト云フ所マデハ  
ツキリ致シマシテ、其ノ年齢、現職、健康  
状態マデ明カデナケレバナラヌト思ヒマス、  
殊ニ我國ノ石油資源ノ豊富ナルコトハ世界  
有數ノモノデアリマス、唯之ヲ開發スルコ  
トノ困難ナルコトハ、物及ビ人ノ問題ニア  
ルト云フコトデ、政府ノ豫算計上モ非常ニ  
阻マレテ居ル次第アリマス、就キマシテハ  
ハ、厚生省トセラレマシテハ、此ノ際徹查ヲ  
的ニ東北地方ヲ中心ニ、全國ニ散バツテ居  
リマスル所ノ石油採掘ニ關スル技術員ヲ、  
ソレハノ技能ノ種別的ニ、速ニ御調査ヲ願ヒタ  
願ヒタイト思ヒマス、サウシテ此ノ際採掘  
的ノ大採掘ニ邁進ヲスル必要ガアルト存ジ  
マス、是ハ希望トシテ申上ゲテ置キマス  
尙ホ茲ニ特ニ厚生大臣ノ御考慮ヲ願ヒタ  
イト思ヒマスルコトハ、最近殷賑産業ニ關  
係ノ少い極メテ僻遠ノ地方ノ農山村ノ現象  
デアリマスガ、二ツノ郡ニ於キマシテ三十二  
箇町村モ包容シテ居ル、其ノ町村ニ於テ御  
ガ山トナツタモノガ五十七町歩、ソレカラ  
地主ニ對シテ小作地ガ返還セラレタモノガ  
二百九十三町歩、ソレカラ飼料不足ノ爲ニ  
牛ガ販賣セラレタモノガ六百七十五頭、匪  
ガ七十六頭、鶏ガ三万七千羽、一町村平均  
一千羽、此ノ家畜ト云フモノハ全ク我ガ子  
ノ次ニ可愛イモノトシテ愛育シテ居ルモノ  
デアリマス、是ガ飼料不足ノ爲ニ斯ノ如ク  
リマス、一面ニ於テハ是ハ單ニ飼料ダケデ  
是ハ商工大臣モ御参考ニ願ヒタイト思ヒマ  
スルガ、斯ウ云フ状況ニナツテ居ルノデア  
リマス、一面ニ於テハ是ハ單ニ飼料ダケデ  
ハナク、人手ガ足ラヌコトニナツテ居リマス

ス、ソコデ此ノ山ニナツテ居ルノハドウカト云フト、山ノ段々ニナツテ居ル水田ノ如キガ杉山ニ變ツテ行ツテ居ル、此ノ實狀ハ何ヲ物語ルカ、私ハ是ニ於テマダ獨斷ニ陥リタクアリマセヌカラ斷言ハ致シマセヌケレドモ、我國ノ農村ニ於ケル勞働力ト云フモノニ付テ相當考ヘナクテハナラヌ、一面ニ於テハ我國ノ拓殖事業、他面ニ於テハ農村勞働ノ都市集中、此ノ問題ニ關聯シテ考ヘナクテハナラヌコトト思ヒマス、ソコデ厚生省トセラレマシテ、今後勞務者ヲ御集メニナリ、又集メルコトニ付テノ指導援助ヲセラレルト云フ場合ニ於テ、先づ私ハ我が日本ノ今日ノ農村ガ勞働者ニ向シテ如何ナル立場ニアルカ、此ノ問題ニ付テモ考ヘトシテノ深刻ナル御調査ヲナサル必要ガアルト思ヒマス、決シテ是ハ農林省一ツノ問題デハナイ、同時ニ私ハ拓殖事業ニ付テモ考ヘナケレバナラヌト思フ、私ハ多年我國ノ農村ノ勞働力ト云フモノニ付テハ、徒ニ是ハ農村ニ人口ガ密集シテ居ルカラ、移植及ビ都會ノ工場集中ト云フコトガ良イカト云フコトニ付テハ、疑問ヲ持ツテ居ル一人デアルケレドモ、今日ハ昭々乎トシテ農村勞働ノ都市集中、農村勞働ノ奪取ト云フコトハ、是ハ相當深刻ニ反省シテ見ナケレバナラナイコトニ相成ツテ來テ居ルノデアリマス、就テハ厚生省トセラレマシテハ、是ヨリ勞働ノ給源地タル農村ニ對シテ、農村ノ人口ノ増加率、農村ノ健康狀態、農村ノ現在ノ勞働能力、男女別、及び勞働者ノ能率、農業ニ對スル適否、工業ニ對スル適否、動力、機械畜力等ノ問題ト云フガ如キ専門的ナル調査ヲ根本的ニナサレル必要ガアリハシナリカト思フノデアリマス、之ニ對シテ如何

ナル御考ヲ持タル力  
○告田國務大臣 御指摘ニナリマシタ點ハ  
洵ニ重要ナ且ツ深刻ナ問題デアルト存ジマス、我國ノ國民ガ都市ト農村ト如何ナル分  
布デ、ドウ云フ効キヲソレバノ持場々々  
デ現ハスベキカト云フコトハ、今日與ヘラ  
レテ居リマス非常ニ大切な問題デアルト思  
フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ關聯致シマ  
シテノ専門的ノ研究ト云フモノハ、今マデ  
ニ出来上ツテ居ルト申セナイ事情モアリマ  
スル爲ニ、人口問題研究所或ハ厚生科學研  
究所、何レモ今回ノ豫算ニ於キマシテ若干ノ  
費用ノ御協賛ヲ願ツテ居ルノデアリマス、  
ソレ等ニ依リマシテ經濟的ノ方面カラ、又  
自然科學的ナ方面カラ、有ユル研究ヲ深メ  
研究ダケデ片付ケニクトイト仰シヤルヤウナ  
實例モアルコトデアリマシテ、折角努力ヲ續ケ  
テ参りタイト云フコトデ、折角努力ヲ續ケ  
テ居ル所デアリマス、一概ニ此ノ問題ヲ唯  
研究ダケデ片付ケニクトイト仰シヤルヤウナ  
ノ如キハ勞働者ガナイ爲ニ仕事が出來ナイ  
ト云フコトノ度々アルコトヲ聞イテ居ル、  
茲ニ私ハ厚生當局トシテハ文部當局トモ御  
打合セノ上デ、此ノ青年教育ノ關係ヲモ一  
ツ十分御考ニナルト共ニ、農村ノ餘暇ト鑛  
山業トノ關係等ニ付テモ十分ナル調査ヲ進  
メラレルコトガ必要デハナイカ、要スルニ  
是カデノ厚生行政ト云フモノハ相當專門的  
ニ、具體的ニ入ラナイト云フト、モウ漢  
然タル勞働者ノ愛護トカ云フヤウナコトデ  
ハイケマセヌ、相當具體的ニ、親切ニ、仕  
事仕事ニ入ツテ、微ニ入り細フ穿ツ的ニ指  
導ヲセラレルト云フコトガナケレバ、結局  
概念ヲ弄ブニ過ギナイコトニナリハシナイ  
コト考ヘルノデアリマス、大臣ノ御決心ハ  
如何デゴザイマセウカ  
○長野(長)委員 ソレカラ鑛山勞働者ハ從  
來渡リ者ト云ヒマスルカ、他カラ段々渡ツ  
テ來ル人間ヲ使ツテ居ル傾向ガアツタノデ  
アリマス、ケレドモ、實際良イ成績ヲ擧ゲ  
活用スル、或ハ女子供ヲ使フト云フヤウナ  
コトガ、事實勞質モ安イシ、成績ガ舉ル、殊  
ニ金鑛業ノ如キハ、其ノ生產費ノ中デモ特  
ニ勞質ガ重キヲ成スノデアリマス、勞質ヲ

安クスルト云フノガ其ノ要點デアツテ、金  
ト云フコトガ岐レテ居ルノデアリマス、ソ  
レデ其ノ間ノ關係ガ年齡ニ關係シテ來ル、  
男女別ニ關係シテ來ル、ソコデ餘り勞質ノ  
高イ大人ヨリモ比較的ニ若イ者ガ宜イト云  
フコトハ大體ノ定則ニナツテ居ルヤウデア  
リマス、然ルニ最近青年教育ノ方ニ於テ、  
今日モノト云フノデ、其ノ爲ニ勤勞時間  
が非常ニ潰サレル虞ガアル、是等モ御考ニ  
ナラナイト、稅金ハ責メ立テラレル、一面  
ニ於テハ能率ハ上ラヌ、殊ニ或ル金山銅山  
ノ如キハ勞働者ガナイ爲ニ仕事が出來ナイ  
ト云フコトノ度々アルコトヲ聞イテ居ル、  
茲ニ私ハ厚生當局トシテハ文部當局トモ御  
打合セノ上デ、此ノ青年教育ノ關係ヲモ一  
ツ十分御考ニナルト共ニ、農村ノ餘暇ト鑛  
山業トノ關係等ニ付テモ十分ナル調査ヲ進  
メラレルコトガ必要デハナイカ、要スルニ  
是カデノ厚生行政ト云フモノハ相當專門的  
ニ、具體的ニ入ラナイト云フト、モウ漢  
然タル勞働者ノ愛護トカ云フヤウナコトデ  
ハイケマセヌ、相當具體的ニ、親切ニ、仕  
事仕事ニ入ツテ、微ニ入り細フ穿ツ的ニ指  
導ヲセラレルト云フコトガナケレバ、結局  
概念ヲ弄ブニ過ギナイコトニナリハシナイ  
コト考ヘルノデアリマス、大臣ノ御決心ハ  
如何デゴザイマセウカ  
○告田國務大臣 最後ニ結論トシテ仰セラ  
レマシタ點ハ洵ニ御同感デアリマス、御指  
摘ニナリマシタ點ハ洵ニ御同感デアリマス、  
係ト云フコトニ付キマシテモ、唯概念的ニ  
バカリハ考ヘラレマイト思フノデアリマス、  
外ノ資材ニ付テモ大體押ナベテ左様デア

産業青年——學生デナイ産業青年ニ、如何  
ニシテ青年トシテノ教育ヲ施スベキカト云  
フコトノ問題ナノデアリマシテ、其ノ間ノ  
調和ト云フコトハ十分ニ考ヘネバナラナイ  
ト思ヒマス、ソレハ抽象論的ニハ片付ケラ  
レナイコトデアリマシテ、御話ノヤウニ具  
體的ニ處理セネバナラナイコトデアリマス、  
能ク實情ニ付キマシテ研究ヲ遂ゲマシテ、  
教育モ大切デアリマシ、產業モ大切ナノ  
デアリマシテ、兩者ノ間ニドウ云フ調和ヲ  
見出スカト云フコトニ付キマシテハ、十分  
検討ヲサシテ戴キ、最善ノ工夫ヲサシテ戴  
キタイト思フノデアリマス  
○長野(長)委員 厚生大臣ニハモウ宜シウ  
ゴザイマス、ドウモ有難ウゴザイマシタ  
次ニ商工大臣ニ御尋シタインノデアリマス  
ルガ、唯一點デアリマス、ソレハ農業ニ用  
ヒマスル所ノ資材デアツテ、肥料其ノ他各  
種ノ農具等ニ要スル材料、藥品ト云フヤウ  
ナモノガアルノデアリマス、ソコデはハ多  
少農林當局ニモ關係スルコトデアリマスル  
ケレドモ、農林大臣モ一緒ニオ出デ駆除クコ  
トが出來マセヌカラ、農林大臣ニ對シテハ  
何レ又別ニ御願フシテ、商工大臣ニ御聽キ  
ヲ願ヒマス、唯商工大臣トシテハ御所管ノ  
點ノミヲ御答戴イテモ宜シウゴザイマス  
シ、又全般的ニ御答戴イテモ宜シウゴザ  
イマス、低物價政策ト生產擴充ノ矛盾及び  
其ノ打開策ニ於ケル肥料其ノ他資材ノ地位  
ト云フ問題ナノデアリマス、詰リ肥料ト云  
フモノニモウ少し政府ガ力ヲ加ヘルコトニ  
依ツテ、低物價政策ト生產擴充トノ矛盾ヲ  
解消シテ、普通ノ手入ヲ致シマシテ、多收穫ヲ致シマ  
シアリマス、現ニ最近ニ於ケル最モ確ナル  
成績ヲ見マシテモ、肥料ヲウント施シテ、  
丁寧ニ手入ヲ致シマシテ、多收穫ヲ致シマ  
シタ場合ニハ、米一石當リノ生產費ガ二十  
七圓八十七錢モ掛ツテ居ル、尤モ是ハマダ

ラレル御考ハナイカト云フコトデアリマス  
我國ノ農業ハ大體收穫ノ二分ノ一ガ小作  
料ニナツテ居リマス、サウシテ辛ウジテ再  
生過程ヲ持續致シテ居リマス、若シ假ニ  
旱魃雨風ト云フヤウナ災害ガアリマシタ場  
合ハ、全ク自分ノ家ノ勞働ノ分マデ犠牲ニ  
シテシマツテ、サウシテ殆ド取ル物ガナイ  
ト云フヤウナ窮境ニ陥ツテ居ル有様デアリ  
マス、隨テ平素ノ農業經營ハ極メテ集約的  
デ、手仕事ニナツテ居ル、所謂手勞働ニナ  
ツテ居ルノデアリマス、而シテ手仕事デア  
ルガ、同時ニ肥料ヲウント施ス、肥料ヲ施  
スコトニ依ツテ收穫ヲ増スト云フコトデ、  
収益モ增加スルシ、我ガ日本ノ農業ハ生キ  
テ居ルノデアリマス、サウシテ土地ノ改良  
デアルトカ、耕地ノ整理デアルトカ、家畜  
ヲ買込ムトカ、開墾スルトカ云フコトハ普  
通ノ農家デハ殆ド出來ナイノデアリマス、  
全ク技術的ニモ、經濟的ニモ肥料ト云フコ  
トニ賴ツテ居ル、ソレカラ出來ルダケ親切  
ニ手入ヲスルト云フコトニ賴ツテ居ル、此  
ノニツノコトデ我ガ日本ノ國ノ農業ハ生キ  
トニ賴ツテ居ル、ソレサヘヤレバマダ中々極  
限ニハ行キ著キマセヌ、マダ何ボデモ增收  
が出來ル——何ボデモト云フコトハ言ヘマ  
セヌケレドモ、相當ノ增收ガ出來ル、又相  
當ニ利益ヲ擧ゲルコトガ出來ルト云フ有様  
デアリマス、現ニ最近ニ於ケル最モ確ナル  
成績ヲ見マシテモ、肥料ヲウント施シテ、  
丁寧ニ手入ヲ致シマシテ、多收穫ヲ致シマ  
シタ場合ニハ、米一石當リノ生產費ガ二十  
七圓八十七錢モ掛ツテ居ル、尤モ是ハマダ

ウナ有様デアル、サウシテ反當収益ガ多收穫ノ場合ニハ約四十八圓、普通作ノ場合ニハ約四十五圓、斯ウ云フヤウナ有様デアリマス、分リ易ク申上げルト、詰リ肥料ヲウント施セバ隨テ安イモノガ澤山出來ル、サウ云フコトニ相成ツテ居リマス、デアルカラ此ノ際我國ノ農業ヲ、米ニシテモ、麥ニシテモ、食糧ヲ安ク澤山増産シヨウト云フニハ、肥料ヲウント施スト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ害蟲驅除ノ藥ニシテモ又色々ノ農具ニシマシテモ、各種ノ肥料以外ノ材料ニシマシテモ、安ク澤山、十分ニ供給シテヤリサヘスレバ、我國ノ米、麥其ノ他ノ農產物ハ、安ク澤山作リ上ゲテ、而モ容易ニ其ノ極限ニ達シナイ、ヤレバヤル程其ノ收益ハ舉ツテ行ク、分ク易ク申上ゲルト左様ナ譯デアル、デアリマスカラサト云フコトニ相成ルノデアル、是レ以上ハ理リ、生產費ガ隨テ安クナリ、有ユル物資ハ安ク生産シ、生產擴充ヲスルコトガ出來ルト云フコトニ相成ルノデアル、是レ以上ハ理リ、生産費ガ隨テ安クナリ、有ユル物資ハキマシテハ、滿洲トノ關係、朝鮮トノ關係、其ノ他各方面ノ貿易關係ニ於キマシテモ、加里肥料ノ問題、磷酸肥料ノ供給ノ問題、斯様ナ問題ニ付キマシテモ、肥料及ビ肥料原料ノ供給ダケハ徹底的ニヤルト云フ御心構ヘガ、此ノ生產擴充ノ上ニ於テ最モ必要ナコトデアル、此ノ意味ニ於テ私ハ商工大臣ニ肥料問題ニ付デ、以上ノ希望ヲ申上心構ヘガ、此ノ生產擴充ノ上ニ於テ最モ必要ナコトデアル、此ノ意味ニ於テ私ハ商工大臣ニ肥料問題ニ付デ、以上ノ希望ヲ申上

シテ、肥料ヲコトニ相成ツテ居リマス、デアルカラ之ニ電力ノ供給ヲシテ、此ノ全能力ヲ發揮スルコトガ出來ナイト云フヤウナ状況ニ今日アルノデアリマス、ソレデ設備ヲ持ツテ居リナガラ、電力不足ノ爲ニシテモ此ノ肥料ヲモ少シ供給ヲ多クシナケレバナラナイ、斯ウ云フ觀點カラ段々研究ヲ致シテ見マスト、肥料會社ガ十分ナ多クヤレバ農產物ガ多ク出ルノダカラ、ドウシテモ此ノ肥料ヲモ少シ供給ヲ多クシナケレバナラナイ、斯ウ云フ觀點カラ段々

モ豊富ニ良質ノ物ガ供給セラレルヤウニ、シテ極メテ率直簡明ナ御回答ヲ聽キタイノデアリマス、○藤原國務大臣 長野君ノ肥料ニ付テノ御質問ハ、私ハ農業ノ事ニ付テハ實ハ餘り知識ヲ持ツテ居リマセヌケレドモ、自分ガ農家ノ生レデアリマスシ、子供ノ時カラヤツテ居ルノデ、農業ノコトモ満更知ラナイ人間デハアリマセス、今日マデ商工業ニ多年從事致シマシタシ、又自分が肥料ノ製造ニ十數年間從事致シマシタリ、旁、個人的ニ色々ノ経験ヲ持ツテ居リマスカラ、只今御述ニナリマシタコトハ全ク御尤モト存ジテ居リマス、ソレデアリマシテ、今日我國ノ現状ハ、色々農林大臣ノ御説等モ承ツテ居ルノデアリマシテ、肥料ノ中ニ一番數量ノ澤山ニ入用ナモノハ、御承知ノ通り硫酸アンモニア」デアツテ、他ノ肥料モ缺乏シテ居リマスケレドモ、今日はガ一番缺乏シテ居ル、硫酸「アンモニア」ノ如キ窒素肥料ガ一番缺乏シテ居ル状態デアリマシテ、之ヲ何トデモシテ打開シナケレバナラナイ、今御説ノ通リニ肥料ガ即チ農產物デアルカラ、肥料ヲ多クヤレバ農產物ガ多ク出ルノダカラ、ドウシテモ此ノ肥料ヲモ少シ供給ヲ多クシテモ、其ノ他純綿ノ製品ニ致シマシテモ、何トデモシテ出来ルダケノ努力ヲ致シマシテ、是ハドニ付キマシテモ、段々調べテ見マスト、肥料會社ガ十分ナ多クヤレバ農產物ガ多ク出ルノダカラ、ドウシテモ此ノ肥料ヲモ少シ供給ヲ多クシテモ、其ノ他純綿ノ製品ニ致シマシテモ、何トデモシテ出来ルダケノ努力ヲ致シマシテ、農業資材ニ付テハ農家ノ不自由ヲ、全然無クスルト云フコトハ今日ノ場合デアリマスカラシテ不可能デアラウト存ジマスガ、是利ヲ圖リタイ、斯ウ云フ方針ヲ以テ總テノルダケ闇取引ノ行ハレナイヤウニ、安ク而

モ豊富ニ良質ノ物ガ供給セラレルヤウニ、シテ極メテ率直簡明ナ御回答ヲ聽キタイノデアリマス、○北委員農業資材ノ問題ガ、今長野サンスルト云フコトニナリマスレバ、生産業者モソレデ大變息ガ吐ケマス、農民ノ方モソレ喜ブ、斯ウ云フヤウナ今日ノ現状デアリマスカラ、將來ニ於キマシテハ我國ノ現状カラ行キマシタナラバ、益、肥料ノ需要ガ殖エルト思ヒマスカラ、今日ノ設備デハ到底追付カナシ、又ソレニ對シテハ農林省ニ於テモ色々御考ガアツテ、將來ノコトハ御研究ニナツテ居ルト存ジマスケレドモ、現在ニ於テハ此ノ生產設備ヲ「フル」ニ動カシテ、サウシテ肥料ノ供給ヲ多クスルト云フコトガ何ヨリ必要デアル、斯ウ云フ考ヲ以チマシテ、是非是ハ實行政シタイ、ソレニハ第一ニ石炭ノ供給ヲ殖シテ、先般ノ如ク石炭ノ爲ニ電力ノ制限ヲシナケレバナラスト云フヤウナ事態ノ起ラヌヤウニシテ、モニア」デアツテ、他ノ肥料モ缺乏シテ居ル、硫酸アンモニア」ノ如キ窒素肥料ガ一番缺乏シテ居ル状態デアリマシテ、之ヲ何トデモシテ打開シナケレバナラナイ、今御説ノ通リニ肥料ガ即チ農產物デアルカラ、肥料ヲ多クヤレバナラナイ、斯ウ云フ小サイ事ニ氣ガ着イテ居ラヌノデハナイカ、是ハ恐ラク商工省ニ於テモハソンナ不自由ヲ掛ケナクテモ出来ルノデハナイカ、是ハ恐ラク商工省ニ於テモサウ云フ小サイ事ニ氣ガ着イテ居ラヌノデハナイカ、斯ウ思ハレル、申スマデモナク今繼ギハギヲシテ、農家ガ着物ヲ着テ行カナケレバナラヌ時ニ、ソレガ無イノデスカラ、騒グノガ當然ダト思フ、丁度商工大臣オ居デニナリマスカラ、此ノ實情ヲ懇ヘマシテ、何トカ善處シテ戴キマスルヤウニ御願シタイ

○藤原國務大臣 只今御述ニナリマシタコトハ、御尤モデアリマシテ、商工省ニ於キマシテモソレニ付テ色々施設ヲ致シテ居リマスカラ、詳細物價局次長カラ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス

○濱野委員 關聯事項デ一寸質問致シマス、商工大臣ニ御注意ヲ願ヒタイトノデスガ、是ハ一見低物價政策ト矛盾シタコトノヤウニ見エマスガ、商工省ハ所謂低物價政策ニ沿ハ、物價取締規則ヲバ發布サレテ、サウシテ物品ヲバ指定サレ、物價ヲバ指定サレ

ヲバ指定サレタ、サウ云フ物ハ宜イノデス  
ケレドモ、アノ指定サレテ居ル物ノ中ニハ、  
工場ニ於テ生産ノ資料タルベキ、或ハ原料  
タルベキ物ガアル、所ガ工場ノ方デハ必要  
ナモノデスカラ、幾ラデモ金ヲ出シテ、サ  
ウシテ公定相場ヲ破ツテ買フ、所ガ販賣價  
格ダケヲ決メテ居ルモノデスカラ、買フ方  
ニハ罪ガナクシテ、賣ル者ダケガ皆處罰サレ  
テ居リマス、元商工局長サンモ居ラレマス  
ガ、一例ヲ申シマスト、護謨ノ如キサウデ  
ス、屑護謨ガサウデス、昭和十二年ニハ九  
千万圓近ク輸入シテ居リマシタ護謨ノ數量  
ガ、昭和十三年ニハ五千万圓シカ輸入サレ  
テ居ラナイ、アトノ四千万圓ノ國內ノ護謨  
ノ不足ハドウスルカ、ト云フナラバ、所謂國  
内デハ屑護謨ヲ集ヌルヨリ外ナイ、ソレデ  
一例ヲ申上ゲマスト、屑護謨ハ一貫目十七  
錢、ソレヲ再生護謨ノ資料ニスル爲ニ、巨  
大ナル資本ヲ有シテ居ル護謨ノ工場ガ争ツ  
テ護謨ヲ高ク買フ、買ツタ方ノ護謨ノ工場  
ハチツトモ處罰サレナイデ、賣ツタ方ノ早  
ク言ヘバ屑屋、寄セ屋ノ親玉ガ悉ク處罰サ  
レテ、今何百人ト云フ數ニナツテ居ル、所  
ガ商工省ニ陳情ノ結果ハドウナツカト云  
フト、一貫目十七錢デアツタモノガ三十五  
錢デ、前ヨリ高ク上ゲテ貴ツタ、サウシテ賣  
ル方ダケデナク買フ方デモ處罰サレルコト  
ニナツタ、是ハ民ノ意ヲ容レタモノデアル  
カラ宣イガ、改正以前ノ處罰サレタ者ヲ司  
法省ハドウ扱ツテ居ルカト云フト、私ハ辯  
護士デ斯ウ云フコトニ關係シテ居リマスカ  
ラ甚ダ言ヒニクイガ、懲役五箇月ニナツタ  
者ガアル、是ハ大阪、神戸、奈良、名古屋  
等ニモ澤山アル、サウシテソレガ三百人位

アルト思フ、商工省ハ賣ル方ダケヲ處罰ス  
ヲ決メテ居ルカラ、買フ方ハ資料トシテド  
ンドン高ク買集メタ、其ノ爲ニドウナツタ  
カト云フト無辜ノ民ヲ苦シヌテ居ル、之ニ  
對シテ政府ハ責任ヲ感ゼラレルカドウカ、  
商工大臣ハ製紙會社ノ社長デアルカラ申シ  
ニクイケレドモ、製紙ノ原料ガサウデス、  
製紙ノ原料ト云フモノハ公定價格ヲ決メナ  
イデモ、商工大臣ハ物價取締規則ニ依ツテ、  
昭和十三年ノ七月三十一日ノ日附ダケヲ指  
定シテ、個々ノ商店ニ於ケル値差シダケヲ  
標準ニシテ、ソレヨリ高ク賣ツタ者ハ處罰  
サレルコトニナツテ居リマス、詳シクハ申  
シマセヌガ、個々ノ商店ハ幾ラカ市場價格  
ヨリ「ブラックチエーシヨン」ガアルト思ヒマス  
ケレドモ、巨大ナル資本ヲ有スル製紙會社  
ハ争ツテ紙屑ヲ買フ、ソレダケドシヽ高  
ク買フ會社ガ處罰サレナイデ、賣ル方ノ寄  
セ屋ノ親玉ガ處罰サレテ居ル、護謄屋ノ方  
ハ團結シテ陳情シタカラ、其ノ陳情ヲ容レ  
テ賣ル方モ買フ方モ處罰サレルコトニナツ  
タシ、オマケニ十七錢ノモノガ三十五錢ニ  
ナツタカラ、闇取引ヲスル機會ガ少クナツ  
タ、所ガ紙屑ハ其ノ儘ニナツテ居ツテドン  
ドン處罰サレテ居ルシ、大キナ製紙會社ハ  
絶對必要ナ資料デスカラ、ドンヽ高ク買  
フ、恰度是ハ陥穽ヲ置イテ、高ク買ツテヤル  
ト言ツテ買フ、所ガパタクト落サレタ者ハ弱  
イ方ノ紙屑屋デアル、是ハ何トカシテ救ツ  
テヤラナケレバナラヌ、私ハ此ノ二ツノ問  
題ニ付テ伺ヒタイ、即チ今申上ゲマシタ機  
構ヲ改正シタノハ民ノ意ヲ容レテヤツタカ  
ラ宜シイガ、其ノ前ニ罪ニ掛ツテ處罰セラ  
レヨウトシテ居ルノヲドウスルカ、商工省

臺所デ使フ品物ト、古物デ是カラ生産ノ資  
料ニナルモノトノ區別ヲ知ラヌデ決メテシ  
マツタ、其ノ爲ニ護謨ヤ紙屑ヲドンヽ＼高  
ク賣ツテ處罰サレタモノヲ、政府ハドウ處  
置シヨウトスルノカ、此ノ處分ヲドウスル  
ノカ、改正以前ト云フモノハ現ニ五箇月、  
六箇月ト云フ處罰ヲサレテ今日上告申ノモ  
ノモアルガ、此ノ責任ヲドウシテ果サウト  
スルカ、是ガ一點、ソレカラ其ノ儘捨テラ  
レテ居ル紙屑ヲ、賣ル方ハ處罰サレテ買フ  
方ハ處罰サレナイ、斯ウ云フ仕組ヲドウ云  
フ風ニ改正サレルカ、此ノ儘ニシテ置カラ  
ル積リデアルカ、大キナ會社ハ必要テスカ  
ラドンヽ＼高ク買ツテ、紙ガ闇取引デ市場  
ニ出テ居ル、マサカ王子製紙ガ買ツタモノ  
ハ、サウ云フ闇取引デハ買ツテ居ラナイデ  
セウガ、サウスルト紙ト云フモノハ高ク買  
ツテモ、十分ニリ合フモノダト云フコトヲ  
茲ニ示シテ居ル、是ハ本當ニ細カイ屑屋ガ  
泣イテ居リマスカラ、ドウゾ責任ヲ持ツテ  
御返事願ヒタイト思ヒマス

從來所謂脣屋ト云フモノガ非常ニ經濟的ナ  
力ガ弱イ爲ニ、色々ナ不利ナ状況ニ立ツタ  
ト云フヤウナコトハ承知致シテ居リマス、  
既ニ一種ノ組合ヲ作ラセマシテ、其處デ集  
荷ヲ爲シテ、サウシテ賣ツテ行クト云フ方  
法ヲ講ジテ居リマス、紙屑ニ付キマシテモ  
實ハ最近殆ド大都市ニ於テハ、サウ云フ組  
合デ纏メマシテ、サウシテ製紙會社ノ方面  
ニ賣ルト云フ方法ヲ採ラシテ居リマス、唯  
組合ノ結成ノ方法等ニ付キマシテ、各方面  
カラ色々ノ御意見ガアリ、又問題ノ點ガア  
ルト云フコトモ承知致シテ居リマス、ソレ  
カラ賣手ダケガ處罰サレテ買手ガ處罰サレ  
ナイト云フ點ハ、實ハ昨年ノ九月頃マデハ  
サウ云フ法規ニナツテ居リマシタ、其ノ爲  
ニ大概買手ノ方ハ處罰ヲ受ケナイモノデス  
カラ、高クナツテモノヲ買ヒタイト云フノ  
デ、寧ロ買ヒ手ノ方カラ所謂闇ヲ強制スル  
ヤウナ事實ガゴザイマシタ、併シ是ハ甚ダ  
不公平デアリ又宣シクナイト云フノデ、昨  
年ノ改正ノ時ニハ買ヒ手モ同様ニ處罰ヲス  
ルト云フヤウ規定ニ改正シマシタ、隨テ現  
在ニ於テハ買ヒ手モ處罰サレルコトニナツ  
テ居リマス、左様御諒承願ヒマス

○濱野委員 今ノアナタノ御話デハ紙屑ハ  
組合ガ出来タト言ハレマスケレドモ、賣ル  
方ノ紙屑屋ノ連中ノ組合ガ出来タ所デ、紙  
ガ幾ラモナケレバ買フ方ハ已ムヲ得ズシテ  
工場ヲ休マナケレバナラスト云フ事情デス  
カラ、ドン～高ク買ハウト云フ形勢ガア  
ル、此ノ頃紙屑ヲ蒐集シヨウトスルニシテ  
モ、餘所ノ方ニ勞力ガ澤山要ルカラ、アノ單  
價ヲ上げテ行ツテモノ尙ホ製紙會社デハ引合

フノデスカラ、其ノ邊ヲ參酌シテヤツタラ  
ドウカ、斯ウ私ガ伺ツタ事柄ト少シ標的ガ  
外レテ居ルヤウニ思ヒマス、ソレガ一點、  
第二點ハ機構改正以前ニ賣ル方ダケガ處罰  
ナレテ、弱イ寄セ屋ガ法規ニ引掛ツテ苦シ  
メラレテ居ルガ、之ヲ一體ドウスルノカ、商  
政府ハ共同責任トシテドウスルノカ、商  
工省ノ役人ガ机上一片ノ觀點カラ、賣ル  
方ダケヲ處罰シタラ宜イト言ツテヤツテ  
居ルニ、焉ゾ知ラン、ソレニ依ツテ無辜  
ノ民ガ非常ニ惱マサレテ居ル、ソレヲ一體  
ドウスルノカ、法規ニ引掛ツタカラ處罰シ  
タト云フナラバ私ハ又聽キタイコトガアル、  
第三點ハ護謨ノ實情ヲ申上ゲル、アナタ方  
ガ單價ヲ決メテ中央物價委員會ニ諸問サレ  
タコトハ事實デスガ、其ノ中央物價委員會  
ニ出テ居ル人達ガ層護謨ヤ紙屑ノ相場ヲ決  
メルニモ、其ノ層護謨ノコトハ言ツテモ分ラナイヤ  
ウナ商工會議所ノ會頭トカ、大キナ商會ノ  
「マネーディヤー」ト云フヤウナ人々ガ出テ居  
ラテ、層護謨ノコトハ言ツテモ分ラナイヤ  
央物價委員會ト云フモノハ大學ノ教授トカ、  
商工會議所ノ會頭トカ、資本金何千万圓、  
何億圓ト云フ會社ノ專務ト云フヤウナ人デ  
アツテ、其ノ仕事自體ガ直チニ國民  
ノ日常生活ダト云フ商賣ヲシテ居ル人ガ少  
イ、私ハソコニ惱ミガアルノデハナイカト  
ソコデ大臣ガ此處ニハ御二人モ揃ツテ居ラ  
レルガ、一つ物價委員會ノ委員ヲ選定サレ  
此ノ點ニ付テ私ハ御伺致シマス、以上三點  
ニ付テ御伺致シマス

○新倉政府委員 紙屑ノ價格ニ付キマシテ  
ハ、是ハ今御話ガゴザイマシタケレドモ、中  
央物價委員會ノ委員ハ相當知名ノ士ガ多ウ  
ゴザイマスケレドモ、専門委員ノ方ニハ大  
體實情ノ分ル人ヲ入レテ居リマス、隨テ紙  
屑、護謨屑ノ場合ニハ其ノ方ノ専門ノ人モ  
實ハ入ツテ貰ツテヤツテ居リマス、唯併シ  
専門委員ノ選定ガ必ズシモ完全ダト云フ風  
ニハ、實ハ吾々モ考ヘテ居リマセヌノデ、  
今後其ノ専門委員ヲ選定スル場合ニ於キマ  
シテ、サウ云フ點ハ十分ニ考慮シテ行キタ  
イト思ツテ居リマス

次ニ既ニ罪ヲ犯シタ者ニ付テハドウスル  
カト云フ點デアリマスガ、是ハ司法省トモ  
能ク御相談シマス、私今ソレヲドウスルト  
云フ御返事ハ出來兼ネマス

○濱野委員 モウ一ツ、賣ル方ノ組合ヲ作  
ルト云フコトデアナタ方ハ晏如トサレテ居  
リマスガ、現ニ大キナ會社ガソレ以上ニ高  
ク買ツテ、生産ノ資料ニ供シテ、其ノ製品  
ガヤハリ闇取引デジヤン／＼賣レル裕トリ  
ガアリマスカラ、寄セ屋ノ爲ニ低物價政策  
ナドト言ハズ、ドン／＼上ゲテヤツタラド  
ウカ、サウ云フモノヲ資料ニシテ再生品ヲ  
ウント高ク賣ツテ引合ツテ居リマス、此ノ  
點ヲドウシヨウト云フノデスカ

○新倉政府委員 今ノ御話デ、生産ノ原料  
或ハ資材ヲモ少し上げテモ尙ほ製品ハ現在  
ノ價格デ賣レルト云フ場合デゴザイマスレ  
バ、ソレハ物ニ依リマシテ違ヒマスガ、物  
ニ依リマシテハサウ云フ餘裕ガアリマスレ  
ベ製品ノ方ノ値段ヲ下ゲルト云フコトヲヤ  
リマス、又ソレガ適當デナクテ、寧ロ原料  
ノ方ヲ上ゲルコトガ適當デアルト云フ場合  
ニハ原料ヲ上ゲテ行ク、サウ云フ方針ヲ執

リタイト思ヒマス

○堀切委員長 長野君、マダ續キマスカ  
○長野(長)委員 私ハ商工大臣ヘノ質問ハ  
是づ終リマス、大藏大臣ニモウ一ツ残ツテ  
居リマスガ、大臣ガ來ラレタ時デ、明日デ  
モ宜シウゴザイマス

ヨリ開會致シマス

午後五時三分散會

昭和十五年一月二十八日印刷

昭和十五年一月二十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局